

幼児教育学科教育課程

(令和7年度入学生に適用)

区 分	授 業 科 目	講義 演習 実習 の別	単 位 数		担当教員名 () 内は 非常勤講師	毎 週 授 業 時 間 数				資格取得に 必要な単位数			備 考				
			必修	選択 (注1)		1 学 年		2 学 年		幼 免	保 育 士	社 会 福 祉 主 事 任 用					
						前期 必	後期 選	前期 必	後期 選								
教 養 科 目	日 本 国 憲 法	講	2		(彼 谷)				2			2	2				
	国 際 理 解	講		2	山田・(非常勤講師)						2	1	1		A		
	現代社会と人間Ⅰ	講		1	担当教員		1								B		
	現代社会と人間Ⅱ	講		1	担当教員		1										
	国 語 表 現	講	2		(奥 野)			2				2	2				
	コミュニケーションと情報	講	2		吉牟田	2						2	2				
	人 間 と 情 報	講	2		春 名	2											
	英 語 Ⅰ	演	1		山 田 (デイヴィッド・ホーズリー)			2				1	1				
	英 語 Ⅱ	演	1		山 田 (シェリー・スキャンラン)				2			1	1				
	キャンパス&ホームステイプログラム	演		2	山 田												
	運 動 と 健 康	講	1		塩 見	1							1				
	健 康 ス ポ ー ツ	実技	1		塩 見	2						2	1				
基 礎 演 習	演習	1		四杉(専任教員全員)	2												
計				13 6		9	2	4	0	4	0	0	2	11	11		
専 門 科 目	保育の本質・目的に関する科目	保 育 原 理	講	2		石 動	2						2	2	2		
		教 育 原 理	講	2		四 杉	2						2	2	2		
		子 ども 家 庭 福 祉	講	2		明 柴	2						2	2	2		
		社 会 福 祉	講	2		宮 田徹			2				2	2	2		
		保 育 者 論	講	2		明柴・山田					2		2	2			
		子ども家庭支援論	講		2	石 動						2		2			
		社会的養護Ⅰ	講	2		明 柴			2				2	2			
		子どもと社会	講	1		四 杉						1	1				
	保育の対象の理解に関する科目	保 育 の 心 理 学	講	2		嶋 野	2						2	2			
		子ども家庭支援の心理学	講	2		嶋 野			2					2			
		子どもの保健	講	2		(松 居)	2						2	2			
		子どもの健康と安全	演		1	(松 居)				2				1			
		教 育 相 談	演		1	嶋 野						2	1	1			
		子どもの食と栄養Ⅰ	演	1		(城 岡)	2						1	1			
		子どもの食と栄養Ⅱ	演		1	(城 岡)				2			1	1			
		子どもの理解と援助	演		1	嶋 野					2		1	1			
	保育の内容・方法に関する科目	教 育 課 程 論	講	2		石 動			2					2	2		
		保 育 内 容 総 論	演		1	日 光				2				1	1		
		子どもと健康	演	1		塩 見					2			1	1		
		保育内容(健康)指導法	演		1	塩 見							2	1	1		
		子どもと人間関係	演	1		石 動					2			1	1		
		子どもと環境	演	1		(谷内口)						2		1	1		
		子どもと言葉	演	1		日 光			2					1	1		
		保育内容(言葉)指導法	演		1	日 光						2		1	1		
		子どもと音楽表現	演	1		難 波			2					1	1		
		保育内容(音楽表現)指導法	演		1	難波・(大村)						2		1	1		
		子どもと造形表現	演	1		中 山				2				1	1		
		保育内容(造形表現)指導法	演		1	中 山						2		1	1		
		子どもと遊び	演	1		中山・石動・日光 難波・塩見							2	1	1		
		子 育 て 支 援	演		1	明 柴							1		1		
		乳 児 保 育 Ⅰ	講		2	石動・(松居)		2							2		
		乳 児 保 育 Ⅱ	演		1	石 動				2					1		
		特 別 支 援 論 Ⅰ	演	1		明柴・(金)			2					1	1		
		特 別 支 援 論 Ⅱ	演	1		嶋野・(北川)					2			1	1		
		社会的養護Ⅱ	演		1	明 柴						2			1		
		教 育 方 法 論	講		2	四 杉							2	2	2		

区 分		授 業 科 目	講義 演習 実習 の別	単 位 数		担当教員名 () 内は 非常勤講師	毎 週 授 業 時 間 数								資格取得に 必要な単位数			備 考
				必修	選択 (注1)		1 学 年				2 学 年				幼 免	保 育 士	主 任 任 用 社 会 福 祉	
							前 期		後 期		前 期		後 期					
							必	選	必	選	必	選	必	選				
専 門 科 目	保育 の 表 現 技 術	音 楽 表 現 技 術 I	演	1		難波・(大村・ 玉井・櫻井)	2							1	1			
		音 楽 表 現 技 術 II	演	1		難波・(大村・ 玉井・櫻井)		2						1	1			
		音 楽 表 現 特 講	演		1	(大村・玉井)						2						
		造 形 表 現 技 術 I	演	1		中 山	2							1	1			
		造 形 表 現 技 術 II	演	1		中 山					2			1	1			
		子 ど も の 運 動	演	1		塩 見		2						1	1			
	保 育 実 習	教 育 実 習 I	実		2	難波・石動・ 嶋野・四杉		5※						2			※ 学内幼稚園実習	
		教 育 実 習 II	実		2	嶋野・山田						※		2			※ 学外幼稚園実習	
		教 育 実 習 指 導	実		1	専任教員全員						1		1			「教育実習Ⅰ・Ⅱ」終了後に認定	
		保 育 実 習 I - 1	実		2	日光・中山				※					2		※ 保育所実習	
		保 育 実 習 I - 2	実		2	明柴・塩見				※					2		※ 施設実習	
		保 育 実 習 指 導 I	演		2	専任教員全員		2	2						2		「保育実習Ⅰ」終了後に認定	
		保 育 実 習 II	実		2	中山・日光						※			2		D ※ 保育所実習 「保育実習Ⅱ」終了後に認定	
		保 育 実 習 指 導 II	演		1	中山・日光						2※			1			
保 育 実 習 Ⅲ		実		2	塩見・明柴						※				2		D' ※ 施設実習 「保育実習Ⅲ」終了後に認定	
保 育 実 習 指 導 Ⅲ		演		1	塩見・明柴						2※				1			
総 合 演 習	保育・教職実践演習	演		2	明柴・嶋野・ 四杉・日光								2	2	2			
	総 合 演 習	演		2	専任教員全員							2		2	2		通年	
計				36	40		16	9	20	10	6	17	9	16	53	70	8	
総 計				49	46		25	11	24	10	10	17	9	18	64	81	8	

〔注〕 1. 上記教養科目の A, B 2 科目の中から 1 科目以上 (計 1 科目 1 単位以上) を選択するものとする。

〔注〕 2. 保育士資格取得希望者は D・D' いずれか 1 科目を履修すること。

〔注〕 3. 「保育士資格取得に必要な単位数」欄に単位数が記入されている授業科目については、学則第 12 条の 6 (外国の短期大学における授業科目の履修等) の規定は適用しない。

なお、学則第 12 条の 3 (他の短期大学又は大学における授業科目の履修等)、第 12 条の 4 (短期大学又は大学以外の教育施設等における授業科目の履修等)、第 12 条の 5 (入学前の既修得単位の認定) 及び第 21 条 (転学) の規定については、「指定保育士養成施設指定基準」(平成 15 年 12 月 9 日雇児発第 1209001 号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知) に定める範囲内において通用することがある。

授業科目名	保育原理			科目コード	C111-10				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育		担当教員名	石動 瑞代					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	保育者論 子どもと社会					
関連科目	教育原理 教育課程論 保育内容総論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格 社会福祉主事任用資格								
授業の概要	保育の特性や保育内容・方法に関する知識を学びながら、保育の基本的考え方を理解する。また、保育思想や歴史、諸外国での保育について学ぶとともに、日本の保育の現状を見つめ、現代の課題とその解決について考える。課題シートやグループ討議等を通して学び、自らの子ども観や保育観の形成につなげていくことをめざす。								
学習目標	保育の意義及び保育の基本理念について理解する。 保育の内容と方法の基本構造を学び、実際の保育場面を通して理解する。 保育の思想や歴史的変遷を学び、現代の保育について考察する。								
キーワード	子ども観と保育観、養護と教育、子どもの最善の利益								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『実践を創造する保育原理 第三版』豊田和子編（みらい） 参考図書：『保育所保育指針解説書』厚生労働省編（フレーベル館）、『幼稚園教育要領解説』文部科学省編（フレーベル								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育の基本的な事項や制度に関する用語等を理解し、筆記試験で回答することができる。保育の意義を理解し、説明することができる。保育の歴史や思想に関する知識を、現在の保育理論と関連づけて理解することができる。								
LO-2	【技能】 保育事例を、保育の基本的視点に沿って読み取ることができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 保育の基本理念を通して、自らの子ども観・保育観について、考えを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育の現状に関心をもち、社会のニーズをふまえた保育のあり方・課題について、自ら考えようとする。								
LO-5	【人間性・社会性】 他者の意見（子ども観・保育観等）を受容し、自らの意見に反映しようとする。自らの保育観や子ども観を、他者に表明することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60	10	20			10			100
LO-1	50	10							60
LO-2	10								10
LO-3			10						10
LO-4			10						10
LO-5						10			10
備考	その他 A は、受講態度（講義及びアクティブラーニングへの参加態度や課題シートの提出状況）とする。 アクティブラーニングの実施：グループワーク、ディスカッション等を実施する。 提出課題に対しては口頭及び紙面にコメントを行う。小テストは返却、定期試験は模範解答を示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等の説明) 保育とは何か ～保育、教育という語が意味する内容を知り、保育の要素をさぐる。	
	【予習】シラバスに目を通し、授業のねらいや内容を確認する。	30分
	【復習】講義内容を教科書第1章で確認する。 資料の言葉から、保育とは何かを改めて考え、課題シートに記載して提出する。	60分
第2回	保育とは何か ～養護と教育の具体的な意味を知る。 ペアワーク 保育が養護と教育が一体的に展開されるものであることを理解する。	
	【予習】指定された教科書の部分を読む	50分
	【復習】保育の原理に関する「！や？の出来事」を記載し、提出する。	130分
第3回	子ども観と保育観 子ども観の変遷を知る。自らの子ども観をふりかえる。 問題	
	【予習】教科書の第2章を読んでおく	50分
	【復習】自らの子ども観に関する課題レポートを記載し、提出する。 問題	130分
第4回	子ども観と保育観 子ども観と発達観、保育観の関連について理解する。 グループディスカッション	
	【予習】前回の内容を資料、教科書で振り返る。 思想家の言葉について、自ら調べておく。	60分
	【復習】授業の内容やグループディスカッション、教科書第7章を読んで、子ども観・発達観・保育観について理解した内容をまとめる。	120分
第5回	子ども観、保育観、発達観 保育観や保育実践につながる子ども観、発達観の理解	
	【予習】テキスト第7章を読んで、疑問点などを書きだす。	60分
	【復習】教科書第7章の内容を保育の目標と関連付けて理解する。 授業で提示された発達観を整理して、まとめる。	120分
第6回	保育のめざす姿とは 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領のねらいを理解する。	
	【予習】保育所保育指針第1章総則、幼稚園教育要領 第1章幼稚園教育の基本を読む。	50分
	【復習】指針や要領の語句に関する課題シートを完成する。 指針や要領等書かれている内容と保育のめざす姿との関連を再確認しておく。	130分
第7回	保育の目指す姿 保育の内容と方法 保育所保育指針・幼稚園教育要領の構造を理解する。保育の内容と方法について知る。	
	【予習】指針や要領、教育・保育要領を読み、目標や目的及び10の姿を関連付けて理解できるよう、自らノートなどに整理する。	60分
	【復習】次回小テストの準備をする。 小テストの内容：配付した課題シート（穴埋め式）の内容＋領域について、3つの資質・能力	120分
第8回	小テストの実施 保育の内容 保育の内容を構造的に理解する。	
	【予習】指針・要領の重要語句を再確認しておく。 小テストの準備を行う。	60分
	【復習】小テストの内容を再確認する。 重要な点及び理解が不十分な点について、再度見直す。	120分
第9回	保育における場を理解する 保育所、幼稚園、認定こども園の特徴	
	【予習】教科書第3章を読んで、疑問や質問を書きだす。	60分
	【復習】課題プリントを完成する。 参考：富山県のホームページで「認可保育所・幼保連携型認定こども園一覧」「私立幼稚園の概要」 各市町村のホームページ	120分
第10回	新しい保育制度について	
	【予習】教科書の指定部分を読む。ホームページで自ら調べる	60分
	【復習】新しい保育制度について一覧表にまとめる	120分

第11回	保育内容を考える 保育事例をもとに、実際の保育場面ではどのような対応が必要かを考える。グループディスカッション また、それはどのような原理に基づいているのかを理解する。	
	【予習】小テストの準備をする（課題シートの確認）	60分
	【復習】課題の確認　小テストの準備 保育内容事例のポイントをまとめる。	120分
第12回	小テストの実施 保育の歴史と思想　世界及び日本における保育の歴史と思想	
	【予習】テキスト第5、6章を読む 小テストの準備	60分
	【復習】講義内容をまとめる。主要な人物とその背景を整理する。 教科書3、4章を読んで理解する。 小テストの内容を再確認する。	120分
第13回	保育の歴史と思想 倉橋惣三の保育論を中心に、保育者像を考える	
	【予習】第14章 p 193～を読む。配付資料を読んでおく。	60分
	【復習】資料を読んで、各思想家や保育実践家の特徴をまとめる。	120分
第14回	ミニテストの実施（5分） 保育の思想（まとめ）、諸外国における保育の取り組み 諸外国の保育制度について学び、日本における保育制度の課題を探る。	
	【予習】ミニテストの準備をする 配付資料を読む	60分
	【復習】課題シートを完成し、提出する	120分
第15回	現在の保育における課題 基本知識の確認	
	【予習】テキスト第14章『保育をめぐるこれからの課題について』を読む。	60分
	【復習】定期試験の準備をする。 定期試験は60分　持ち込みなし	210分

授業科目名	保育者論			科目コード	C111-11				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育		担当教員名	明柴 聡史 山田 尚平					
実務経験	保育所保育士、児童養護施設保育士、心理担当職員、家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、基幹的職員								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育原理 教育原理 子ども家庭福祉 社会的養護		後継科目						
関連科目	(専門科目全般)								
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭二種免許状								
授業の概要	保育者の役割や専門性、職務内容等について、保育現場（幼稚園・保育所・施設・その他）の実践者等の講義も交えて学び、進路選択に役立てるとともに、めざす保育者像を探究する。								
学習目標	1．保育者の役割と倫理（職務・子どもや保護者との関わりなど）について理解する。 2．保育者の制度的な位置づけ（資格・養成など）について理解する。 3．保育者の専門性について考察し、理解する。 4．保育者の協働（職場の人間関係など）について理解する。								
キーワード	保育者 役割 倫理 制度 専門性 協働 専門職 成長								
テキスト・ 参考書等	(適宜、資料を配布します)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育者の役割と倫理、制度的位置づけ、専門性、職務内容、協働、専門的成長等、保育者のあり方について理解している。								
LO-2	【技能】 保育者の専門性を分析し、必要な技能を理解し、自己課題とする力を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 社会のニーズを踏まえ、保育者としてのあり方や保育専門職の課題解決のための方策について、考察を深めることができる								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育者として成長し続けるために、自らを省察し、資質の向上に努めようとする。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50	15	15	20			100
LO-1			10						10
LO-2			10	5					15
LO-3			20	5					25
LO-4			5	5	5	10			25
LO-5			5		10	10			25
備考	その他Aは平常点（授業参加態度及び適宜提出する小レポートの評価） 評価の内容等について個別質問に対応する。 学生が、授業前に各単元について予習をし、毎回の授業を反転授業とし、予習や事前学習、他の科目での学びを基にディスカッションを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針・計画の説明 ○本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する ○保育者のあり方の基本について学ぶ	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する	30分
	【復習】授業の全体像について確認する / 保育者のあり方の基本について、授業内容を確認し、理解を深める	60分
第2回	「保育者の意義・役割・課題などについて(1)」 ○実習経験を振り返り、保育者のあり方について検討する（「保育者としての私」原稿検討のためのグループ討議）	
	【予習】「保育者としての私」の原稿下書きを作成する	30分
	【復習】保育者のあり方について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第3回	「保育者の意義・役割・課題などについて(2)」 ○実習経験を振り返り、保育者のあり方についてまとめる（「保育者としての私」原稿の作成）	
	【予習】「保育者としての私」の原稿を清書する	30分
	【復習】保育者のあり方のグループでの検討結果、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第4回	「保育者の意義・役割・課題などについて(3)」 ○実習経験を振り返り、保育者のあり方について、まとめた内容を発表する（「保育者としての私」発表）	
	【予習】「保育者としての私」の担当部分の発表の準備・練習をする	30分
	【復習】保育者のあり方の検討結果の全体について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第5回	「保育者の意義・役割・課題などについて(4)」 ○実習経験を振り返り、保育者のあり方について、まとめた内容を発表する（「保育者としての私」発表）	
	【予習】「保育者としての私」の担当部分の発表の準備・練習をする	30分
	【復習】保育者のあり方の検討結果の全体について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第6回	「外国籍の子どもの現状と課題」 （外部講師予定） ○外国籍の子どもの現状を理解するとともに進路選択に役立てる	
	【予習】外国籍の子どもを取り巻く現状について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】外国にルーツを持つ子どもの現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第7回	「障がい児施設の現状と課題」 （外部講師予定） ○障がい児施設の職務内容を理解するとともに進路選択に役立てる	
	【予習】障がい児施設の職務内容等について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】障がい児施設の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第8回	「子どもを取り巻く環境の現状と課題」 （外部講師予定）	
	【予習】子どもを取り巻く環境について、これまでの学びを振り返る	0分
	【復習】子どもを取り巻く環境の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	0分
第9回	「富山県の児童虐待の現状と課題」（外部講師予定）○県内の児童虐待や非行少年の現状を知り、地域福祉の課題を探索	
	【予習】児童相談所などの職務内容等について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】児童相談所などの現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第10回	「地域共生の現状と課題」 （外部講師予定）	
	【予習】地域共生について、これまでの学びを振り返る	0分
	【復習】地域共生の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	0分

第11回	「子育て支援の現状と課題」 (外部講師予定)	
	【予習】子育て支援について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】子育て支援の現状と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第12回	「保育者の制度的位置づけ、保育制度の動向と課題」	
	【予習】保育者の制度的位置づけについて、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】保育者の制度的位置づけ、保育制度の動向と課題について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第13回	「保育者の専門性と専門職的成長」	
	【予習】保育者の専門性について、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】保育者の専門性と専門職的成長について、授業内容を振り返り、理解を深める	60分
第14回	事例から学ぶ保育者像	
	【予習】これまでの実習で出会った事例を振り返る	30分
	【復習】各グループの事例と考察から、保育者としての最善の援助を考える	60分
第15回	「まとめ - めざす保育者像」	
	【予習】めざす保育者像を考えるために、これまでの学びを振り返る	30分
	【復習】授業全体を踏まえて、めざす保育者像について考察を深める	60分

授業科目名	教育原理			科目コード	C111-20				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育		担当教員名	四杉 昭康					
実務経験	公立小中学校で教員として38年間勤務した経験を生かし、幼稚園教諭や保育士等の養成に必要な知識や技能等について実践的に指導する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	なし		後継科目	子どもと社会					
関連科目	保育原理 子ども家庭福祉 社会福祉								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	本講義では、現代の教育および教師（保育者）の役割や課題を理解し、明確な根拠（教育の基礎理論）を踏まえて議論できるようになることを目指す。そのために、教育の基礎的な理論・歴史・思想の概説、今日の教育（幼児教育を含む）の論点に関するディスカッション、多様な文献についての意見交流、の3つを軸とした講義をおこなう。								
学習目標	1.教育（幼児教育を含む）の基礎理論・歴史・思想を理解する。 2.小学校以降の教育との連携・協働するために必要な基礎知識を理解する。 3.他者と議論し、自身の教育観を捉え直すことができる。								
キーワード	子ども観、教育観、発達観、教育史、教育思想、教育方法、教育内容、教育課程、教育制度、教育行政、生涯学習、特別支援教育								
テキスト・ 参考書等	『最新 保育士養成講座』総括編纂委員会編（2019）『教育原理（最新 保育士養成講座 第2巻）』全国社会福祉協議会。								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	教育（幼児教育を含む）の基礎理論・歴史・思想を獲得し、理解する。								
LO-2	該当しない								
LO-3	小学校以降の教育との連携・協働するために必要な基礎知識を獲得し、理解する。								
LO-4	他者と議論し、自身の教育観を捉え直すことができる。								
LO-5	該当しない								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		30	60			10			100
LO-1		15							15
LO-2									
LO-3		15							15
LO-4			60			10			70
LO-5									
備考	・その他Aはミニツペーパーによる。 ・学習過程を振り返りながら講義・ディスカッションに参加できるように、ポートフォリオ（2穴リング式A4ファイル）を準備し、そこに講義で配布する資料、ミニツペーパー、小レポート等を収めること。 ・レポート等はコメントの上返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション 講義の内容、方法、評価を概説する。自身の教育体験・教育観を捉え直す必要性を実感してもらう。		
	【予習】シラバスや教科書を眺め、授業内容を把握する。		45分
	【復習】自身の教育体験を踏まえて、教育とは何かについてまとめる（小レポート　）。		45分
第2回	教育とは何か 教育の定義を概説し、教育の意義を理解する。		
	【予習】第1章を通読のこと。		90分
	【復習】講義の感想をまとめておくこと。		90分
第3回	教育と家庭福祉 子どもの福祉の基礎となる児童の権利条約、日本国憲法、児童福祉法などを概説し、その理念を理解する。また家庭福祉についても取り上げる。		
	【予習】第2章を通読のこと。		90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。		90分
第4回	諸外国の教育思想と歴史 現在の教育を捉え直すために、過去の諸外国の教育理論・思想および子ども観の変遷について概説し、今後の教育観・子ども観の展望への理解を深める。		
	【予習】第3章を通読のこと。		90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。		90分
第5回	日本教育思想と歴史及び現代の教育制度 日本における教育思想の歴史と現代の教育を取り巻く教育制度および教育法規等を概説する。特に公教育の原則や教育委員会制度、コミュニティスクールなどを理解する。		
	【予習】第4章を通読のこと。		90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。		90分
第6回	教育の実践と展開 教育実践の展開を捉える目標・評価・方法という3つの視点について概説し、それらの視点から就学前教育の実践の特徴について理解する。		
	【予習】第5章を通読のこと。		90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。		90分
第7回	諸外国の教育 諸外国の教育制度と教育運動を概説し、それらが日本に与えた影響を理解する。		
	【予習】第6章を通読のこと。		90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。		90分
第8回	生涯学習社会における教育の課題 生涯学習について概説し、ライフコースにおける乳幼児期の重要性和、保育者として生涯にわたって学び続ける意義について理解する。		
	【予習】第7章を通読のこと		90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと		90分
第9回	接続期の教育 小1プロブレム等の接続期の課題やその背景に基づき、幼稚園教育や保育所保育と小学校教育の円滑な接続の重要性を理解する。		
	【予習】配布資料を通読のこと。		90分
	【復習】講義の感想をまとめておくこと。		90分
第10回	近代における諸外国の就学前教育における様々な実践について理解を深め、日本の就学前教育への影響等を考える。		
	【予習】配布資料を通読のこと。		90分
	【復習】ディスカッションを通して、就学前教育について理解を深める。		90分

第11回	ユニバーサル社会とインクルーシブ教育 ユニバーサル社会における様々な動向と、インクルーシブ教育の背景や意義、特別支援教育の現状等を理解する。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第12回	教育実践の基礎理論 教育実践のための基本的な理論と内容・方法、計画・評価について、事例等に基づいて理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第13回	教育実践の基礎理論 教育実践のための基本的な理論を踏まえて、様々な事例を通して子どもや保護者への支援について理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第14回	現代教育の課題 現代における様々な教育課題の中から、関心のあるものを選び、ミニレポートにまとめる。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】最終レポートの草稿の執筆をおこなうこと。	90分
第15回	現代教育の課題 教育課題のミニレポートにまとめたものを持ち寄ってグループディスカッションを行い、自分の教育観を捉え直すとともに、教育課題への関心を一層高める。	
	【予習】最終レポートの草稿の執筆をおこなうこと。	90分
	【復習】最終レポートの執筆をおこなうこと。	90分

授業科目名	子どもと社会			科目コード	C111-21				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育		担当教員名	四杉 昭康					
実務経験	公立小中学校で教員として38年間勤務した経験を生かし、幼稚園教諭や保育士等の養成に必要な知識や技能等について実践的に指導する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	教育原理、保育原理、子ども家庭福祉		後継科目						
関連科目	保育者論、子ども家庭支援論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもを取りまく地域社会にかかる現代的な諸課題をとりあげ、理解を深める。そのために、子どもの人権・福祉に関する理念や法制度の基礎知識を得る。								
学習目標	保育者として、子どもや地域社会が抱える諸課題、地域社会との連携等について理解し、その協力の在り方を議論ができる。								
キーワード	法・制度 人権 福祉 社会的弱者 子ども								
テキスト・ 参考書等	授業で用いるテキストはなし。								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	子どもの人権・福祉に関する理念や法制度の基礎知識を獲得し、理解する。								
LO-2	該当しない								
LO-3	子どもと地域社会にかかる課題を理解し、その解決策を具体的に提起することができる。								
LO-4	グループ活動における発言、資料収集等に積極的、かつ継続的にこなうことができる。								
LO-5	該当しない								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20	60			20			100
LO-1		20							20
LO-2									
LO-3			60						60
LO-4						20			20
LO-5									
備考	・ その他Aはミニツペーパーから評価する。 ・ 講義内でグループワークをおこなう。 ・ レポート等はコメントの上返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション	
	【予習】シラバスを確認しておく	60分
	【復習】保育所・幼稚園の抱える課題を書き出し、まとめる	90分
第2回	学校をめぐる社会状況	
	【予習】配布資料を読み、分からない語句を調べておく	90分
	【復習】保育所に関する制度と課題を整理しておく	90分
第3回	社会状況と子どもの生活	
	【予習】配布資料を読み、分からない語句を調べておく	90分
	【復習】幼稚園と認定こども園に関する制度と課題を整理しておく	90分
第4回	近年の教育政策動向	
	【予習】配布資料を読み、分からない語句を調べておく	90分
	【復習】保育・幼児教育に関わる今後の課題を整理する	90分
第5回	地域と連携した学校教育活動	
	【予習】配布資料を読み、分からない語句を調べておく	90分
	【復習】保育・幼児教育に関わる今後の課題を整理する	90分
第6回	開かれた学校づくり	
	【予習】配布資料を読み、分からない語句を調べておく	90分
	【復習】子どもをとりまく現代社会の問題を調べる	0分
第7回	事故・災害と学校安全	
	【予習】子どもをとりまく現代社会の問題を調べておく	90分
	【復習】子どもをとりまく現代社会の問題を踏まえて、保育・幼児教育にできることを考える	90分
第8回	安全管理と安全教育	
	【予習】最終レポートの構想を考えておく	90分
	【復習】最終レポートを執筆する	120分

授業科目名	子ども家庭福祉				科目コード	C113-10			
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉			担当教員名	明柴 聡史				
実務経験	保育士、児童指導員として、社会福祉法人で13年間勤務。児童虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、児童家庭福祉の現状と課題、児童福祉施設の機能と役割を理解で								
開講時期	1年前期			授業の方法	講義				
必修・選択	必修			単位数	2単位				
前提科目(知識)	社会福祉			後継科目	社会的養護				
関連科目	社会福祉								
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭二種免許 社会福祉主事任用資格								
授業の概要	「子ども家庭福祉の意義と歴史」「子ども家庭福祉の制度と実施体制」「子ども家庭福祉の現状と課題」を柱として、子ども家庭福祉全体について現実を踏まえながら考察を進める。テキストを基本としつつ、最新の資料や参考文献等を随時提示する。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について、自ら考察を深めることを希望する。								
学習目標	児童のウェルビーイング（幸せ）を実現するための活動の総体である児童家庭福祉の理念・制度・方法について学び、児童家庭福祉専門職としての保育士に必要な基本的事項について理解することを目標とする。								
キーワード	子ども、家庭、ひとり親家庭、子どもの権利、児童虐待、社会的養護								
テキスト・ 参考書等	テキスト：立花直樹編著ほか『児童・家庭福祉論』（ミネルヴァ書房） 参考書：『保育福祉小六法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 子ども家庭福祉の理念や制度について基本的事項を理解し、主な施策分野毎の現状と課題を説明することができる。								
LO-2	【技能】児童福祉の対象者にかかわる技能(寄り添うなど)を学ぶ								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 児童家庭福祉の動向や展望を踏まえ、問題解決のための方策について、考察を深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 児童のウェルビーイング（幸せ）や権利保障に高い関心を持ち、自らもその実現に向けて努力しようとする。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	20		6						26
LO-2	10		6						16
LO-3	10		6						16
LO-4	10		6			10			26
LO-5			6			10			16
備考	その他Aは平常点（授業参加態度及び毎回の出席カードによる質問・意見・感想の評価） 定期試験については、実施後模範解答を示し、設問について解説する。 グループワークにより、多様な価値観を知る。また、ディスカッションにより否定しない、多様性を尊重したやりとりをめ								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 ○本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する。○児童家庭福祉の基本構造について学ぶ	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する / テキスト序章を読み、児童家庭福祉の視点について確認する	90分
	【復習】授業の全体像について確認する / 児童家庭福祉の基本構造や視点について、授業内容を確認し、理解を深める 用語の定義を整理する	90分
第2回	児童家庭福祉とは - 子ども・家庭・福祉とは何か	
	【予習】 児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童と家庭を取り巻く現状について、授業内容を確認し、理解を深める / 第1章＜まとめてみよう＞	90分
第3回	児童と家庭・社会～子育てのいま・未来	
	【予習】児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子育ての今後の課題を振り返る	90分
第4回	児童の権利に関する条約について 権利保障、権利擁護の取り組みを理解する。	
	【予習】児童家庭福祉の理念の中核である「子どもの権利保障」の概要をテキスト第2章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子どもの権利保障について、授業内容を確認し、理解を深める / 第2章＜まとめてみよう＞	90分
第5回	児童家庭福祉の意義と歴史 児童家庭福祉の歴史。欧米の児童家庭福祉。日本の児童家庭福祉	
	【予習】児童家庭福祉の歴史の概要をテキスト第3章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉の歴史について、授業内容を確認し、理解を深める / 第3章＜まとめてみよう＞	90分
第6回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(1)：児童家庭福祉の制度と法体系 ○児童福祉法 / ○児童家庭福祉に関係する法律	
	【予習】児童福祉法と児童家庭福祉関係法律の概要をテキスト第4章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童福祉法及び関係法律と制度について、授業内容を確認し、理解を深める / 第4章＜まとめてみよう＞	90分
第7回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(2)：児童家庭福祉行政と実施機関 ○児童家庭福祉の行政 / ○児童家庭福祉の実施機関と施設	
	【予習】児童家庭福祉行政と実施機関の概要をテキスト第5章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉行政と実施機関について、授業内容を確認し、理解を深める / 第5章＜まとめてみよう＞	90分
第8回	児童家庭福祉の行政と実施機関	
	【予習】子育て支援サービスと健全育成施策の概要をテキスト第6章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】 子育て支援サービスと健全育成施策の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第6章＜まとめてみよう＞	90分
第9回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：母子保健サービス ○母子保健の理念 / ○母子保健サービスの実施と体系 / ○母子保健の取り組み	
	【予習】 母子保健サービスの概要をテキスト第7章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】母子保健サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第7章＜まとめてみよう＞	90分
第10回	「児童家庭福祉施設の利用と措置、保育・教育施設と幼保一体化」保育サービス ○少子化と働き方改革 ○保育サービス・子育て支援サービス	
	【予習】保育サービスの概要をテキスト、参考文献等で確認する	60分
	【復習】保育サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / ＜まとめてみよう＞ 保育所の設備及び運営に関する基準(最低基準)を見てみる。	90分

第11回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス） ○児童虐待 ○DV（ドメスティック・バイオレンス）	
	【予習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の概要をテキスト第9章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第9章＜まとめてみよう＞	90分
第12回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：社会的養護 ○社会的養護とは ○代替的養護 ○社会的養護の状況と今後	
	【予習】 社会的養護の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第10章＜まとめてみよう＞	90分
第13回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：ひとり親家庭への福祉 ○ひとり親家庭の現状と生活状況 ○ひとり親家庭福祉サービスの概要	
	【予習】 ひとり親家庭への福祉の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】ひとり親家庭への福祉の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第11章＜まとめてみよう＞	90分
第14回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：障害のある子どもの福祉 ○「障害」観 ○障害児の定義と現状 ○障害児への福祉施策	
	【予習】障害のある子どもの福祉の概要をテキスト第12章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章＜まとめてみよう＞	90分
第15回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：情緒障害・少年非行問題 ○情緒障害 ○少年非行	
	【予習】情緒障害・少年非行問題の概要をテキスト第13章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章＜まとめてみよう＞	90分

授業科目名	社会的養護			科目コード	C113-11				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉		担当教員名	明柴 聡史					
実務経験	保育士、児童指導員として、社会福祉法人で13年間勤務。児童虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、学生が社会的養護の機能と役割について理解できるように指導を								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	子ども家庭福祉		後継科目	子ども家庭支援論					
関連科目	社会福祉 保育実習 -2								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	社会的養護について、「意義と歴史」「子ども家庭福祉との関連性及び児童の権利擁護」「制度と実施体系」「施設養護の実際」を柱に、現実を踏まえながら理解を深めます。テキストを基本としつつ、最新の資料や参考文献等を随時提示します。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について、自ら考察を深めることを希望します。								
学習目標	社会的養護の意義と歴史、制度、施設養護の実際、現状と課題について理解するとともに、児童福祉施設における援助者としての保育士の役割や援助について理解し、保育実習 の2(施設)に備えることを目標とします。								
キーワード	社会的養護・養育 家庭養護 家庭的養護 施設養護 児童福祉施設 児童養護施設 乳児院 里親 小規模化 地域分散化 高機能化								
テキスト・ 参考書等	テキスト：辰己隆・波田埜英治編『保育士をめざす人の社会的養護』（みらい） 参考書：『保育福祉小六法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 社会的養護の意義や歴史、制度、施設養護の実際について基本的事項を理解するとともに、施設養護における保育士の役割や援助について理解している。								
LO-2	【技能】 社会的養護の対象に向けた援助の技能について理解している。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 社会的養護の動向や方向性を踏まえ、問題解決のための方策について、考察を深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 社会的養護における児童の権利擁護や発達援助、自立支援について高い関心をもち、施設養護の援助者としての実践力の向上に努める。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	30								30
LO-2			10						10
LO-3	20		10						30
LO-4			10			10			20
LO-5						10			10
備考	その他Aは平常点（授業参加態度及び毎回の出席カードによる質問・意見・感想の評価） 定期試験：教科書・小六法・ノート・配布プリントは持ち込み可 定期試験実施後、模範解答を示し、誤答の多い設問について解説する。 グループワークにより、多様な価値観を知る。実習に向けた調べ学習を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」「社会的養護の意義」 ○本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する / ○社会的養護の意義について学ぶ	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する / テキストを読み、社会的養護の意義について確認する	90分
	【復習】授業の全体像について確認する 社会的養護の意義、理念、視点について、授業内容を把握し、理解を深める / 第1章 <まとめてみよう>	90分
第2回	「児童家庭福祉と社会的養護」子どもと家庭を取り巻く環境 / ○児童養護問題（時代の変化と社会的養護のニーズ）	
	【予習】児童家庭福祉と社会的養護について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉と社会的養護について、授業内容を把握し、理解を深める / <まとめてみよう>	90分
第3回	「社会的養護の歴史の変遷」 ○日本における社会的養護の歴史 / ○欧米諸国における社会的養護の歴史と現状 / ○子ども観の変遷	
	【予習】社会的養護の歴史の変遷について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の歴史の変遷について、授業内容を把握し、理解を深める / 第3章 <まとめてみよう>	90分
第4回	「児童の権利擁護と社会的養護」 ○基本的人権と子どもの権利 / ○「児童の権利に関する条約」 / ○権利擁護	
	【予習】 児童の権利擁護と社会的養護について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童の権利擁護と社会的養護について、授業内容を把握し、理解を深める / 第4章 <まとめてみよう>	90分
第5回	「社会的養護の制度と法体系」 ○社会的養護に関係する法律 / ○児童福祉施設の設備及び運営に関する基準	
	【予習】社会的養護の制度と法体系について、テキスト第5章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の制度と法体系について、授業内容を把握し、理解を深める / 第5章 <まとめてみよう>	90分
第6回	「社会的養護の仕組みと実施体制」 ○社会的養護の体系 / ○施設養護 / ○家庭養護 / ○相談機関と支援体制	
	【予習】 社会的養護の仕組みと実施体制について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の仕組みと実施体制について授業内容を把握し理解を深める / 第6章 <まとめてみよう> 次の動画を見て、社会的養護のあり方について考えてみよう	90分
第7回	「施設養護の特質と基本原則」 ○施設養護とは（基本原理） / ○施設養護の展開過程 / ○施設養護のインケアの実際	
	【予習】施設養護の特質と基本原則について、テキスト第7章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】施設養護の特質と基本原則について、授業内容を把握し、理解を深める / 第7章 <まとめてみよう>	90分
第8回	「施設養護の実際」(1)：児童養護系施設 ○乳児院 / ○母子生活支援施設 / ○児童養護施設	
	【予習】児童養護系施設における施設養護の実際について、テキスト第8章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童養護系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第8章 <まとめてみよう>	90分
第9回	「施設養護の実際」(2)：障害児系施設 その1 ～肢体不自由児・重症心身障害児～ ○障害児入所施設 / ○児童発達支援センター	
	【予習】障害児系施設における施設養護の実際について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】障害児系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第9章 <まとめてみよう>	90分
第10回	「施設養護の実際」(2)：障害児系施設 その2 ～知的障害児～ ○障害児入所施設 / ○児童発達支援センター	
	【予習】障害児系施設における施設養護の実際について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】障害児系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第9章 <まとめてみよう>	90分

第11回	「知的障害者のための施設」 ○ 知的障害の理解 / ○ 知的障害者のための施設と支援	
	【予習】 知的障害者のための施設における支援について、参考文献等で確認する	90分
	【復習】 知的障害者のための施設における支援について、授業内容を把握し、理解を深める	90分
第12回	「施設養護の実際」(3)：治療・行動系施設 ○ 情緒障害児短期治療施設 / ○ 児童自立支援施設	
	【予習】 治療・行動系施設における施設養護の実際について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】 治療・行動系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第10章 <まとめてみよう>	90分
第13回	「里親養育の基本原則と実際」 ○ 里親制度 / ○ 養子縁組 / ○ ファミリーホーム"	
	【予習】 里親養育の基本原則と実際について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】 里親養育の基本原則と実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第11章 <まとめてみよう> 幼少期の記憶について	90分
第14回	○ 社会的養護にかかわる専門職 / ○ 社会的養護にかかわる専門機関	
	【予習】 社会的養護とソーシャルワークについて、テキスト第13章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】 社会的養護とソーシャルワークについて、授業内容を把握し、理解を深める / <まとめてみよう>	90分
第15回	「社会的養護の動向と方向性」 ○ 社会的養護の施策の動向 / ○ 社会的養護の課題	
	【予習】 社会的養護の動向と方向性について、テキスト第15章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】 社会的養護の動向と方向性について、授業内容を把握し、理解を深める / <まとめてみよう>	90分

授業科目名	社会福祉			科目コード	C113-20				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉		担当教員名	宮田 徹					
実務経験	児童福祉分野・障害者福祉分野の実務経験あり。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	保育実習指導 子ども家庭支援論 子育て支援					
関連科目	子ども家庭福祉 保育実習指導 日本国憲法								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	「社会福祉の理念・概念」「社会福祉の対象理解」「社会福祉の法制度」「社会福祉の実践方法」を柱として、それぞれの各論を説明しながら、社会福祉全体について現実を踏まえて授業を進める。その際、テキストを基本としながら、最新の資料や参考文献等を随時提示していく。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について独自に考察できるよう授業を組み立てていく。								
学習目標	「人々の幸せを目指す社会的努力」としての社会福祉の理念・概念、対象理解、法制度・実践方法を理解する。 保育と社会福祉の関係について、保育者の視点から具体的に説明できるようになる。 社会福祉を自分の身近な問題として捉えることができるとともに、特に保育や子育てをめぐる生活課題について具体的に 取り上げることができる。								
キーワード	ノーマライゼーション、ソーシャルワーク、社会福祉								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『保育と社会福祉』橋本好市・宮田徹編 みらい 参考書：『福祉・保育小六法』みらい								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 社会福祉の理念・概念、対象理解、法制度・実践方法について理解できるとともに、特に保育と社会福祉の関係について、保育者の視点から具体的に説明できるようになる。								
LO-2	該当しない								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】社会福祉を自分の身近な問題として捉えるだけでなく、その社会的背景や解決すべき方策について論理的に考察し、学びを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】社会福祉は生活に極めて密着した学問であることを的確に把握できるとともに、特に保育者としての視点から、子どもをめぐる生活課題等に関心を持って過ごすことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】社会福祉の理念を理解しながら、福祉マインドあふれる関わり方や他者との適切なコミュニケーションをすることが、保育者として持つべき資質であると理解して過ごすことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		30						100
LO-1	30		10						40
LO-2									
LO-3	20		10						30
LO-4	10		5						15
LO-5	10		5						15
備考	1.期末試験(70%程度)、提出課題（30%程度）とし、総合的に評価します。 2.提出課題（レポート）は、毎回授業アンケートの回答内容（適宜指示します）を評価するものです。 3.提出課題については、次の授業中にコメントしてフィードバックします。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 【配布資料】オリエンテーション	
	【予習】保育と社会福祉：テキスト第1章を読んでみることにより、我が国の社会福祉の現状について興味を持つ。 (10/1現在、テキストはまだダウンロードできないので、後日復習として読む)	20分
	【復習】保育と社会福祉：社会福祉とは何かについて自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第1章を改めて読んでみることにより、我が国の社会福祉の現状について、レジュメを確認する。	30分
第2回	社会福祉の考え方と役割(1)：社会福祉の意味・定義(社会福祉の概念・構造や基本的な考え方について、その理念・目標、範囲など) 【配布資料】第2回(第1章「保育と社会福祉」)	
	【予習】社会福祉の意味・定義：テキスト第2章を読んでみることにより、我が国の社会福祉の現状から社会福祉の考え方と役割について興味を持つ。	30分
	【復習】社会福祉の意味・定義：社会福祉とは何かについて自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第2章を改めて読んでみることにより、我が国の社会福祉の現状と社会福祉の考え方と役割について、レジュメを確認する。	50分
第3回	社会福祉の考え方と役割(2)：保育と社会福祉の関係(保育の意味と社会福祉を学ぶ意義について) 【配布資料】第3回(第2章「社会福祉の考え方と役割」)	
	【予習】保育と社会福祉の関係：テキスト第2章を読んでみることにより、我が国の社会福祉の現状から保育の意味と社会福祉を学ぶ意義について興味を持つ。	30分
	【復習】保育と社会福祉の関係：保育の意味と社会福祉を学ぶ意義とは何かについて自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第2章を改めて読んでみることにより、我が国の社会福祉の現状から保育の意味と社会福祉を学ぶ意義について、レジュメを確認する。	50分
第4回	社会福祉の歴史(1)：欧米の社会福祉の歴史(イギリス・アメリカ・スウェーデンにおける社会福祉の歴史) 【配布資料】第4回(第3章「欧米と日本の社会福祉のあゆみ」1)	
	【予習】欧米の社会福祉の歴史：テキスト第3章第1節から第3節までを読んでみることにより、我が国の社会福祉だけでなく、海外の社会福祉について興味を持つ。	30分
	【復習】欧米の社会福祉の歴史：海外の社会福祉、特にイギリス、アメリカ、スウェーデンの歴史について自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第3章第1節から第3節を改めて読んでみることにより、我が国の社会福祉の現状だけでなく、海外の社会福祉について、レジュメを確認する。	50分
第5回	(2)：日本の社会福祉の歴史(戦前と戦後における社会福祉の展開、新しい社会福祉の理念と新しい展開、慈善事業、社会事業、戦後の福祉施策の流れ) 【配布資料】第5回(第3章「欧米と日本の社会福祉のあゆみ」2)	
	【予習】日本の社会福祉の歴史：テキスト第3章第3節を読んでみることにより、我が国の社会福祉について興味を持つ。	40分
	【復習】我が国の社会福祉の歴史：我が国の社会福祉の歴史について自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第3章第3節を改めて読んでみることにより、我が国の社会福祉の歴史について、レジュメを確認する。	50分
第6回	社会福祉の法と実施運営体制(1)：我が国における社会保障の概念と体系(社会保険・公的扶助)の概念と体系について 【配布資料】第6回(第4章「生活を守る社会保障制度」)	
	【予習】社会保障の概念と体系：前回の日本の社会福祉の歴史をふまえたながら、テキスト第4章を読んでみることにより、我が国における社会保障の概念と体系について興味を持つ。	40分
	【復習】社会保障の概念と体系：我が国における社会保障の概念と体系について自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第4章を改めて読んでみることにより、我が国における社会保障の概念と体系について、レジュメを確認する。	50分
第7回	社会福祉の法と実施運営体制(2)：社会福祉の制度・法体系 【配布資料】第7回(第5章「社会福祉の法体系と制度」)	
	【予習】社会福祉の制度・法体系：前回の我が国における社会保障制度をふまえながら、テキスト第5章を読んでみることにより、我が国における社会福祉の制度・法体系について興味を持つ。	50分
	【復習】社会福祉の制度・法体系：我が国における社会福祉の制度・法体系について自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第5章を改めて読んでみることにより、我が国における社会福祉の制度・法体系について、レジュメを確認する。	60分
第8回	社会福祉の法と実施運営体制(3)：社会福祉の実施機関と行財政(国・都道府県、市町村の福祉行政機関、福祉の計画・財源について) 【配布資料】第8回(第6章「社会福祉の実施機関と行財政」)	
	【予習】前回の我が国における社会福祉の制度・法体系をふまえながら、テキスト第6章を読んでみることにより、我が国における社会福祉の実施機関と行財政について興味を持つ。	50分
	【復習】我が国における社会福祉の実施機関と行財政について自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第6章を改めて読んでみることにより、社会福祉の実施機関と行財政について、レジュメを確認する。	60分
第9回	社会福祉の法と実施運営体制(4)：社会福祉の施設 【配布資料】第9回(第7章「社会福祉の施設」)	
	【予習】前回の我が国における社会福祉の制度・法体系をふまえながら、テキスト第7章を読んでみることにより、我が国における社会福祉の施設について興味を持つ。	50分
	【復習】我が国における社会福祉の実施機関と行財政について自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第7章を改めて読んでみることにより、社会福祉の施設について、レジュメを確認する。	60分
第10回	子ども家庭支援と社会福祉：子どもの人権と子ども家庭福祉の理念、子ども家庭支援の施策と動向、保育施策の動向 【配布資料】第10回(第8章「子ども家庭支援と社会福祉」)	
	【予習】前回までの社会福祉の法と実施運営体制をふまえながら、テキスト第8章を読んでみることにより、子ども家庭支援について興味を持つ。	60分
	【復習】子どもの人権と子ども家庭福祉の理念について自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第8章を改めて読んでみることにより、子ども家庭支援と社会福祉について、レジュメを確認する。	60分

第11回	共生社会と障害者福祉：障害と社会、障害者福祉の法体系、障害のある子どもに関する施策とサービス 【配布資料】第11回（第9章「共生社会と障害者福祉」）	
	【予習】テキスト第9章を読んでみるにより、障害者福祉について興味を持つ。	60分
	【復習】テキスト第9章を改めて読んでみるにより、共生社会と障害者福祉について、レジュメを確認する。	60分
第12回	高齢者の福祉と介護保険：高齢者の福祉、介護保険制度、地域包括ケアシステム 【配布資料】第12回（第10章「高齢者福祉と地域包括支援」）	
	【予習】テキスト第10章を読んでみるにより、高齢者の福祉と介護保険について興味を持つ。	60分
	【復習】テキスト第10章を改めて読んでみるにより、高齢者の福祉と介護保険について、レジュメを確認する。	60分
第13回	地域福祉の意味と推進方法 【配布資料】第13回（第11章「地域福祉の意味と推進方法」）	
	【予習】テキスト第11章を読んでみるにより、地域福祉の意味と推進方法に興味を持つ。	60分
	【復習】テキスト第11章を改めて読んでみるにより、地域福祉の意味と推進方法について、レジュメを確認する。	60分
第14回	福祉サービスの利用と第三者評価、権利擁護と苦情解決 【配布資料】第14回（第14・15章「利用支援と第三者評価・権利擁護と苦情解決」）	
	【予習】第14章及び第15章を読んでみるにより、福祉サービスの利用と第三者評価及び権利擁護と苦情解決に興味を持つ。	60分
	【復習】第14章及び第15章を改めて読んでみるにより、福祉サービスの利用と第三者評価及び権利擁護と苦情解決について、レジュメを確認する。	60分
第15回	まとめ：社会福祉と保育士のこれから（社会福祉の現状と課題、社会福祉専門職としての保育士のあり方） 【配布資料】第15回（第16章「社会福祉と保育士のこれからを考える」）	
	【予習】まとめ：これまでの学習内容を確認しながら、社会福祉と保育士のこれからについて、テキストの第16章を読んでみるにより、社会福祉の現状と課題、社会福祉専門職としての保育士のあり方について興味を持つ。	60分
	【復習】まとめ：社会福祉と保育士のこれからについて自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第16章を改めて読んでみるにより、社会福祉専門職としての保育士のあり方について、レジュメを確認する。	60分

授業科目名	子ども家庭支援論			科目コード	C113-30				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉		担当教員名	石動 瑞代					
実務経験	児童相談所職員として、育児相談及び乳幼児の発達支援に携わった7年間の勤務経験をもとに、乳児期の育ちや保育方法、家庭支援等に関する知識を教授する。また、7年間の付属みどり野幼稚園園長の経験を活かして解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	社会的養護		後継科目						
関連科目	社会福祉 子ども家庭福祉								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解したうえで、保育の専門性を活かした子ども家庭支援の基本知識を身につける。 また、子育て支援体制や子育て家庭の現状を知り、ニーズに応じた多様な支援内容についての理解を深める。								
学習目標	子育て家庭を取り巻く社会状況を知り、保育所等による支援の必要性を理解する。 子育て家庭への支援における、基本的な視点や援助方法を習得する。 多様な子育て家庭のニーズに応えるための、具体的支援方法と関係機関との連携について理解する。								
キーワード	子育て支援 保育所等の特性を生かした支援 地域 社会資源 連携								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『保育と子ども家庭支援』 石動瑞代 編（みらい） 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編(フレーベル館)、『幼稚園教育要領解説』 文部科学省(フレーベル館)								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 家庭の機能や意義及び子育て家庭を支援する際の基本原理について理解し、説明することができる。								
LO-2	【技能】 保育所・幼稚園等の特性を生かした家庭支援技術を身につける。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子育て家庭が抱える現代的課題をふまえて、必要な家庭支援について論理的に考察し、説明することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子育て家庭をめぐる社会資源についての的確に把握し、子育て家庭に対する支援方法を具体的に検討することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 事例研究・グループワークを通して、自分の意見を他者にわかりやすく伝えると同時に、他者の意見を受容し、自己覚知や自らの意見形成に反映させることができる。また、子育て家庭における保護者の心情等を共感的に理								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		40			10			100
LO-1	20								20
LO-2	10		20						30
LO-3	10		10						20
LO-4	10		10						20
LO-5						10			10
備考	アクティブラーニングの実施：グループワーク、事例研究等 その他 A は、アクティブラーニングへの参加態度や課題シートの提出状況とする。 課題に対しては、口頭及び紙面でコメントを行う。試験については、紙面で説明する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	現代の社会状況と家族の実態	
	【予習】教科書第1章を読んでくる。 現代社会における家族像について、自分の意見をまとめる。	60分
	【復習】教科書第1章、2章の内容を読み、講義内容とあわせて、ノートにまとめる。	120分
第2回	子どもの発達と家族の発達～家庭支援の視点	
	【予習】教科書第3章～第5章の内容を読み、内容を整理しておく。	60分
	【復習】講義内容と教科書の内容を関連づけて、ノートに整理する。 課題に示されたテーマについて、調査を始める。	120分
第3回	保育所等における家庭支援の実際～保育所の特性をいかす	
	【予習】教科書第9章の内容を、一読し、疑問点を書きだしておく。	60分
	【復習】保育所の特性をいかした援助技術についてまとめる。	120分
第4回	保育所等における家庭支援の実際～連絡帳のポイント	
	【予習】課題プリントを仕上げてくる。	90分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 講義中に配布された課題プリントを仕上げる。	90分
第5回	保育所における家庭支援の実際～おたより、参観など	
	【予習】教科書の保育士の支援部分を読んでおく。	40分
	【復習】連絡帳課題を仕上げてくる おたより課題作成に必要な準備をする。おたより課題作成をする。 。	140分
第6回	保育所等における家庭支援の実際～相談に応じて DVD視聴、グループワーク	
	【予習】教科書の該当部分を一読する。	50分
	【復習】課題シートを完成して提出する。 実習等でのエピソードと支援技術を関連付けてレポートを書く。	130分
第7回	保育所における家庭支援の実際～トラブルをめぐって	
	【予習】教科書の保育士の支援部分を読んでおく。	50分
	【復習】家庭支援における「トラブル対処」と「発生予防」で重要なポイントを、ノートにまとめてくる。	130分
第8回	子どもの発達と地域社会のかかわり～多様な子育て支援	
	【予習】自分が居住する地域の、子育て支援施策について調べる。 教科書第7章、第10章を読んでおく。	100分
	【復習】課題プリントを仕上げる。	80分
第9回	親子支援の実際～親子支援活動の計画、子育て支援センターの環境と支援	
	【予習】親子活動の案を準備しておく。 教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】グループで決めた親子活動案の詳細を検討する。 担当する役割を確認し、必要な準備をする。	90分
第10回	親子支援の実際～子育て支援センターでの親子活動案の発表	
	【予習】グループ内で、打ち合わせやリハーサルを行う。	90分
	【復習】子育て支援センター等での親子活動について、振り返りシートを完成させる。	90分

第11回	家庭支援の留意点～価値観・倫理観	
	【予習】配布プリントを参考に、自分の価値観・倫理観について考える。	60分
	【復習】事例の課題プリントを完成する。	120分
第12回	家族との個別面接 ～基本的配慮事項 配慮点 アセスメントのポイント	
	【予習】これまで学んだ面接技術について、確認しておく	60分
	【復習】グループ課題を確認し、課題シートを完成する。	120分
第13回	事例研究 児童虐待・障害が疑われる事例	
	【予習】事例の課題プリントを完成する。	90分
	【復習】特別な配慮を要する家庭への支援についてポイントをまとめる。	90分
第14回	事例研究 異文化の家族に対する援助事例	
	【予習】事例の課題プリントを完成する。	90分
	【復習】異文化の家族支援について、配慮のポイントをまとめる。	90分
第15回	保育士等が行う家庭支援のまとめ	
	【予習】これまで学んだ家庭支援の内容を整理する。	120分
	【復習】定期試験に向けて、学習する。	120分

授業科目名	保育の心理学			科目コード	C121-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	子ども家庭支援の心理学					
関連科目	子どもの理解と援助 教育相談								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもの身体発達、社会情動発達、認知発達、言語コミュニケーション発達等の側面から心理学的知見の基礎を学ぶ。また子どもの学びの過程を理解した上で、よりよい発達を促すために保育者としていかなる援助をすべきかを考える。さらに、障がいを持つ子ども、不適切な養育を受けた子どもの発達についても理解を深め、乳幼児期の発達の多様性と可塑性を学ぶ。								
学習目標	1．保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達をとらえる視点について理解する。 2．子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護と教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子ども理解を深める。 3．乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的知識を習得し、保育における人の相互的関りや体験、環境の意義								
キーワード	子どもの身体発達、社会情動発達、認知発達、言語コミュニケーション発達、発達心理								
テキスト・ 参考書等	原口喜充編（2023）「実践に活かす保育の心理学」 ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕 乳幼児期の発達および学習に関する心理学の基礎的知識が習得できている								
LO-2	〔技能〕 発達に即した援助の基本となる子ども理解を深めるために、子どもを多面的な視点からとらえることができる								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕 子どもをめぐる今日的課題に対し、学習した知識や経験を結び付けて考えることができ、自分なりの意見を表現することができる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕 子どもの発達過程に関心をもち、積極的に授業に参加し、問題意識をもって自ら課題に取り組むことができる。								
LO-5	〔人間性・社会性〕 仲間との積極的な意見交換を行い、協力してグループワークに取り組み、協力して課題達成ができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	20	10			30			100
LO-1	20	10							30
LO-2	20	10							30
LO-3			10			10			20
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aは、授業中の参加態度（課題への取組態度、発表の態度や表現、グループワーク、ディスカッションへの参加意欲や他者との協力の度合い、自らふり返り思考する力など）を総合的に評価する。レポートはコメントして返却する。答えは採点して返却、模範解答を提示する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 発達を学ぶ意義 初回授業赤ちゃんに関するアンケート 初回授業赤ちゃんのイメージに関するアンケート	
	【予習】シラバスを見て授業内容を確認する。 教科書pp.2-13を読んでおく。	20分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.2-13を復習しておく。 赤ちゃんのふしぎな世界（日本産婦人科医会2018/1019動画）	40分
第2回	子どもの発達と環境	
	【予習】教科書pp.14-26を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.14-26を読み直し復習する。 アルバート坊やの恐怖条件付けに関する動画YouTube	90分
第3回	発達理論と子ども観・保育観—初期経験の重要性と生涯発達の視点から—	
	【予習】教科書pp.27-40と p.7を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.27-40および p.7を読み復習する。	90分
第4回	子どもの発達過程：身体・運動発達 脳のシナプスと神経回路YouTubeについて最初の3分間視聴するとよくわかります。	
	【予習】教科書pp.42-52を読んでおく。	90分
	【復習】課題 小テスト1 を行い送信する。 授業スライドを見直す。 教科書pp.42-52を読み直し復習する。	90分
第5回	子どもの発達過程：社会情動的発達—発達を支えるアタッチメント	
	【予習】教科書pp.53-66を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.53-66を読み直し、復習しておく。	90分
第6回	子どもの発達過程：社会情動的発達—自己と感情・情動の発達	
	【予習】教科書pp.67-80を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.67-80を読み復習する。	90分
第7回	子どもの発達過程：社会性の発達	
	【予習】教科書pp.81-93を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.81-93を読み復習する。	90分
第8回	子どもの発達過程：認知の発達 三つ山課題動画 保存概念動画	
	【予習】教科書pp.94-108を読んでおく。	90分
	【復習】小テスト2 を回答して送信する。 授業スライドを見直す。 教科書pp.94-108を読み復習する。	90分
第9回	子どもの発達過程—言語の発達	
	【予習】教科書pp.109-120を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.109-120を読み復習する。	90分
第10回	発達障害と発達	
	【予習】教科書pp.121-134を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.121-134を読み復習する。	90分

第11回	発達障害と発達 DVD視聴から発達障害当事者世界についての理解を深める	
	【予習】東田直樹オフィシャルサイトを見ておく。 東田直樹「自閉症の僕が跳びはねる理由」をできれば読んでおく。	90分
	【復習】課題 「君が僕の息子について教えてくれたこと」を視聴し、「自閉症の僕が跳びはねる理由」の著者東田直樹さんと自閉症について、以下のレポートを作成する。 □授業中に配布されたレポート書式に指定されたテーマでレポートを作成する。	90分
第12回	虐待から考える発達	
	【予習】教科書pp.135-149を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.135-149を読み復習する。 セーブザチルドレンJAPANサイト	90分
第13回	保育にいかす学習理論	
	【予習】教科書pp.150-163を読んでおく。	90分
	【復習】課題 小テスト3提出。 授業スライドを見直す。 教科書pp.150-163を読み直す。	90分
第14回	遊びの発達	
	【予習】教科書pp.164-177を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライド見直す。 教科書pp.164-177を読み復習する。	90分
第15回	乳幼児期の学びの過程と特性、乳幼児期の学びを支える保育	
	【予習】教科書pp.178-202を読んでおく。	90分
	【復習】課題 小テスト4提出 教科書pp178-202を読み復習する。授業スライドを見直す。	90分

授業科目名	子ども家庭支援の心理学				科目コード	C121-11			
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理			担当教員名	嶋野 珠生				
実務経験									
開講時期	1年後期			授業の方法	講義				
必修・選択	必修			単位数	2単位				
前提科目(知識)	保育の心理学			後継科目	子どもの理解と援助 教育相談				
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	生涯発達の見点から人の発達のプロセスや初期経験の重要性を学ぶ。 また、親子関係や家族関係等について発達的な観点からの理解、および、子育て家庭をとりまく現代の社会的状況や問題についての理解と関心を深め、子どもとその家庭を包括的にとらえる視点を習得する。								
学習目標	1．生涯発達に関する心理学の基礎知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。 2．家族・家庭の意義や機能を理解するとともに親子関係や家族関係等について発達的な観点から理解し、子どもとその家庭を包括的にとらえる視点を習得する。 3．子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。								
キーワード	生涯発達 初期経験 家族関係発達 子育て家庭 子育てをめぐる現代の社会状況 子どもの精神保健 保護者理解								
テキスト・ 参考書等	青木紀久代「子ども家庭支援の心理学」（みらい）								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕子ども家庭支援に関する心理学の基礎的な知識の習得ができる。								
LO-2	〔技能〕基礎的な心理学的知識に基づいた子ども家庭支援に必要な子どもと家庭を包括的にとらえる視点を習得する。								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕学修した知識や自らの経験を組み合わせ、身近な子ども・子育てにまつわる問題に関連させて思考し、自分の考えを表現できる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕 子ども、子育てにまつわる現代的な問題に関心を持ち、自ら課題を見つけその解決のために主体的に学ぼうとする。								
LO-5	〔人間性・社会性〕子ども、保護者、仲間を尊重する視点をもち、授業内で仲間との協働作業を積極的に図ることができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30	15	20		20	15			100
LO-1	10	5	5						20
LO-2	10	5	5						20
LO-3	10	5	10			5			30
LO-4					10	5			15
LO-5					10	5			15
備考	その他Aは授業中の参加態度（意欲的な授業参加態度、グループワークやディスカッション、発表への積極性、授業振り返りで自分の考えを表現する力など）。レポートはコメントして返却する。答えは採点して返却、模範解答を提示する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 生涯発達の見点 ・エリクソンのライフサイクル論 乳幼児期から学童期前期の発達 ・「となりのトトロ」から学ぶ メイ、サツキ	
	【予習】シラバスを見て授業内容を確認 保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り 教科書28-43に目を通す	20分
	【復習】オリエンテーションを振り返り、半期間の授業予定の振り返り、WEBシラバスへのコメント 第1回授業スライドを見直す。 ユニセフ幸福度ランキング<日本レポート>	90分
第2回	学童期後期から青年期の発達 ・「千と千尋の神隠し」から学ぶ 千尋	
	【予習】保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り 教科書46-63に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し WEBシラバスへのコメント 第2回授業スライドを読んで復習する。	90分
第3回	成人期から老年期の発達 映画に見る親密性、世代性、統合	
	【予習】保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り、教科書66-77を読む	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し WEBシラバスへのコメント # 3 授業スライド見直し 小テスト1提出	90分
第4回	実習を終えて、0.12歳児の姿を振り返る 0.12歳児の発達課題をもう一度 授業内にワークシートとレポート（課題）を仕上げる	
	【予習】実習日誌を持参する、0.12歳児の発達が表れていると思うエピソードを選んでおく	90分
	【復習】課題：授業で完成させたワークシート を提出。 使用した教科書、ワークシートの見直し	90分
第5回	家族・家庭の意義と機能/親子関係・家族関係の理解 ・家族の発達段階、ジェノグラムから見える家族関係	
	【予習】教科書の該当ページ94-113を読む	90分
	【復習】授業で使用した教科書やプリントの見直し、授業スライド見直し	90分
第6回	子育ての経験と親としての育ち ・こどもが生まれることで起こる心身の変化、家族の変化、 ・「ママたちが非常事態」視聴から たまごの赤ちゃん課題の提示	
	【予習】教科書の該当箇所114-118に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し、WEBシラバスへのコメント # 6回授業スライド復習 たまごの赤ちゃん課題に取り組む たまごの赤ちゃんガイダンス資料 こちらへたまごの赤ちゃんの写真をアップすること	90分
第7回	子育てを取り巻く社会状況 少子化、非婚化等の社会状況、日本の育児が置かれた社会的状況の理解 NHKスペシャル「ママたちが非常事態」を見ながら	
	【予習】教科書の該当箇所114-118に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し、WEBシラバスへのコメント 授業 # 7スライド見直し	90分
第8回	たまごの赤ちゃん課題のグループ発表 ライフコースと仕事・子育て ・ワークライフバランスを考える、父親の子育て	
	【予習】教科書の該当箇所119-122に目を通す	90分
	【復習】たまごの赤ちゃん課題の提出、振り返りを書きましょう。 #8授業スライド復習する	90分
第9回	子育てを取り巻く社会状況 ・こどもの貧困について 石井光太「本当の貧困の話をしよう」を読んで考える	
	【予習】教科書の該当箇所144-150に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書やプリントの見直し、WEBシラバスへのコメント提出 第9回授業スライド復習	90分
第10回	多様な家庭形態とその理解 1 ひとり親、里親等 ワーク1：里親制度を知るを開き、ワークシートの質問に沿って、里親制度について調べたことを記入する。 ワーク2：特別養子縁組制度を知るを開き、ワークシートの質問に沿って、特別養子縁組についても調べたことを記入する。	
	【予習】前回授業の復習をしておく	90分
	【復習】第10回授業スライド見直し 今日の課題 小テスト に取り組み提出 12/12中	90分

第11回	多様な家庭形態とその理解2 里親 ゲストスピーカーの話から学ぶ	
	【予習】前回授業の復習をしておく	90分
	【復習】振り返りの記入 本日の話と前回のWSの見直しをしておく	90分
第12回	多様な家族とその理解3 性的マイノリティ NHKスペシャル「カラフルファミリー2」視聴から考える 富山県HP 富山県パートナーシップ宣誓制度について	
	【予習】教科書該当ページを読んでおく	90分
	【復習】課題 課題ミニレポート	90分
第13回	子どもの生活・生育環境とその影響 ・マルトリートメントが及ぼす子どもへの影響とその回復を知る。	
	【予習】教科書該当ページp.144-161を読んでおく	90分
	【復習】授業スライド復習、WEBシラバスへの振り返りコメント	90分
第14回	特別な配慮を要する家庭 ・病気、障害、貧困、傷つき体験、DV, 虐待など 目黒区虐待死事件から学ぶ	
	【予習】予習課題：目黒区虐待死事件「結愛」ちゃんの母の獄中手記に関する記事を以下のリンクから読んでから授業に参加すること。 目黒虐待死事件「結愛」ちゃんの母の獄中手記に関する記事	90分
	【復習】課題：ミニレポート 提出。 授業で使用したプリントや資料の見直しと整理、 第14回授業スライド復習	90分
第15回	子どもの心の健康にかかわる問題	
	【予習】教科書の該当箇所174-187に目を通す	160分
	【復習】今日の課題 小テスト 友達と相談しながら取り組み、高得点目指して回答してください。	90分

授業科目名	教育相談			科目コード	C121-31				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育の心理学 子ども家庭支援の心理学 子どもの理解と援助		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	教育相談は、幼児、児童及び生徒の自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支える教育活動である。幼児、児童、生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切にとらえ、支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識含む）を身につける。								
学習目標	1.保育教育相談の意義と理論を理解する。 2.保育教育相談の方法：教育相談を進める際に必要な基礎的知識と技法を理解し使えるようになる。 3.保育教育相談の展開：教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組や連携の必要性を理解する。								
キーワード	教育相談 保護者支援 カウンセリングマインド 相談技術 コミュニケーション技術 園内体制と連携 外部機関との連携								
テキスト・ 参考書等	前期に「子どもの理解と援助」で使用した以下の教科書を使います。 鯨岡峻(2013)「子どもの心の育ちをエピソードで描く」ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕教育相談の意義や方法、心理学的な基礎知識などを理解している。								
LO-2	〔技能〕相談支援に必要な技術を身に付けている。								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕学んだ知識・技能、経験をもとに、人の話をよく聴き、自分の考えを伝える具体的な場面での応用ができる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕授業に対する関心・意欲があり、自ら課題を見つけて学ぶ態度が見られる。								
LO-5	〔社会性・人間性〕グループワークや発表を、グループの仲間と協力し合い、積極的に行うことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30			50	20		100
LO-1			10			10			20
LO-2			10			20			30
LO-3			10			20			30
LO-4							10		10
LO-5							10		10
備考	その他 Aは毎授業最後に提出する振り返りシートの記述内容、表現、Bはグループワーク、ディスカッション等への参加態度、自分自身の意見表現等から評価する。レポートはコメントして返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 教育相談の意義	
	【予習】シラバスに目を通し、半年間の学びを把握しておく。	15分
	【復習】授業スライドの復習	60分
第2回	教育相談にまつわる諸理論 カウンセリングマインド	
	【予習】前回授業のスライドを見直しておく	30分
	【復習】授業スライドの復習	60分
第3回	カウンセリングマインドを活かす聴き方 非言語コミュニケーション	
	【予習】前回授業スライドを見直しておく	30分
	【復習】授業スライド>の復習	90分
第4回	カウンセリングマインドを活かす聴き方 言語コミュニケーション	
	【予習】前回授業スライドを見直しておく	30分
	【復習】授業スライドの復習	60分
第5回	保護者との関係づくりと聴く技術 ロールプレイ	
	【予習】前回授業スライドを見直しておく	30分
	【復習】授業スライ>の復習 ロールプレイ逐語録WS提出	60分
第6回	保護者との関係づくりと聴く技術 ロールプレイ	
	【予習】前回授業スライドを見直しておく	30分
	【復習】授業スライ>の復習 ロールプレイ逐語録WS提出	60分
第7回	伝える技術 Iメッセージ アサーショントレーニング	
	【予習】前回授業スライドを見直しておく	30分
	【復習】授業スライドの復習	60分
第8回	伝える技術 わかりやすく伝えるワーク 謎のマラソンランナー	
	【予習】前回授業スライドを見直しておく	30分
	【復習】授業スライドの復習 GoogleFoemでの振り返り提出	60分
第9回	伝える技術 わかりやすく伝えるワーク トシ君のおつかい	
	【予習】前回授業スライドを見直しておく	30分
	【復習】授業スライドの復習 GoogleFoemでの振り返り提出	60分
第10回	伝える技術 わかりやすく伝えるワーク 人間コピー	
	【予習】前回授業スライドを見直しておく	30分
	【復習】授業スライドの復習 GoogleFoemでの振り返り提出	60分

第11回	発達の見点から子どもを理解する エピソード記述を読む ちょっと気になる子	
	【予習】指定されたエピソード記述を読んでおく	60分
	【復習】授業スライド復習	60分
第12回	子どもの行動の問題をアセスメントする エピソード記述を読む 集団行動が苦手なKくん	
	【予習】指定されたエピソード記述を読んでおく	60分
	【復習】授業スライドの復習	60分
第13回	気になる子どもの保護者への対応 異文化理解 ロールプレイ	
	【予習】指定された事例を読んでおく。	60分
	【復習】授業スライドの復習	60分
第14回	気になる子どもの保護者への対応 暴力をふるう子ども ロールプレイ	
	【予習】指定された事例を読んでおく。	60分
	【復習】 授業スライドを見直すこと	60分
第15回	重篤事例で連携の重要性を理解する 野田市虐待死事件報告書を題材に 子どもの権利 4つの原則 厚労省 子ども虐待対応の手引き	
	【予習】野田市児童虐待死亡事例検証報告書（公開版）の以下のページを読んでから授業に出席すること。 p.1 p.3～5 p.57～63	60分
	【復習】ミニレポート課題の提出	60分

授業科目名	子どもの保健			科目コード	C123-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	松居 紀久子					
実務経験	看護師・介護支援専門員として大学病院14年勤務をはじめ、訪問看護・施設等での勤務経験を活かし、保育士や介護福祉士の資格取得に必要な知識と技術を実践的に解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	子どもの健康と安全					
関連科目	保育の心理学 子どもの食と栄養								
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭2種免許								
授業の概要	子どもの健康と保健の意義を学び、健康に関する現状を統計に基づき課題を把握し、保育士として関係機関との連携方法を理解する。心身の発達や保健活動の実際と、保護者との関係について理解する。疾病の予防・対応を学び、心身の不調の早期発見や適切な具体的な対応を理解する。講義、意見交換から自ら考える学習を目指します。								
学習目標	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解できる。 子どもの身体発達や生理機能及び運動機能並びに精神発達と保健について理解できる。 子どもの疾病とその予防法及び適切な対応、保健活動の計画及び評価について理解できる。 保育士として必要な知識・対応について考察できる。								
キーワード	保健活動 発育・発達 児童虐待 健康状態の観察 子どもの疾病								
テキスト・ 参考書等	テキスト：「授業で現場で役に立つ！子どもの保健テキスト」2024 改訂第3版 診断と治療社								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	（知識・理解）子どもの保健について理解し、試験で正しく答えられる。子どもの健康状態・対応を疾病等の根拠から説明できる。								
LO-2	（技能）子どもの健康状態の把握のための正確な技術を身につけている。								
LO-3	（思考力・判断力・表現力）専門職として子どもの健康を取り巻く状況を理解し、保健活動について考察・発表できる。								
LO-4	（関心・意欲・態度）最新の疾病・対応や保険制度の知見の把握に努め、意欲的に授業に参加し養護について学びを深める。								
LO-5	（人間性・社会性）子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことができる。専門職として根拠と思いやりを持って養護できるように取り組むことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	30	10			10			100
LO-1	30	20	10			5			65
LO-2	5								5
LO-3	5								5
LO-4	5	5				5			15
LO-5	5	5							10
備考	定期試験：感染症の状況により、試験形式は変動することがある。（原則は対面で試験、レポート） 誤答の多い設問に、模範解答を示す。 レポート：随時単元により実施 その他A：授業参加態度 、ミニツツペーパー、ノート提出（課題、振り返り問題等の自己学習を記載） 右のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します：（グループワーク、ディスカッション）								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 保健活動の意義と目的	
	【予習】 体調確認記録継続 テキストを読む P1～13	30分
	【復習】 資料ファイルの作成 ノートを作成する。人体各部の名称、主な骨の名称など自己学習を記入する。	60分
第2回	子どもの出生と母子保健の意義	
	【予習】 テキスト P 14 ～ 18を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 自分の母子手帳を確認・インタビューをしてレポート作成	120分
第3回	現代社会における子どもの健康に関する現状と課題	
	【予習】 テキスト P21 ～ 28を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第4回	子どもの身体発育と運動機能の発達	
	【予習】 テキスト P 31 ～ 43を読む	0分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	0分
第5回	子どもの身体発育と生理機能の発達と生活習慣	
	【予習】 テキスト P 45 ～ 52を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第6回	子どもの発育・発達と保健 まとめ	
	【予習】 テキストを読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 1 から 6 回の復習	120分
第7回	地域における保健活動と子どもの虐待防止	
	【予習】 テキスト P 55 ～ 62を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第8回	子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握 参照：保育所における感染症対策ガイドライン https://kodomoenkyokai.or.jp/wp-content/uploads/2023/05/60342170aa360b5cce6f4ffe341a8a6c.pdf	
	【予習】 テキスト P 65 ～ 69を読む	60分
	【復習】 資料整理 小テストの範囲（振り返り問題やテキスト重要本文など復習）	120分
第9回	小テスト【 1 ～ 9回までの範囲（30分）】 子どもの病気 子どもの免疫の発達と感染症の特徴	
	【予習】 今までの復習 テキスト P 67 ～ 74を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 感染症の課題作成、次回提出	120分
第10回	子どもの病気 感染症の予防および適切な対応	
	【予習】 テキスト P 81 ～ 87を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分

第11回	新生児の病気 感染症、新生児期にわかる先天性の病気の特徴と対応	
	【予習】テキスト P 99-104を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第12回	慢性疾患の特徴と適切な対応	
	【予習】テキスト P 115－126を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第13回	アレルギー疾患の特徴と適切な対応	
	【予習】テキスト P 106 - 113を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第14回	救急疾患の特徴と適切な対応	
	【予習】 テキスト P 89 - 97を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 期末試験対策課題	165分
第15回	保護者との情報共有と家族の支援 子どもの健康診断と関連機関との連携 *試験の説明 まとめ	
	【予習】テキスト P 129 - 147を読む	60分
	【復習】試験対策 【 9 回からの範囲】	165分

授業科目名	子どもの健康と安全			科目コード	C123-11				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	松居 紀久子					
実務経験	看護師・介護支援専門員として大学病院14年勤務をはじめ、訪問看護・施設等での勤務経験を活かし、保育士や介護福祉士の資格取得に必要な知識と技術を実践的に解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	子どもの保健		後継科目						
関連科目	子どもの家庭支援の心理学 子どもの食と栄養 乳児保育								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育環境や援助を保健的観点から、関係する各種ガイドライン等から、具体的に理解する。障害、感染症、アレルギー、事故、災害の最新の知見を学び、子どもの健康及び安全を守るための具体的な対応を実践的に身につける。保健指導を計画的に実践して、組織的体制づくりを理解する。小グループで課題達成に向け、事故の役割を理解し積極的に授業参加できるように展開する。								
学習目標	保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策、感染症対策について、具体的に理解する。 子どもの体調不良等に対する適切な対応について、具体的に理解する。 子どもの健康及び安全の管理に関わる、組織的取組や保健活動の計画及び評価等について、具体的に理解できる。								
キーワード	安全な保育環境 事故災害防止 感染症対策 アレルギー対策 保健計画								
テキスト・ 参考書等	テキスト：授業で現場で役立つ！子どもの健康と安全演習ノート 2024年 改訂第3版 診断と治療社 *前期の「子どもの保健」や「乳児保育」のテキストを参照・持参、資料の持参を適宜指示する								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	（知識・理解）子どもの健康と安全についてガイドライン等を理解し、試験で正しく答えられる。子どもの状況や対応を保健計画に反映し保育士としての役割を理解・実践できる。								
LO-2	（技能）子どもの健康状態の把握、生命維持のための正確な技術を身につけている。								
LO-3	（思考力・判断力・表現力）専門職として各種ガイドラインを理解し、保健活動について考察・発表できる。								
LO-4	（関心・意欲・態度）最新の知見と現状分析の把握に努め、意欲的に授業に参加し安全確保について学びを深める。								
LO-5	（人間性・社会性）子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことができる。専門職として他職種や関連機関と連携して養護できるように取り組むことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	45		10	15	15	15			100
LO-1	20		5	10		5			40
LO-2	10			5		10			25
LO-3	5		5		5				15
LO-4	5				5				10
LO-5	5				5				10
備考	・ A：授業の実技等の取組・ミニツッペーパー（10）、課題ノート提出（5）（おさらいテストなど、15回目回収する） ・ 試験は原則対面で実施するが、感染症等の状況に応じて課題レポートとする。誤答の多い設問、模範解答を示す。 ・ 「右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します：グループワーク、プレゼンテーション」								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 子どもの健康と保育の環境 各測定と評価	
	【予習】テキストを読む P1ー17	15分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分
第2回	個別対応と集団全体の健康 健康及び安全管理 衛生管理	
	【予習】テキストを読む P25 - 47 *ハサミ・のり用意	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分
第3回	体調不良や傷害時の対応 保健的対応の基本 3歳未満児への対応 *乳児保育テキスト持参 危機管理と災害への備え	
	【予習】テキストを読むP93 - 110 実習先の市町村ハザードマップ確認	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分
第4回	保健的対応の基本 保健的対応の基本 3歳未満児への対応 実習からの学びから 個人まとめ KJ法	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分
第5回	発表 危機管理と災害への備え	
	【予習】実習の振り返り	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第6回	感染症の予防と対応 病後児保育DVD	
	【予習】テキストを読む P77 - 89	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分
第7回	健康および安全管理の実施体制 ・世界の子どもを取り巻く調査	
	【予習】こどものニュース検索	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第8回	衛生管理 沐浴 など 子どもへの適切な対応	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分
第9回	個別的な配慮・障害を必要とする子どもへの対応 医療的ケア	
	【予習】テキストを読む123-129	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第10回	健康および安全管理の実施体制 保育における保健計画及び評価 職員間の連携・協働と組織的取組 子どもを中心とした家庭・専門機関・地域との連携	
	【予習】テキストを読む p 137-148	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分

第11回	健康および安全管理の実施体制 保育における保健計画及び評価保健計画 保健だよりの意義・作成	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第12回	障害のある子どもへの適切な対応 発達障害児の生活の構造化を作成	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第13回	アレルギー アナフィラキシーショック対応 災害の備えと危機管理 E 館 プロジェクト	
	【予習】震災・災害関係の報道等の調査	20分
	【復習】・発表準備	25分
第14回	E館 プロジェクト発表 試験のオリエンテーション	
	【予習】発表準備	20分
	【復習】・レポート作成	60分
第15回	救命救急の対応 まとめ 課題の提示	
	【予習】テキストを読む P63-69	60分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	60分

授業科目名	子どもの食と栄養				科目コード	C123-20			
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健			担当教員名	城岡 恭子				
実務経験									
開講時期	1年前期			授業の方法	演習				
必修・選択	必修			単位数	1単位				
前提科目(知識)				後継科目	子どもの食と栄養				
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもを取り巻く食の現状と課題を理解し、子ども一人ひとりの心身の状態や発達過程を踏まえ、主に乳幼児期の食生活の意義について理解する。さらに栄養と食品に関する基本的知識を座学、調理実習を通して身につける。								
学習目標	子どもの食と栄養に関する基本的知識を習得する 乳幼児期の食事が果たす役割の大切さを理解する								
キーワード	子どもの食と栄養 発達過程 乳幼児 食生活の意義 栄養の基本的知識								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『子どもの食と栄養 演習ブック』 松本峰雄 監修 ミネルヴァ書房 参考資料：								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	保育の対象となる子どもの食と栄養に関する専門的な知識を習得し、子どもの育ちと乳幼児が育つ食環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた食に関わる実践力を備えている。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	質問、感想の内容など授業への積極的な授業態度がみられる。								
LO-5									
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		10			20			100
LO-1	70		10						80
LO-2									
LO-3									
LO-4						20			20
LO-5									
備考	その他：Aは、質問、感想や授業態度などを総合して評価する。 アクティブラーニング有 ・グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション 課題に対する学生へのフィードバックについて								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	子どもの食と栄養の概要説明をし、子どもの健康と食生活の意義について解説する	
	【予習】食と栄養を学ぶ意義を考え、テキストp.8～21を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.12【おさらいテスト】、p.13【演習課題】を解いて授業内容を整理し、最近の子どもを取り巻く現状について考えてみる	30分
第2回	子どもの食生活をめぐる現状について解説する	
	【予習】テキストp.22～35を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第3回	栄養に関する基本的知識、炭水化物について解説する	
	【予習】テキストp.38～47を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.42【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第4回	脂質とたんぱく質の種類と機能について解説する	
	【予習】テキストp.47～56を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.49、56【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第5回	ミネラルと水分の機能、ビタミンの機能(1)について解説する	
	【予習】テキストp.58～61を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.60【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.62～63【演習課題】をやる	30分
第6回	ビタミンの機能(2)、栄養素の消化と吸収について説明する	
	【予習】テキストp.61～69を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.69【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.70【演習課題1】をやる	30分
第7回	日本人の食事摂取基準の意義とその活用について解説する	
	【予習】テキストp.72～84を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.84【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第8回	献立作成と調理の基本について解説する。 食事バランスガイド等の使い方についても解説する	
	【予習】テキストp.86～91を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.91【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.92【演習課題】をやる	30分
第9回	妊娠期・授乳期の食生活、乳児期の食生活(1)、乳汁栄養について解説する	
	【予習】テキストp.94～106を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.100、106【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.101【演習課題】をやる	30分
第10回	乳児期の食生活(2)について理解する	
	【予習】テキストp.108～113を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.114【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.113【演習課題】を読み、考える	30分

第11回	幼児期の心身と食生活の特徴について解説する	
	【予習】テキストp.116～120を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.120【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第12回	幼児期の間食の意義と栄養上の問題について解説する	
	【予習】テキストp.122～127を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.127【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.128【演習課題】をやる	30分
第13回	学童期・思春期の食生活について解説する	
	【予習】テキストp.130～138を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.139【演習課題3】をやる	25分
第14回	食物アレルギーとその対応について解説する	
	【予習】テキストp.208～220を読んで要点を理解する	15分
	【復習】テキストp.212、220【おさらいテスト】を解いて授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.221【演習課題】をやる	30分
第15回	これまでの学習まとめと期末試験について解説する	
	【予習】テキストで期末試験範囲を読み、学習内容の問題点を考えておく	10分
	【復習】期末試験範囲の内容について十分理解し、ノートを整理する	40分

授業科目名	子どもの食と栄養			科目コード	C123-21				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	城岡 恭子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	子どもの食と栄養		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	「子どもの食と栄養」で学んだ食と栄養に関する基本的知識に基づき、発育・発達時期の異なる食事や調理、食育の重要性、子どもの家庭における栄養指導について学ぶ。さらに食にかかわる保育実践や子ども集団全体の食事と栄養について理解を深め、柔軟に活用できる実践力を身につける。								
学習目標	子どもの食事活動を計画し、保育実践の場で活かせる指導力を育むこと。 調理の実習では身支度をしっかり整え、安全面や衛生面に気をつけて行うこと。 毎回のまとめとしてレポートを必ず提出すること。								
キーワード	発達・発育時期の食事 調理 食育 栄養								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『子どもの食と栄養 演習ブック』 松本峰雄 監修 ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	保育の対象となる子どもの食と栄養に関する専門的な知識を習得している								
LO-2	子どもの発達支援に必要な保育の表現技術を身につけており、家庭支援においてもその技術を応用できる								
LO-3	レポートから論理的な考察が見られ、自らを省察し、実践的に問題解決方法を見極めることができる								
LO-4	子どもの育ちと乳幼児が育つ食環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた食事に関わる保育実践力を備えている								
LO-5									
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		30			10			100
LO-1	60								60
LO-2			15						15
LO-3			15						15
LO-4						10			10
LO-5									
備考	グループワーク、実習、ディスカッションあり。レポートにはコメントをつけて返却する その他：Aは、授業時の積極性、質問や授業態度などを総合して評価する 調理実習の日程は初回授業時に連絡する								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の全体概要について説明する（調理実習室で行う） 調理実習の実習心得と調理の基本について解説する 育児用粉乳の調乳・授乳方法を実際に体験する	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキストp.102～107を読んで要点を再確認する エプロン、三角巾、マスク、筆記用具、集金用紙、実習費を用意	15分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第2回	離乳食の実習（１）離乳時期（離乳形態）の異なるベビーフードを味わい、物性や栄養成分の違いから特徴を比較する	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキストp.108～113を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】テキストとプリントにより要点を整理する <ベビーフード>	30分
第3回	離乳食の実習（２）離乳食を調理し、調理方法、量や味付けなど特徴を学ぶ	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキストp.108～113を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第4回	幼児期の実習（１）幼児期の昼食を調理、盛付をし、量や工夫等について学ぶ	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキストp.116～120を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第5回	保育実習を終えて「乳幼児の食」についてグループで意見を出し合い、討議する	
	【予習】2週間の保育実習を終えて「乳幼児の食」について体験したことを書き出してみる	15分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第6回	幼児期の実習（２）子どもと一緒に楽しむ間食（おやつ）、食物アレルギー対応のおやつを実習する	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキスト「間食の意義と与え方」p.122～125、「食物アレルギーへの対応と食事」p.208～212を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】配布プリントの各項目をテキストを参考に仕上げる	30分
第7回	食育基本法と第4次食育推進基本計画の概要を解説し、保育所・幼稚園における食育の目的と内容を考えてみる	
	【予習】テキストp.146～150を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.150,p.151【演習課題】を解いて授業内容を整理する	30分
第8回	食育の内容と計画、食育のための環境づくり、食育を通じた家庭や地域への支援について解説する	
	【予習】テキストp.152～171を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.158,164,171を解いて授業内容を整理する	30分
第9回	妊娠期の食事を実習し、各期の特徴を理解する	
	【予習】【予習】前期講義内容を振り返り、テキストp.94～101を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】配布プリントの妊娠期の栄養と食生活における留意点についてテキストを参考に仕上げる	30分
第10回	正月料理の起こりや材料の縁起について解説し、正月料理を実習する	
	【予習】我が家の正月料理や雑煮について家族に聞いておく。	15分
	【復習】正月料理を実際につってみる おせち料理・雑煮についてまとめる	30分

第11回	子どもを取り巻く食の問題について、意見を出し合い、討議する	
	【予習】子どもの食環境における問題として、近年、特に家庭においてどのような問題があるのか調べる	15分
	【復習】授業での討議から、どのような保育・食育環境の配慮が必要か整理し考えをまとめる	20分
第12回	家庭や児童福祉施設における食事と栄養について説明し、そのなかで保育士の果たす役割について考える 食中毒について解説する	
	【予習】テキスト「家庭における食事と栄養」p.174～176、「児童福祉施設における食生活」p.178～190、「食中毒」p.205～206を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる テキストp.206を解いて授業内容を整理する	30分
第13回	子どもの疾病と障がいのある子どもの食生活について解説する	
	【予習】テキストの「障がいのある子どもの食生活」p.192～198、「疾病および体調不良の子どもへの対応」p.202～204を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第14回	富山の郷土料理を実習し、地域の伝統食を知る。	
	【予習】富山の郷土料理にはどのような料理があるか調べてみる	15分
	【復習】家庭で実際に郷土料理を作り、その他の伝統食について調べる	30分
第15回	郷土料理や和食の特徴について最近の情報から解説する これまでの学習まとめと期末試験について解説する	
	【予習】学習してきた内容について振り返り、問題点を考えておく	15分
	【復習】期末試験範囲の内容について十分理解し、ノートを整理する	40分

授業科目名	子どもの理解と援助				科目コード	C125-10			
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 家庭支援			担当教員名	嶋野 珠生				
実務経験									
開講時期	2年前期			授業の方法	演習				
必修・選択	選択			単位数	1単位				
前提科目(知識)	保育の心理学 子ども家庭支援の心理学			後継科目	教育相談				
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子ども理解に基づく援助の意義について、発達の観点、環境と学びの観点、および保育者の基本的姿勢の観点から理解する。 また、子ども理解の方法として、観察、記録、家庭連携、保育者同士の情報共有の視点を学習し、理解を深める。 理解に基づく具体的援助については、さまざまな場面の事例を自分で、グループで多角的に検討することを通してその基本								
学習目標	1．保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義を理解する。 2．子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する。 3．子どもを理解するための具体的な方法を理解する。 4．子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する。								
キーワード	自己理解 他者理解 子ども理解 発達の観点 環境と学びの観点 共感的理解 観察 記録								
テキスト・ 参考書等	教科書：鯨岡峻(2013)「子どもの心の育ちをエピソードで描く」ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕 子ども理解についての基本的考え方、理解に基づく援助の意義や子ども理解の具体的方法、態度の基本を理解している。								
LO-2	〔技能〕 子ども理解に基づく援助に必要な基本的な技術、他者への共感的な態度を身に付けている。								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕子どもの遊びや生活場面など実践的事例から、子ども理解に基づく具体的援助を考え、意見を表明し、実践してみることができる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕授業に対して関心、意欲を持ち、自ら課題を見つけ行動し主体的に学ぶ姿勢を持つ。								
LO-5	〔社会性・人間性〕グループの仲間と協力し合い、グループディスカッション、ワーク、発表を積極的に行うことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20	20			60			100
LO-1		20							20
LO-2			10			20			30
LO-3			10			20			30
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aは、毎授業後の振り返りの内容、グループワーク、ディスカッション等への参加態度およびプレゼンテーションのスキルから評価する。レポートはコメントして返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 自己理解・他者理解ワーク（質問紙） 保育における子ども理解の意義 子ども理解におけるアセスメント	
	【予習】シラバスを見て授業内容を確認 教科書第1部第2章を読む。	15分
	【復習】オリエンテーションを振り返り、半期間の授業予定の振り返り 教科書指定箇所を読み復習する。 授業スライドの復習をする。	30分
第2回	自己理解・他者理解ワーク（エゴグラム） エゴグラム解説 子ども理解の方法：観察、記録、評価	
	【予習】 教科書 第2部第3章 p 66 - 「0歳児の心の育ちを描く」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り、 課題 WEBシラバスに貼った「エゴグラム解説」を読み、自分の「エゴグラム」の結果について気づいたことをWEBシラバスのアンケート（7）感想欄に記入して送信すること。ㄦ切：授業の翌日まで	30分
第3回	自己理解・他者理解ワーク（自分を肯定的にリフレーム）リフレーミング授業スライド 共感的理解と子どもとの関わり	
	【予習】教科書第2部第3章 p 66 - 「0歳児の心の育ちを描く」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り、 提出課題：「リフレーム」のワークシート	30分
第4回	自己理解・他者理解ワーク「こんな絵がけちゃった」 子ども理解の視点：子どもの生活や遊び	
	【予習】教科書 p 88 - 「1歳児の心の育ちを描く」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り。教科書エピソード記述を読み返し復習。	30分
第5回	自己理解・他者理解ワーク「私の言葉」 子ども理解の視点：子どもの生活や遊び	
	【予習】教科書 p 88 - 「1歳児の心の育ちを描く」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り。教科書 , を読み返し復習。	30分
第6回	他者の視点に立つワーク：「4人の体験」 子ども理解の視点：心の発達と人的環境としての保育者 不適切保育とは 適切な保育とは	
	【予習】教科書 p114 - 「2歳児の心の育ちを描く」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り。教科書を読み返し復習する。	30分
第7回	他者の視点に立つワーク：価値観ゲーム「何を大切にするか」 子ども理解の視点：個と集団を大切にする保育の関わりー3歳未満児クラス	
	【予習】教科書 p p 140 - 「2歳児、3歳児の心の育ちを描く」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り。教科書 を読む。	30分
第8回	自己理解・他者理解ワーク「築城大作戦」 子ども理解の視点：個と集団を大切にする保育の関わりー3歳以上児クラス	
	【予習】教科書 p 140 - 「3歳児の心の育ちを描く」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り。教科書 を読み返して復習。	30分
第9回	子どもの視点に立つワーク：ロールレタリング1 絵本「ちょっとだけ」 「ちょっとだけ」絵本PDF 「ちょっとだけ」絵本PDF 子ども理解の視点：発達における葛藤やつまずきと保育者の援助	
	【予習】教科書 p 162 - 「4歳児の心の育ちを描く」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り、教科書を読み返す。	30分
第10回	子どもの視点に立つワーク：ロールレタリング2 スマホへの手紙 子ども理解の視点：保育環境の理解と構成	
	【予習】教科書 p 162 - 「4歳児の心の育ちを描く」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り。教科書読み返し復習。	30分

第11回	他者を理解する ワーク「○ □」 合同絵画 子ども理解の方法：職員間の対話	
	【予習】教科書 p.188 - 「5歳児の心の育ちを描く」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り、教科書を読み返す。	30分
第12回	子ども理解の方法：保護者との情報共有	
	【予習】教科書 p.107エピソード12「一緒にねんね」、p.133エピソード17「ああ～、おべんとうおいしかった～！」を読む。	15分
	【復習】授業スライドの見直し、活動の振り返り、教科書を読み返す。	30分
第13回	実習を振り返る：実習で心が動かされた体験をエピソード記述で描き発表しよう	
	【予習】実習日誌で自分の子どもとの関わりのエピソードを振り返っておく	15分
	【復習】エピソード記述の提出、活動の振り返り	30分
第14回	発達課題に応じた援助と関わり NHKプロフェッショナル「野島千恵子の仕事」を視聴。感じたことを交流。	
	【予習】エピソード記述の振り返り	15分
	【復習】課題レポート：番組視聴後のまとめレポート	30分
第15回	自己理解・他者理解ワーク 授業最終日のアンケート記入 不適切保育を防ぐ、適切な保育をするために	
	【予習】教科書 p.184エピソード29「つばしても、すき？」、p.192エピソード31「こんな保育園、出ていったる！」を読む	15分
	【復習】授業スライドの見直し、教科書を読み返す。	30分

授業科目名	教育課程論			科目コード	C131-10				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育方法		担当教員名	石動 瑞代					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	なし		後継科目	教育方法論					
関連科目	保育原理 教育原理 保育内容総論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	カリキュラムの基礎理論を知り、計画・評価の意義や保育の過程の循環が保育の質向上を図ることを理解する。また、保育における計画の構造を知り、全体計画と指導計画及びその他の計画をマネジメントする力を身に付ける。								
学習目標	教育課程の役割・機能・意義を理解する。 教育課程編成の基本原理及び保育実践に即した計画の編成方法を理解する。 園全体の計画を総合的にマネジメントする意義と方法を理解する。								
キーワード	カリキュラム 指導計画 PDCA 質の向上 カリキュラム・マネジメント								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『教育課程・保育の計画と評価』萌文書林 『保育所保育指針解説』 厚生労働省編（フレーベル館）、『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館）『幼保								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 幼稚園教育要領等の性格や教育課程編成の目的、社会的役割、機能を理解し、筆記試験で正しく回答することができる。また、カリキュラムの基本原理についての確に述べることができる。								
LO-2	【技能】 指導計画の作成手順をふまえて、ねらいと内容を設定することができる。子ども理解につながる保育記録作成に努める。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 一連の保育の過程と関連づけながら指導計画を評価し、改善案を考えることができる。 カリキュラム評価の基礎的な考え方ができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 教育課程が、地域社会や家庭・園環境と密接な関連があることを理解し、PDCAサイクルに活かすことができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 保育事例等の討議に積極的に参加する。自らの意見を他者に表明するとともに、他者の意見を受容し、自らの意見に反映させることができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	20	20			10			100
LO-1	20	20							40
LO-2			10						10
LO-3	15		10						25
LO-4	15								15
LO-5						10			10
備考	アクティブラーニングの実施：グループワーク、ディスカッション等を実施する。 その他Aはアクティブ参加時の態度や課題シートの提出状況とする。 提出課題に対しては口頭及び紙面にてコメントを行う。小テストは返却、定期試験は模範解答を試験後にWebシラバス第15回に示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	カリキュラムの意義について 保育所保育指針及び幼稚園教育要領における「カリキュラム」の位置づけ	
	【予習】保育所保育指針、幼稚園教育要領で「カリキュラム」に関する記述部分を読む。 重要となるワードを整理してまとめる	90分
	【復習】講義内容をまとめる。要領、指針等の重要語句を覚える。	90分
第2回	計画の根拠となる法令の確認 教育に関するカリキュラムの種類＜教育課程、全体的な計画、指導計画（長期・短期）＞とその内容	
	【予習】教科書の該当部分を読む	60分
	【復習】カリキュラムの種類とそれぞれの特徴について、整理してまとめる。 教科書の重要語句を覚える。	120分
第3回	全体的計画と指導計画 それぞれの特徴	
	【予習】 保育の計画の基本原則をまとめる	60分
	【復習】保育の計画の構造を理解する。 指導計画の特徴についてまとめておく。 課題：実習先の保育理念や保育目標を調べて記載する	120分
第4回	全体的な計画の内容 保育の過程（計画、実践、省察・評価、改善）について	
	【予習】全体的な計画と指導計画の基本原則を教科書及び資料で確認し、理解する。	60分
	【復習】課題シートを完成する	120分
第5回	保育の過程（計画、実践、省察・評価、改善）について 保育の評価について 記録の重要性 グループワーク	
	【予習】幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の評価に関する部分を読む	40分
	【復習】課題を完成する。 1 保育のエピソード記録を読み、感想を書く 2 自分の保育エピソードを書く。	90分
第6回	保育の評価について 省察と改善 グループワーク	
	【予習】これまでの実習日誌を読み、自分の記録の課題についてまとめてくる。	120分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 課題プリント(エピソード理解)を仕上げる。	120分
第7回	カリキュラムマネジメントの意義・理解 指導計画の作成と展開 縦断的な視点をもつ 小テストの実施	
	【予習】小テストの準備	100分
	【復習】教科書該当部分を読む。小テストの振り返り	100分
第8回	カリキュラムマネジメントの理解 指導計画の作成と展開 年間指導計画～月間指導計画へ 月間指導計画～週案へ	
	【予習】過去の配布資料で、計画の種類と特徴を確認しておく。	90分
	【復習】教科書の演習課題及び配付された課題プリントを仕上げる。	90分
第9回	カリキュラムマネジメントの理解 指導計画の作成と展開 日案から週案へ 週案から日案へ 保育実践に向けて	
	【予習】教科書該当部分を読む	50分
	【復習】教科書及び講義中の資料について、日案と週案との関連をマーク付けする。 講義内容をノートにまとめる。保育実践の準備をする。	130分
第10回	カリキュラムマネジメントの理解 保育実践 指導案作成 指導計画の作成 長期と短期の指導計画	
	【予習】活動の指導計画案を考える。 実践の準備をする。	90分
	【復習】保育実践に関わる課題プリントに取り組む。 保育実践の準備をする。	90分

第11回	カリキュラムマネジメントの理解 指導計画の作成と展開 実習指導計画の作成 部分・一日 保育実践	
	【予習】指導案の作成と保育実践の準備	90分
	【復習】 保育実践や課題内容をまとめる。	90分
第12回	カリキュラムマネジメントの実際 指導計画の作成と展開 実習指導計画の発表・討議 保育実践と評価	
	【予習】保育実践の評価 課題シートの作成	90分
	【復習】 課題プリントを仕上げる。	90分
第13回	カリキュラム・マネジメントの実際 保育実践と評価	
	【予習】課題をすすめておく 教科書の指定ページを読んでくる。	60分
	【復習】課題プリントを仕上げる。	120分
第14回	小学校との連携 ～ 生活と発達の連続性をふまえた計画	
	【予習】保育所保育指針・幼稚園教育要領で、「小学校の連携」に関する記述を読む。 教科書の小学校への接続に関する説明の文章を読む。	60分
	【復習】要録課題シートの整理・提出	120分
第15回	これまでの学習のまとめ	
	【予習】試験に関する項目を教科書や指針で確認しておく。	90分
	【復習】筆記試験にむけて準備する。	120分

授業科目名	教育方法論			科目コード	C131-20				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育方法		担当教員名	四杉 昭康					
実務経験	公立小中学校で教員として38年間勤務した経験を生かし、幼稚園教諭や保育士等の養成に必要な知識や技能等について実践的に指導する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	教育課程論		後継科目	なし					
関連科目	教育原理、保育内容総論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭 2 種免許、保育士資格								
授業の概要	教育方法——とくに幼児期——について解説するとともに、事例を取り上げて理解を深める。また、小学校の教育との接続についても考える。								
学習目標	1.教育の方法を活動の観点から理解する。 2.小学校教育との接続を考慮した指導について特徴を理解する。 3.自身の教育方法を改善していく営みを理解する。								
キーワード	幼稚園教育要領、保育所保育士指針、小学校学習指導要領、								
テキスト・ 参考書等	大豆生田啓友・渡邊英則編（2020）『保育方法・指導法』ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	教育方法についての基礎知識を獲得し、理解する								
LO-2	教育実践記録・ドキュメンテーション等の意義を理解したうえで、検討することができる								
LO-3	教育方法を用いるうえでの長短を理解したうえで、教育実践を構想することができる								
LO-4	自身の教育方法観を理解したうえで、それを捉え直すことができる								
LO-5	該当しない								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		10	60			30			100
LO-1		10							10
LO-2						30			30
LO-3			10						10
LO-4			50						50
LO-5									
備考	その他AIは、講義内で実施するディスカッションの感想（ミニツツペーパー）による。講義ではグループ・ワークないしはディスカッションをおこなう。レポート等はコメントの上返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション	
	【予習】シラバスを確認しておく。	90分
	【復習】教科書のワークをおこなう（レポート課題）。	90分
第2回	子ども理解にもとづいた保育方法と評価 教育方法・評価を理解する。	
	【予習】教科書のワークをレポートとして作成する。	90分
	【復習】配布資料を通読のこと。	90分
第3回	子どもにふさわしい園生活と保育形態 事例を通して理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第4回	養護と教育が一体となった保育の方法 事例を通して理解を深める。	
	【予習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
	【復習】配布資料を通読のこと。	90分
第5回	環境を通じた保育の方法 事例を通して理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第6回	遊びを通じた保育の方法 事例を通して理解を深める。	
	【予習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
	【復習】配布資料を通読のこと。	90分
第7回	個と集団を活かした保育の方法 事例を通して理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第8回	発達に応じた保育の方法（１） 事例を通して理解を深める。	
	【予習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
	【復習】配布資料を通読のこと。	90分
第9回	発達に応じた保育の方法（２） 事例を通して理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第10回	気になる子どもへの関わり方（１）（実習編） 事例を通して理解を深める。	
	【予習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
	【復習】配布資料を通読のこと。	90分

第11回	気になる子どもへの関わり方（2）（実習編） 事例を通して理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第12回	家庭・地域と連携した保育 事例を通して理解を深める。	
	【予習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
	【復習】配布資料を通読のこと。	90分
第13回	小学校との接続のデザイン 事例を通して理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第14回	配慮を要する子どもへの保育方法 事例を検討し教育・保育方法観を精査する。	
	【予習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
	【復習】配布資料を通読のこと。	90分
第15回	教材や情報機器を活かした保育方法・まとめ 最終レポートの作成 レポート用紙 （対面授業の場合は授業で用紙を配付・回収。対面授業ができない場合、用紙をクリックして作成し、提出はこの回の課題1へ、ファイル名は「最終レポート・学籍番号・氏名」）	
	【予習】最終レポートの構想を練っておくこと。	90分
	【復習】これまでの授業のテーマを振り返って自身の保育方法の質向上を目指す。	90分

授業科目名	保育内容総論			科目コード	C133-10				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	日光 恵利					
実務経験	保育士として保育所での実務経験あり								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	子どもと健康 子どもと人間関係 子どもと環境 子どもと言葉 子どもと音楽表現					
関連科目	保育内容（健康）指導法 保育内容（言葉）指導法 保育内容（音楽表現）指導法 保育内容（造形表現）指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	保育内容が乳幼児の遊びや生活として総合的に展開される過程を、乳幼児の姿と5領域のねらい及び内容と関連付けて学ぶ。また、保育・幼児教育は環境を通して行われることを踏まえ、環境を構成し実践するために必要な知識と基本的な保育者の関わりする方法を修得する。								
学習目標	保育・幼児教育の基本を踏まえた保育所・幼稚園・こども園における保育の内容について総合的に理解する。 遊びや生活を総合的に展開していくために必要な環境構成と保育者の関わりについて理解する。								
キーワード	遊び 環境構成 保育者の関わり ねらいと内容 養護と教育								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『演習 保育内容総論 あなたならどうしますか？』 酒井幸子・守巧 萌文書林 参考書：『保育所保育指針解説』 厚生労働省編 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育・幼児教育の基本を理解し、保育のねらい及び内容について基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	【技能】保育内容を総合的に展開するために必要な環境構成に関する基本的な技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】保育・幼児教育の基本を踏まえた遊びや生活を展開する際に、適切な環境構成と保育者の関わり方を考察し選択できる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】配布プリントや資料を基に、問題意識を広げながら学習を深めることができる。								
LO-5	【人間性・社会性】グループワークなどに積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		60	20		10	10			100
LO-1		30							30
LO-2		20							20
LO-3		10	10						20
LO-4			10		10				20
LO-5						10			10
備考	その他A：グループワークへの取り組み姿勢 授業で配布されたプリント、資料などを整理し保管すること。 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	○オリエンテーション（授業のねらい、方法、評価等についての説明） ○保育内容を総論として学ぶとは ○保育内容の歴史的変遷	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。 テキスト序章・第1章を読む。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第2回	○保育における5領域のねらい及び内容の関連性	
	【予習】テキスト第4章7節を読む。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第3回	○保育の計画と観察・記録と評価	
	【予習】テキスト第2章を読む。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第4回	○保育実習時のエピソード記述作成	
	【予習】実習記録を振り返り、エピソードを整理しておく	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第5回	○エピソード記述を基に、保育における総合的な視点を理解する	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第6回	○保育、幼児教育の基本と保育内容	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第7回	○領域と保育内容（環境構成とは何か 環境構成の必要性について学ぶ）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第8回	○領域と保育内容（乳幼児が落ち着いて過ごせる環境構成、園庭環境について学ぶ）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第9回	○領域と保育内容（乳幼児が豊かな経験ができる遊びの環境構成について考察する）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第10回	○養護と教育の一体的展開（事例を通して、養護と教育が一体的に展開する過程を理解する）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分

第11回	○気になる子どもの保育 ○幼保小の連携	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第12回	○多様な保育の展開 気になる子どもの保育、外国にルーツをもつ子どもの保育、地域交流と保育等の事例について、グループ討議を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第13回	○多様な保育の展開 グループ討議の結果をまとめる。	
	【予習】関連資料を収集する。	30分
	【復習】	0分
第14回	○多様な保育の展開 グループ討議の結果を発表する	
	【予習】グループ討議の結果を発表用にまとめる。	60分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第15回	○学びのまとめ	
	【予習】確認テストの準備をする	60分
	【復習】授業内で配布されたプリント、資料を整理し、要点をまとめる。	30分

授業科目名	子どもと健康			科目コード	C133-20				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	塩見 一成					
実務経験	中学校・高等学校で教員として29年勤務した経験から得た知見や技術を活かし、授業の中で保育者として必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育内容総論 子どもの運動 体育講義 生涯スポーツ		後継科目	保育内容（健康）指導法					
関連科目	教育課程論								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	領域「健康」のねらいと内容について理解するとともに、健康な子どもの心身の発達と自ら健康で安全な生活を営む力を身につけていくための保育者の役割の基礎を学びます。								
学習目標	幼児期の身体機能の発達の特徴と生活習慣の形成過程を理解し、大人の関わりや環境構成の影響について説明できるようになる。集団援助の方法を学び、実践できるようになる。運動遊びのレパートリーを増やし、さまざまなプログラムを発達に応じて指導できるようになる。 遠隔授業においては、与えられた場所で可能な子どもの遊びを創作し、スキルアップを目指す。								
キーワード	健康 神経回路 運動発達 運動遊び 基本的生活習慣 食育 安全 保育者の援助								
テキスト・ 参考書等	テキスト：保育者を目指すあなたへ 子どもと健康 みらい 参考書：保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育所保育指針及び幼稚園教育要領に示された領域「健康」のねらい・内容について理解している。幼児期の運動遊びの大切さを理解し説明できる。								
LO-2	【技能】乳幼児の心と体の健やかな育ちに必要な保育を構想し、展開する技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 保育における現代的な課題(体力の2極化など)を「健康」の関連からとらえ、論理的に考察することができる。模擬保育や実習時の事例の振り返りから実践的な問題解決方法を検討し、学びを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子どもの健康と子どもが育つ環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた保育実践力の向上に努めることができる。自分自身の健康に対して高い関心を持つことができさらに向上させようとしている。								
LO-5	【社会性・人間性】 ディスカッションやグループ活動に積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。 子どもへの愛情をもって安心安全を前提とした指導計画を企画・立案し仲間と共同して運営することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		40	40		20				100
LO-1		20	20						40
LO-2		10			10				20
LO-3			10						10
LO-4		10			5				15
LO-5			10		5				15
備考	小テストは演習授業のため、授業内において技能テストとして行う。レポートはノートの提出の内容で評価する。 成果発表は、授業内において 授業態度(グループへの関与)と 企画・立案・運営はプログラムの参加、協力と取り組み方をもって評価とする。 グループワーク、ディスカッションなどのアクティブラーニングを半分以上の授業で実施する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、計画、評価、模擬保育等についての説明）	
	【予習】シラバスを読み、授業の概要を確認する。	15分
	【復習】模擬保育についてグループのメンバーを確認するとともにメンバーとの共同作業の時間を確認する。	30分
第2回	健康とはなにかをWHOの定義やウェルネス、SDGSなどの観点をもとに考える。	
	【予習】テキスト第1章を読む。（保育所保育指針第3章、幼稚園教育要領第2章） 準備する物があるので用意する。	15分
	【復習】様々な健康についての定義を考え自分なりの健康観を考える。領域「健康」はどのような保育内容を含んでいる領域なのか、具体的に考える。	30分
第3回	発育と発達について	
	【予習】テキスト第2章を読む。	15分
	【復習】からだの健康について、整理する。発育発達についてまとめてノートに記述しておくこと。 年齢に応じた運動遊びのプログラムを考える。	30分
第4回	発達について 神経系の発達及び感覚器の発達について	
	【予習】子どもの発育発達について予習する。	15分
	【復習】子どもにとっての遊び、中でも運動遊びの重要性を理解して整理する。	30分
第5回	幼児期運動指針について及び指導計画について	
	【予習】60分間の指導計画を個別に作成する。	15分
	【復習】保育実践に向けた保育計画を再構築する。	30分
第6回	子どもを取り巻く環境の現状と健康課題	
	【予習】テキストP.36～48、P.166～170を読んでおく。	15分
	【復習】第1回から第6回までの内容をノートに整理する。	30分
第7回	子どもの事故防止と安全管理	
	【予習】第6回までの内容を整理する。P.179～183を読んでおく。	30分
	【復習】保育現場で起こりやすい事故についてノートに整理する。	15分
第8回	模擬保育の実践 子ども役と保育者役に分かれて模擬保育を行う で保育者役の場合は で子ども役となる	
	【予習】指導計画の作成と模擬保育の準備をする。	15分
	【復習】模擬保育の振り返りをノートへ記述する。	30分
第9回	模擬保育の実践 子ども役と保育者役に分かれて模擬保育を行う で保育者役の場合は で子ども役となる	
	【予習】指導計画の作成と模擬保育の準備をする。	15分
	【復習】模擬保育の振り返りをノートへ記述する。	30分
第10回	運動遊びと保育者の役割 気温が高い時の運動について （5人以下の小集団の場合）	
	【予習】教科書P.36～48、P.158～159を読んでおく。	15分
	【復習】自身の体験を振り返り、ノートへ記述する。	30分

第11回	子どもの事故防止と安全管理 子どもの健康課題	
	【予習】教科書P.150～152を読んでおく。	15分
	【復習】本時を振り返り、溺水についてまとめてノートに記述する。	30分
第12回	子どもの健康課題 遅寝が与える子どもへの影響 生活リズムの向上を目指して	
	【予習】教科書P.49～53、P.85～89を読んでおく。	15分
	【復習】サーカディアンリズムや睡眠についてまとめ、ノートに記述する。	30分
第13回	運動あそびと保育者の役割 気温が高い時の運動について （10名以上の大集団の場合）	
	【予習】集団の人数が多い時の指導法について調べておく。 大集団で安全に実施できる運動について調べておく。	15分
	【復習】予想していた内容と実際の内容について、比較検討してノートにまとめる。	30分
第14回	保育現場における身近な遊び教材を使った援助方法について	
	【予習】子どもがやりたくなる運動遊びについての環境設定を考える。	15分
	【復習】あそびの援助方法について、本日の内容をノートに記述する。	30分
第15回	まとめ 現代の子どもの健康に関わる課題について（援助及び環境構成の在り方について）	
	【予習】前期の授業を振り返り、「健康」と保育者の役割についてまとめる。	15分
	【復習】ノートとレポートを提出する。	30分

授業科目名	保育内容（健康）指導法			科目コード	C133-21				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	塩見 一成						
実務経験	中学校・高等学校で教員として29年勤務した経験から得た知見や技術を活かし、授業の中で保育者として必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育内容総論 子どもと健康	後継科目	なし						
関連科目	教育課程論、保育内容総論								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	乳幼児期の子どもの「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力」および、「遊びや生活を通して育む保育のあり方」について考えます。運動遊びの模擬保育を実践したり、幼児の生活習慣の形成に役立つ教材について研究するなど、具体的な場面を設定しながら必要な環境の構成や援助等の学びを深めたい。伝承遊びの方法などを演習する。								
学習目標	現代の子どもを取り巻く生活環境の実態や乳幼児期の子どもの発達過程を理解し、それをふまえた運動遊びの指導や生活習慣形成のための環境構成や援助の方法などの実践力を身に付けます。また運動会の企画・立案・運営を通して保育の実践力を身に付けます。さらに伝承遊びの実技ができるようになる。								
キーワード	健康 運動発達 運動遊び 基本的な生活習慣 食育 安全 保育者の援助								
テキスト・ 参考書等	テキスト：近藤幹生監修徳安敦編著 「生活事例からはじめる保育内容健康」青踏社 参考書：倉、大森編著「子どもが育つ運動遊び」みらい、保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】幼児期の運動遊びの大切さ運動会の在り方を理解し自分なりの運動遊びの考えを伝えることができる。								
LO-2	【技能】乳幼児の心と体の健やかな育ちに必要な保育を構想し、展開する技術を身につけている。伝承遊びについて実技を行うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 保育における現代的な課題(体力の2極化など)を「健康」の関連からとらえ、論理的に考察することができる。運動会の実践や模擬保育などの実践的な問題解決方法を検討し、学びを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子どもの健康と子どもが育つ環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた保育実践力の向上に努めることができる。自分自身の健康に対して高い関心を持つことができさらに向上させようとしている。								
LO-5	【社会性・人間性】 ディスカッションやグループ活動に積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。 子どもへの愛情をもって安心安全を前提とした指導計画を企画・立案し仲間と共同して運営することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		30	10		30	30			100
LO-1		20							20
LO-2			10		20				30
LO-3		10			10				20
LO-4						10			10
LO-5						20			20
備考	模擬保育の終了時に反省会を行い発表した学生へ口頭でのコメントを行う。ミニツッパーでの内容について授業中にコメントを行う。その他：A LO-4 ミニツッパーによる関心度から考慮する。LO-5 授業態度(グループへの関与)と企画・立案・運営への参加度とする。グループワーク、ディスカッションなどのアクティブラーニングを半分以上の授業で実施する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、計画、評価、運動会等についての説明）、	
	【予習】シラバスを読み、授業の概要を確認する。	15分
	【復習】運動会の役割について確認する。	30分
第2回	運動遊び・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割（１）	
	【予習】さまざまな鬼ごっこについて調べる。伝承遊びの技を調べる。	15分
	【復習】鬼ごっこの進め方と方法を整理する。伝承遊びの技を反復練習し、できるようになる。運動会の企画を行う。	30分
第3回	ボール運動について・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割（２）	
	【予習】子どもの運動機能の発達について調べる(ボール運動)。伝承遊びの反復練習をする。	15分
	【復習】ボール運動について整理する。伝承遊びの技を反復練習し、できるようになる。運動会の企画を行う。	30分
第4回	運動遊び・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割（３）	
	【予習】運動会の役割の確認と運営についてグループで確認しておく。	15分
	【復習】伝承遊びの技を反復練習してできるようになる。運動会の企画を行う。	30分
第5回	運動遊び・伝承遊び・運動会の実践と保育者の役割(４)	
	【予習】担当する運動種目の実施にあたり、進行や自らの役割を確認する。	15分
	【復習】伝承遊びの技を反復練習してできるようになる。担当する運動種目の実施にあたり、必要なものを製作・準備する。	30分
第6回	マット運動あそびについて。運動会の実践と保育者の役割（５）プログラム進行の確認、準備	
	【予習】担当する運動種目の実施にあたり、進行や自らの役割を確認する。	15分
	【復習】マット運動あそびの補助方法、遊びの種類を整理しておく。担当する運動種目の実施にあたり、改善点に対応し、必要なものを準備する。	30分
第7回	跳び箱運動遊び・運動会の実践と保育者の役割（６）	
	【予習】担当する運動種目の実施にあたり、進行や自らの役割を確認する。	15分
	【復習】跳び箱運動遊びの補助方法および内容を整理しておく。運動会の準備をする。	30分
第8回	運動会の実践	
	【予習】運動会の意義とあり方について自分の意見をまとめる。	15分
	【復習】実践した後の反省感想をレポートにまとめる。	30分
第9回	運動遊びの教材研究と企画・運営 移動・バランス系	
	【予習】移動・バランス系の遊びの種類を考えて準備する。	25分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考察する。	20分
第10回	運動遊びの教材研究と実践 移動・バランス系	
	【予習】移動・バランス系の遊びの種類を考えて準備する。	25分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考察する。	20分

第11回	運動遊びの教材研究と実践 移動・バランス系	
	【予習】移動・バランス系の遊びの種類を考えて準備しておく。	25分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考察する。	20分
第12回	運動遊びの教材研究と企画 操作系	
	【予習】身近な道具を使った遊びの種類を考えて準備する。	25分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考察する。	20分
第13回	運動遊びの教材研究と企画 操作系	
	【予習】身近な道具（小さな物）を使った遊びを2種類以上考えて準備しておく。	15分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考察する。	30分
第14回	運動遊びの教材研究と企画 操作系	
	【予習】身近な道具（大きな物）を使った遊びを2種類以上考えて準備する。	15分
	【復習】実際に行ってみて安全面、教育的効果について考察する。	30分
第15回	まとめ	
	【予習】乳幼児が「健康」であるために体を動かして遊ぶことや、基本的な生活習慣を身につけることの必要性について、考えをまとめる。	15分
	【復習】子どもに寄り添い、共感し、守り、育てることについて、まとめて整理する。自分が考える「子どもの健康」について、ノートに記述する。	30分

授業科目名	子どもと人間関係			科目コード	C133-30				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	石動 瑞代					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	教育課程論 保育内容総論		後継科目	なし					
関連科目	子どもと健康 子どもと環境 子どもと言葉 子どもと音楽表現 子どもと造形表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	現代の乳幼児の人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因について理解し、幼児教育で保障すべき教育内容に関する知識を身に付ける。特に、領域「人間関係」の指導の基盤となる基礎理論を学び、他者との関係や集団との関係の中で幼児期の人と関わる力が育つことを理解する。								
学習目標	幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解する。 乳幼児期における「人とのかかわる力」の発達を、関係論的視点で理解する。 保育の特性を生かして、乳幼児期の「人と関わる力」を育む視点について理解する。								
キーワード	人とのかかわる力 共感性 個と集団 自立心 道徳性 規範意識 協同性 遊び 保育者の役割								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『保育内容「人間関係」と指導法』（中央法規）、その他適宜プリントを配布。 参考図書：『幼稚園教育要領解説』文部科学省（フレーベル館）、『保育所保育指針解説書』厚生労働省編（フレーベル館）								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳幼児期の人とのかかわる力の発達を理解し、正しく説明できる。								
LO-2	【技能】 保育場面における子どもの経験と幼児教育において育みたい資質・能力を関連づけて理解することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 社会の状況と幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「人間関係」の内容を、関連づけて考えることができる。保育事例を的確に読みとり、保育者の支援内容や方法を検討することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 人とのかかわる力の育ちについて、自らの生活や乳幼児期の保育内容・方法と関連づけながら、具体的に考察することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 様々な事例を通して、子どもの思いを尊重し、信頼関係の構築に努めることの重要性を理解し、自らの対人態度の基盤とする。グループワークに積極的に参加し、自らの意見をわかりやすく伝えると同時に、他者の意見を受								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		30			10			100
LO-1	30								30
LO-2	10		10						20
LO-3	10		10						20
LO-4	10		10						20
LO-5						10			10
備考	その他Aは、授業（グループワークやディスカッション等）態度や課題シートの提出状況とする。 アクティブラーニングの実施：グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション、模擬保育 提出課題に対しては、口頭及び紙面によるコメントを行う。テストについては、紙面等で説明する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション 自らの人とのかかわりを見つめる		
	【予習】シラバスを読んでおく。		10分
	【復習】本日の講義内容を資料で確認する 次回までの課題を完成する		25分
第2回	現代における人間関係の特徴を捉え、人とかかわる力の育ちについて考える		
	【予習】現代における人間関係の特徴を、3～5個のキーワードで考える。		15分
	【復習】現代社会の人間関係とその背景をまとめる。 現代社会の中で「人とかかわる力」を育むにはどうしたらよいかを文章にまとめる。		30分
第3回	領域「人間関係」の変遷を知り、乳幼児に必要なとされる保育内容について理解する。		
	【予習】指針や要領の領域「人間関係」の内容を読む。		10分
	【復習】各時期の領域「人間関係」の中で、特に強調している事項について、その時期の社会状況と関連付けて整理する。 課題シートを完成させる。		35分
第4回	乳児期における人とのかかわり 共感性の発達、 集団保育 の視点で考える。		
	【予習】保育所保育指針の内容から、人間関係の育ちの道筋を確認する。		10分
	【復習】講義やテキストの内容を参考に、レポートを作成する。		45分
第5回	幼児期における人とのかかわり 仲間入り・いざこざ 幼児期における友達とのかかわりの発達過程を理解する。		
	【予習】配付プリントを再読する。 これまれの実習体験から、いざこざに関わった経験をまとめておく。		15分
	【復習】事例について、読み取ったことをまとめる。 仲間入り・いざこざの発達の意味をまとめる。		30分
第6回	幼児期における人とのかかわり 規範意識・協同性		
	【予習】事前課題について、要点をまとめてくる。		15分
	【復習】事例について、読み取ったことをまとめる。 幼児期の規範意識・協同性の発達過程を知る。		30分
第7回	遊びの中で育つ人とのかかわり 遊びを通して育まれる人との関わりの姿を捉え、援助の方法を考える。		
	【予習】テキスト第3章を読んでおく。 配布資料の課題を考えておく。		15分
	【復習】資料の内容を確認し、十分に理解できないところは、次回の質問事項としてまとめておく。 人とのかかわりをつくる遊びについて調べる。		30分
第8回	人とのかかわりを育てる保育の実践 かかわりをつくる		
	【予習】人とのかかわりをつくる“遊び”を考え、指導計画を作成してくる。		20分
	【復習】人とのかかわりをつくる“遊び”の内容と配慮点を、ノートにまとめる。 人とのかかわりをつくる遊びの指導計画を提出する。		25分
第9回	人とのかかわりを育てる保育の実践 個と集団をいかす【模擬保育】		
	【予習】保育所保育指針等の中で、個と集団の関係について述べられている部分をさがし、ノートに書きだす。 集団での活動計画に、個人への配慮の記載を加える。		15分
	【復習】模擬保育についての感想及び課題シートを記載する。		30分
第10回	人とのかかわりを育てる保育の実践 地域との交流、行事をととして		
	【予習】地域交流や行事が、人とかかわる力にどのように影響しているのかを考え、文章にまとめておく。 人とかかわる力の発達と保育との関連を考えたうえでの、疑問点をあげる。		20分
	【復習】課題シートを完成させる。		30分

第11回	人とのかかわりを育てる保育者の役割	
	【予習】実習事例をもとに、人とのかかわりを育てる保育者の役割を自分なりにあげてみる。 テキスト第3章の4，6を読む。	20分
	【復習】授業の中で確認した保育者の役割を、実習中のエピソードと関連づけて、課題シートを完成する。	30分
第12回	職場における保育者の人間関係	
	【予習】 配布資料の課題を考えておく。	20分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。 課題シートを完成させる。	25分
第13回	人とのかかわりが難しい子への支援 事例研究 （実習における事例をもとに話し合う）	
	【予習】実習の中で出会った人とのかかわりが難しい子のエピソードメモをつくる。 テキスト第3章の7 を読んでおく。	20分
	【復習】グループで分担し、発表資料をつくる。	25分
第14回	人とのかかわりが難しい子への支援 事例研究 （事例での学びを発表する）	
	【予習】発表の準備をする。	20分
	【復習】様々なテーマの中で、1～2個のテーマにしばり、発表内容から学んだことをまとめる。	30分
第15回	乳幼児期の人とのかかわりを育む保育内容（まとめ）	
	【予習】これまでのノートを整理し、テキストと関連付けながら読んでおく。	20分
	【復習】これまでの学びをふりかえり、課題レポートの作成を行う。	40分

授業科目名	子どもと環境				科目コード	C133-40			
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容			担当教員名	谷内口 まゆみ				
実務経験									
開講時期	2年後期			授業の方法	演習				
必修・選択	必修			単位数	1単位				
前提科目(知識)	保育内容総論			後継科目	なし				
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	・子どもは「もの・ひと・こと」との関わりを通じて成長・発達する。子どもがどのように環境に関わっているのかを学び、その関わりが領域「環境」に示された経験となるためにはどのような環境の構成と援助が必要であるかを考察する。 ・授業では、直接体験することを重視して学びを深められるように進める。また、教材研究を通して保育実践力を習得できるようにする。								
学習目標	子どもと環境との関わりと子どもの育ちについて理解する。 子どもが周囲の環境に自ら関わるために必要な保育者の援助と保育の方法について習得する。								
キーワード	領域「環境」 身近な自然 身近な「もの・ひと・こと」 フィールドワーク 体験学習 グループワーク								
テキスト・ 参考書等	参考書：『保育所保育指針解説』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育所保育指針と幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「環境」のねらい及び内容について、用語を理解している								
LO-2	【技能】保育所や幼稚園において子どもが自ら環境に働きかけられるような保育環境を構成し、保育を展開する技術を習得している								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子どもが育つために必要な環境について論理的に考察し、保育者の具体的な役割を理解している								
LO-4	【関心・意欲・態度】子どもの育ちと子どもを取り巻く環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた保育実践力の向上に努める								
LO-5	【人間性・社会性】ディスカッションやグループワークに積極的に参加し、他者との協働を図ることができる								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30	30	20	10	10		100
LO-1			30						30
LO-2				30					30
LO-3					20				20
LO-4						10			10
LO-5							10		10
備考	その他：A「活動、調査への取り組み姿勢」B「グループワークへの取り組み姿勢」 ・屋外でのフィールドワークを取り入れた授業を展開します。（体調を整え、服装など適切なものを準備すること）また、草花図鑑やおもちゃ作り等の活動を通しての成果を、発表し合ったり、それらを基にディスカッションしたりして共有します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	○オリエンテーション（授業のねらい、進め方、評価の仕方等について）、幼児教育の重要性	
	【予習】○シラバスを読み、授業内容を把握する。	15分
	【復習】○ワークやレポートの取り組み方、課題の提出方法等について再度確認する。	30分
第2回	○子どもの育ちと領域「環境」 ・子どもが育つために必要な環境とは何か、子どもにとって環境とはどのような意味をもつか ・育みたい資質・能力や幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と領域「環境」との関連	
	【予習】○テキストの関連部分を読む。	0分
	【復習】○授業内容を基にワークシートを完成させる。	45分
第3回	○草花遊びの実践 ・ワークシートを基に、草花を探して遊ぶ。どのような活動ができるのかを考え体験する。 ・活動を紹介し合う。	
	【予習】	0分
	【復習】○草花遊びを振り返り、ワークシートを完成させる。	45分
第4回	○草花遊びの実践 ・活動を紹介し合う ○身近な植物の豆知識「有毒植物」	
	【予習】	0分
	【復習】○参考になったことをまとめ、ワークシートを完成させる。	45分
第5回	○領域「環境」のねらいと内容 ○草花図鑑作りについて	
	【予習】○草花遊びを調べる。	20分
	【復習】○草花遊び図鑑作りを進める。	60分
第6回	○環境への豊かな関わりを援助する保育者の役割 ・環境構成と関わり方について（写真やビデオ視聴）話し合う。	
	【予習】○テキストの関連部分を読む。	0分
	【復習】○話し合ったことを振り返り、ワークシートを完成させる。 ○草花遊び図鑑作りを進める。	45分
第7回	○学園の周りにある草花遊び（草花遊び図鑑づくり）	
	【予習】○図鑑の構成を考える。	0分
	【復習】○草花遊び図鑑作りを進める。	45分
第8回	○フィールドワーク1（体験学習）	
	【予習】○フィールドワーク（体験学習）に向けての作業	45分
	【復習】○フィールドワーク（体験学習）をまとめる。	30分
第9回	○フィールドワーク2（体験学習）	
	【予習】○フィールドワーク（体験学習）に向けての作業	30分
	【復習】○フィールドワーク（体験学習）をまとめる。	45分
第10回	○草花図鑑の発表 グループや全体でシェアし合う。	
	【予習】○草花図鑑を完成しておく。	0分
	【復習】○作成した草花図鑑に対するコメント（参考になったこと、自分が取り入れたいこと等）を整理する。	30分

第11回	◦環境構成の工夫を知る。 ・環境構成の工夫がされている場面から保育者の意図を読み取る。	
	【予習】◦環境構成の工夫が見られる場面の写真を選択する。	15分
	【復習】◦環境構成の工夫を整理する。	30分
第12回	◦子どもの好奇心を引き出す遊ぶ道具を作製する。	
	【予習】◦おもちゃ作りに必要な材料を用意する。	30分
	【復習】◦おもちゃ作りを進める。	60分
第13回	◦好奇心を引き出す遊び道具を紹介し合う。 ・心身の発達とおもちゃを関連付けて紹介する。	
	【予習】◦発表の準備をする。	60分
	【復習】◦色々な手づくりおもちゃについて紹介し合った感想をまとめる。	60分
第14回	◦ユニバーサルデザインの環境づくり、安心・安全な環境づくりや小学校との接続について事例を通じて考える。 ◦地域の行事や人材を生かした活動について考える。	
	【予習】◦地域の行事や人材について調べる。	30分
	【復習】◦授業で配布されたプリントを見直し、ポイントを押さえる。	10分
第15回	◦保育をめぐる現代的課題（SDGs等）と領域「環境」 ◦子どもと環境の振り返りとまとめ	
	【予習】◦講義ファイルに目次を付け、講義内容を振り返る。	30分
	【復習】◦配布されたプリントや授業ノート等を読み返し、授業を振り返りながらポイントを押さえ、レポートにまとめる。	60分

授業科目名	子どもと言葉				科目コード	C133-50			
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容			担当教員名	日光 恵利				
実務経験	保育士として公立保育所に7年間勤務した経験を生かし、保育所等の役割や保育士の職務を学ぶことの意義について授業の中で解説する。								
開講時期	1年後期			授業の方法	演習				
必修・選択	必修			単位数	1単位				
前提科目(知識)	保育内容総論			後継科目	保育内容（言葉）指導法				
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	領域「言葉」の指導の基盤となる、乳幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的知識を修得する。人間ならではの言葉の意義と機能を理解したうえで、乳幼児の言葉を育み、言葉に対する感覚を豊かにするための教材や実践に関する知識を修得する。								
学習目標	人間にとっての言葉の意義や機能を理解し、乳幼児の言葉の獲得過程が説明できる。 言葉に対する感覚を豊かにする実践について理解し、実践するための基礎的な知識を身に付ける。 乳幼児にとっての児童文化財（絵本、紙芝居、素話等）の意義を理解し、実践するための基礎的な知識を身に付ける。								
キーワード	発達と言葉 言葉に対する感覚 絵本								
テキスト・ 参考書等	参考書：『保育所保育指針解説』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児の言葉の発達過程を理解し、乳幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるための基礎的な知識を修得している。								
LO-2	【技能】児童文化財の意義を理解し、教材を準備・実践する基礎的な技術を修得している。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】言葉の感覚を豊かにする実践について理解し、乳幼児の発達に合わせて構想・展開できる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】乳幼児の言葉の育ちに関心を持ち、豊かな言葉の経験ができるような環境を意欲的に模索する。								
LO-5	【人間性・社会性】グループ討議に積極的に参加し、他者との協働を図る。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		40				20	30	10	100
LO-1		40							40
LO-2						15			15
LO-3						5	10		15
LO-4							20		20
LO-5								10	10
備考	その他A：絵本リスト その他B：エピソード記述 その他C：グループワークなどの取り組み姿勢 授業で配布されるプリント・資料を整理しておくこと。図書館などで意識的に絵本に触れておくこと。 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	○オリエンテーション（授業のねらい、方法、評価等についての説明） ○言葉の役割	
	【予習】シラバスを読み、授業で扱う事項を確認する。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第2回	○乳児の言語発達 ○3法令における乳児保育の視点	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第3回	○幼児期前半（1～2歳児）の言語発達 ○3法令における領域「言葉」	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第4回	○保育実習時のエピソード記述の作成	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第5回	○エピソード記述から学ぶ	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第6回	○児童文化財の意義	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第7回	○国内外の絵本や原画に接し、絵本への理解と知識を深める（学外学習）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	60分
第8回	○絵本の手作り体験を通して教材研究を行う（学外学習）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	60分
第9回	○児童文化財を用いた実践	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第10回	○幼児期後半（3～5歳児）の言語発達	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分

第11回	○3法令における領域「言葉」	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第12回	○言葉に対する特別な配慮を要する子どもへの対応	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第13回	○言葉に対する感覚を豊かにする保育	
	【予習】言葉遊びにはどのようなものがあるか調べておく。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第14回	○言葉に対する感覚を豊かにする保育教材とは	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	90分
第15回	○学びのまとめ	
	【予習】確認テストの準備をする。	90分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分

授業科目名	保育内容（言葉）指導法			科目コード	C133-51				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	日光 恵利					
実務経験	保育士として公立保育所に7年間勤務した経験を生かし、保育所等の役割や保育士の職務を学ぶことの意義について授業の中で解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育内容総論 子どもと言葉		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に示された領域「言葉」のねらいと内容について実践的に理解する。園生活における子どもの言葉に関わる様々な事例を用いて、子どもの生活や遊びが言葉の発達にどのように影響するかについて理解する。また、子どもの言葉の発達過程を理解し、将来の保育者として、豊かな言葉を育むための環境構成や援助について学ぶ。さらに、教材研究・指導案の作成と模擬保育を通じて、保育の実践力を身に付								
学習目標	領域「言葉」のねらい及び内容を踏まえ、乳幼児が経験していく内容と指導上の留意点を理解する。 乳幼児が発達過程に合った言葉の経験ができるよう、児童文化財の活用や遊びを展開する技術と援助方法を身に付ける。 教材研究、指導案の作成、模擬保育の実践、振り返りを通して保育を改善する視点を身に付ける。								
キーワード	伝え合う言葉 言葉遊び 児童文化財 模擬保育 保育者の言葉かけ								
テキスト・ 参考書等	参考書：『保育所保育指針解説』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「言葉」のねらい及び内容について理解し、発達過程に即して具体化できる。								
LO-2	【技能】保育所や幼稚園において乳幼児が豊かな言葉の経験ができるような、保育構想力と展開技術を習得している。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子どもの姿と発達過程を踏まえて教材を選び、柔軟で多様な展開を工夫し、的確な考察ができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】教材研究、指導案作成、模擬保育等に意欲的に取り組み、自らの課題を明確にしながら保育実践力の向上に努める。								
LO-5	【人間性・社会性】他者の意見を聞くとともに自分の意見も的確に伝え、学び合う関係を構築する。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20		10	10	30	30		100
LO-1		20				10			30
LO-2					10	10			20
LO-3						10	10		20
LO-4				10			10		20
LO-5							10		10
備考	その他A：指導案 B:模擬保育の取り組みと振り返り 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	○オリエンテーション（授業のねらい、方法、評価の仕方等についての説明） ○「子どもと言葉」復習	
	【予習】シラバスを読み、授業で扱う事項を確認する。	15分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第2回	○言葉の発達に関する理論	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第3回	○伝え合う言葉（１） 事例から子どもたちが言葉で伝え合う過程について考える。	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第4回	○伝え合う言葉（２） 保育場面における話し合いとそれを支える環境構成について学ぶ。	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第5回	○シアター遊びから広がる遊びの展開（１） 演じ方の基本	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	180分
第6回	○パネルシアターから広がる遊びの展開（２） 教材研究 遊びの展開	
	【予習】作成したシアター遊びについてどのように展開するか考えておく。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第7回	○領域「言葉」に焦点をあてた指導案の作成 遊びのプランをまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第8回	○領域「言葉」に焦点をあてた指導案の作成 模擬保育の指導案を作成する	
	【予習】模擬保育で取り組む活動を考える。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	60分
第9回	○模擬保育（１）	
	【予習】「保育者」をする人は、指導案を見直し、準備を十分にしておく。 「子ども」をする人は、年齢ごとの発達の特徴を押さえておく。	60分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	60分
第10回	○模擬保育（２）	
	【予習】「保育者」をする人は、指導案を見直し、準備を十分にしておく。 「子ども」をする人は、年齢ごとの発達の特徴を押さえておく。	60分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	60分

第11回	○保育者の言葉かけ（１） 保育実習時のエピソード記述を作成する。	
	【予習】実習日誌を読み返し、エピソードを複数選んでおく。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	45分
第12回	○保育者の言葉かけ（２） エピソード記述を発表し合い、子どもの言葉、保育者の言葉かけ、やり取りを視点に検討する。	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第13回	○言葉を育む遊び（１） ごっこ遊びから劇遊びへ（指導計画から遊びの実践）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第14回	○言葉を育む遊び（２） ごっこ遊びから劇遊びへ（脚本作成）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第15回	○言葉を育む遊び（３） ごっこ遊びから劇遊びへ（実践）	
	【予習】劇遊びの準備をする。	90分
	【復習】振り返りシートを作成する。	30分

授業科目名	子どもと音楽表現				科目コード	C133-60			
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容			担当教員名	難波 純子				
実務経験									
開講時期	1年後期			授業の方法	演習				
必修・選択	必修			単位数	1単位				
前提科目(知識)	音楽表現技術、保育内容総論			後継科目	保育内容（音楽表現）指導法				
関連科目	子どもと造形表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許状、保育士資格								
授業の概要	領域「表現」の指導に関する、子どもの表現活動を豊かに展開するために必要な知識や技術を習得することを目的とする。様々な表現活動を結びつける教材研究や、表現体験を取り入れることによって、子どもの遊びやイメージを豊かにし、感性を養うための環境構成と保育の展開について学ぶ。								
学習目標	子どもの「表現の芽ばえ」を発見し、表現を読み取りより豊かな表現の育ちを支えられるよう自らの創造性、感性、表現力を磨く。また、音楽表現を軸として、子どもの興味や関心に沿った教材や、環境構成と保育の展開方法を習得する。								
キーワード	子どもの表現 表現の芽生え								
テキスト・ 参考書等	文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 厚生労働省『保育所保育指針解説』フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育における領域「表現」のねらい及び内容について理解している。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現ができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】音楽表現活動や統合的な表現の意義について考え、感性や想像力を働かせたうえで、創造的な音楽表現活動を考えることができる。また、人前で表現力を発揮することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】音楽表現に関心をもち、演習や発表などに主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの演習などに積極的に参加し、他者とコミュニケーションを図ることができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50		50				100
LO-1			50						50
LO-2					20				20
LO-3					10				10
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考	右記のアクティブラーニングを3分の1以上の授業で実施します:グループワーク、フィールドワーク レポートはコメントして返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	15回分のシラバスを読み、この授業の内容について理解する。	
	【予習】15回分のシラバスを読み、この授業の内容について理解する。	30分
	【復習】シラバスを読み返して、授業の全体像をつかむ。	20分
第2回	「表現するとは何か」について理解する。 保育所保育指針1歳以上3歳未満児の領域「表現」のねらいと内容について理解を深める。	
	【予習】保育所保育指針、幼稚園教育要領の領域「表現」の部分に目を通しておく。	30分
	【復習】保育所保育指針、幼稚園教育要領を読み返しておく。	30分
第3回	音を感じよう！音リスト作成	
	【予習】生活の中で身近な音に耳を澄ませる。	20分
	【復習】生活の中で身近な音に耳を澄ませる。	20分
第4回	0,1,2歳児向けの手遊びについて知る。 さまざまな手遊びを体験し、自分一人でも人前で披露できるようにする。	
	【予習】0,1,2歳児向けの手遊びにはどのようなものがあるか、本やインターネットの動画などで調べておく。	30分
	【復習】0,1,2歳児向けの手遊びを人前でもできるように、友人や家族の前で披露する。	20分
第5回	保育実習 -1で見てきた子どもの姿について、領域「表現」のねらい、内容と照らし合わせてレポートを作成する。	
	【予習】実習で見てきた子どもの姿について、自身の実習記録を見返して、保育所保育指針と照らし合わせておく。	30分
	【復習】自分の実習記録を読み返して、子どもの姿について振り返る。	20分
第6回	「子どもを見る」 ―表現の芽ばえウォッチング― 3歳以上児 事例紹介 探求	
	【予習】実習先の子どもたちが、生活や遊びの中でどのような表現活動を行っていたか振り返る。	30分
	【復習】子どもの探求の意味について、振り返る。	20分
第7回	3歳以上児 事例紹介 模倣,即興歌	
	【予習】実習先の子どもたちが、生活や遊びの中でどのような表現活動を行っていたか振り返る。	30分
	【復習】子どもの模倣には、どのような意味があるのか振り返る。	60分
第8回	言葉と音楽表現（オノマトペ）	
	【予習】オノマトペを楽しめる子ども向けの絵本や楽曲を探しておく。	60分
	【復習】オノマトペを楽しめる絵本を声に出して読む。	20分
第9回	音・色・形を楽しめる絵本と表現	
	【予習】オノマトペを楽しめる子ども向けの絵本や楽曲を探しておく。	30分
	【復習】音・色・形を楽しめる絵本やオノマトペを用いた楽曲について振り返る。	20分
第10回	音の出るしくみ	
	【予習】ドラムサークルの楽しみ方について、ネットで調べておく。	30分
	【復習】	20分

第11回	ドラムサークルとは、新聞紙を使ってリズムあそびの実践	
	【予習】新聞紙を使って、どのような音を出せるか試してみる。	60分
	【復習】	30分
第12回	音で遊ぼう 音具を用いてドラムサークルを楽しむ。	
	【予習】自分たちが作った曲を再現できるようにしておく。	30分
	【復習】他の班や自分たちの発表を振り返る。	30分
第13回	保育の場における豊かな表現ができる環境とは	
	【予習】幼稚園教育要領 領域「表現」ねらいと内容を読み込んでおく。	30分
	【復習】幼稚園教育要領 領域「表現」ねらいと内容、内容の取扱いを理解し、読み返す。	30分
第14回	自分なりの表現とは 事例から学ぶ	
	【予習】これまでの授業を振り返り、レポート作成に取り組む。	30分
	【復習】	30分
第15回	総括「子どもの表現において保育者として大切にすべきこと」 後期試験レポート用紙（ワード）	
	【予習】「子どもの表現において保育者として大切にすべきこと」について、これまで学んだことをレポートとしてまとめる。	90分
	【復習】「子どもの表現において保育者として大切にすべきこと」について、振り返る。	30分

授業科目名	保育内容（音楽表現）指導法			科目コード	C133-61				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	難波 純子 大村 禎子					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	子どもと音楽表現、音楽表現技術		後継科目	なし					
関連科目	保育内容（造形表現）指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	乳幼児期に育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されたねらい及び内容について表現と関連させて理解を深め、幼児の発達に即し、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、具体的な保育の展開方法について学ぶ。								
学習目標	幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「表現」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。								
キーワード	子どもの表現								
テキスト・ 参考書等	文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 厚生労働省『保育所保育指針解説』フレーベル館								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育における領域「表現」のねらい及び内容について理解している。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現ができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】音楽表現活動や統合的な表現の意義について考え、感性や想像力を働かせたうえで、創造的な音楽表現活動を考えることができる。また、人前で表現力を発揮することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】音楽表現に関心をもち、演習や発表などに主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの演習などに積極的に参加し、他者とコミュニケーションを図ることができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50		50				100
LO-1			50						50
LO-2					10				10
LO-3					20				20
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考	「アクティブラーニングの実施：グループワーク等」 提出課題である指導案については、添削した上で返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	領域「表現」のねらい及び内容について、乳幼児の表現の姿と関連づけて理解する。	
	【予習】領域「表現」のねらい及び内容について、保育所保育指針を読んでおく。	30分
	【復習】領域「表現」のねらい及び内容について、保育所保育指針を読み返す。	30分
第2回	幼児の発達や学びの過程を理解し、表現活動において育みたい資質・能力について具体的に考える。	
	【予習】幼児の発達や学びの過程について、『幼稚園教育要領解説』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』を読んでおく。	60分
	【復習】幼児の発達や学びの過程について、『幼稚園教育要領解説』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』を読み返す。	60分
第3回	表現活動と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を具体的に関連づけることを通し、幼児の表現における評価の考え方を理解する。	
	【予習】『幼稚園教育要領解説』、『保育所保育指針』等の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の部分を読んでおく。	30分
	【復習】『幼稚園教育要領解説』、『保育所保育指針』等の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の部分を読み返す。	30分
第4回	事例や映像から幼児の心情・認識・思考及び動き等を考察し、幼児が経験し身に付けていく表現の内容と指導上の留意点を理解する。	
	【予習】これまで実習先で出会った子どもたちの姿を思い出すために、自分の実習記録を見返し振り返っておく。	60分
	【復習】今回紹介した、テキストp.40-43の3つの事例と動画から、幼児の心情・認識・思考・動きを考察する。	30分
第5回	インクルーシブ保育における表現活動の可能性について、具体的な事例を通して理解し、保育構想への活用を考える。	
	【予習】インクルーシブ保育の意味について調べておく。	60分
	【復習】インクルーシブをめざした音楽表現活動を、3・4・5歳児合同の縦割り保育で実施するとしたら、どのような楽器や曲を使って実践しますか。15分から20分程度の活動で保育を構想してみましょう。	30分
第6回	指導案作成の構造を理解し、音楽的なねらいについて具体的に考えるとともに、様々な教材研究を行う。	
	【予習】音楽表現に関する指導案の構想を練る。	60分
	【復習】指導案に関するテキストを読み返し、ねらいと内容の構造について復習しておく。 本日配付した指導案の提出締め切り 6月●日（●）17:00 難波研究室前のBOX	60分
第7回	3歳から5歳児の音楽表現の指導案を作成して模擬保育を行い、その振り返りを通して保育の改善について考える	
	【予習】3歳から5歳児の音楽表現の指導案を作成する。	60分
	【復習】実践した上で保育の改善点について、振り返る。	30分
第8回	3歳から5歳児の音楽表現の指導案を作成して模擬保育を行い、その振り返りを通して保育の改善について考える	
	【予習】子どもの豊かな感性を育み、表現を引き出す言葉掛けとはどんなものか、考えておく。	20分
	【復習】自分の実習記録を読み返し、適切な言葉掛けについて振り返る。	30分
第9回	感性的な出会いの豊かな音環境について、自ら身体の諸感覚を通じた体験を生かし、具体的な環境構成を考える。	
	【予習】自分の実習記録を読み返し、音環境の構成について考える。	20分
	【復習】感性的な出会いの豊かな音環境について。 どのような環境構成で保育を展開したらよいでしょうか？3,4,5歳児がいる縦割りクラスをイメージして考えてみよう。	30分
第10回	幼児期の表現活動と、小学校の様々な教科と学びの連続性について理解し、具体的な実践を考える。	
	【予習】小学校の音楽科では、どのようなことをねらいとして学んでいるのか。 webで調べておく。	30分
	【復習】幼児が想いや意図をもって表現することができるような指導上の留意点とは何か？ 自由記述欄に書き込む。	30分

第11回	リトミック1回目を体験し、保育実践をイメージした上で、保育者の援助について考える。	
	【予習】リトミックとは何かについて、理解しておく。	20分
	【復習】拍子やそれぞれの音符の長さなど、楽典についてテキストで復習しておく。	30分
第12回	保育実践研究の論文や国内外における音楽メソッドを参照し、音楽表現における保育実践の動向についての知見を深め、保育構想の向上に取り組む。	
	【予習】保育における音楽の世界三大メソッドについて、インターネットやテキストで調べておく。	60分
	【復習】音楽メソッドについてまとめておく。	60分
第13回	表現活動における情報機器及び、教材の活用法について事例を通して学び、実際に体験することを通して、保育構想に活用できるアイデアを考える。	
	【予習】保育におけるICTの活用について調べておく。	60分
	【復習】どのような情報機器を保育に取り入れればよいか考察を深める。	30分
第14回	リトミック2回目を体験し、保育実践をイメージした上で、保育者の援助について考える。	
	【予習】前回のリトミックの内容を思い出し、楽典の理解を深めておく。	60分
	【復習】リトミックを実践した上で、どのように保育に取り入れられるか考察する。	30分
第15回	ドキュメンテーションやポートフォリオ等の作成を通して保育を振り返り、幼児の心情や思考についての理解を深め保育構想の向上に取り組む。	
	【予習】保育構想力を高められるよう、自身の実習記録を見返しておく。	30分
	【復習】具体的な指導場面を想定した保育を構想する力が身についたか、振り返る	20分

授業科目名	子どもと造形表現				科目コード	C133-70			
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容			担当教員名	中山 里美				
実務経験									
開講時期	1年後期			授業の方法	演習				
必修・選択	必修			単位数	1単位				
前提科目(知識)	造形表現技術			後継科目	造形表現技術 保育内容（造形表現）指導法				
関連科目	音楽表現技術 音楽表現技術								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	造形作品の制作と鑑賞活動や五感を通した総合的な表現活動に取り組み、体験を通して各自が楽しみながら題材の特性や意義を学びます。乳幼児の造形表現指導において、発達過程や特性を踏まえ保育者が行う援助の方法や在り方について考えていきます。								
学習目標	乳幼児の表現の姿や発達過程を理解する。造形表現の基礎的な知識・技能や様々な表現活動との関連性を学ぶことを通し、乳幼児の表現を支えるための感性を豊かにする								
キーワード	感性 想像 創造 製作活動 グループワーク 連携授業								
テキスト・ 参考書等	「保育をひらく造形表現」榎 英子 著 萌文書林（継続使用） 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児の造形表現における発達過程や特徴を理解する。造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解する。造形表現及び統合的な表現活動に関する基礎的な用語や材料・用具、技法などに関する知識を身に着けている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的・統合的な造形表現に必要な技能を身に着け、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】造形表現活動や統合的な表現の意義、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形や統合的な表現活動や鑑賞に主体的に取り組み、作品を大切にするとともに、表現活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作等に意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20	50		30			100
LO-1			10						10
LO-2				20					20
LO-3				20					20
LO-4			10	10		15			35
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他の項目「A」は、授業（グループワーク等）に取り組む姿勢、態度。 提出作品は評価した後、一部の作品は参考作品として展示し、相互鑑賞を行う。レポートは評価後、サイン・メッセージを入れて返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 作品返却/席替え/自己紹介 スケッチブック紹介	
	【予習】実演 0,1,2歳児を対象として、スケッチブックシアターを使って自己紹介の練習をする。	40分
	【復習】	0分
第2回	幼児の造形表現：発達と特徴 造形活動の発達過程	
	【予習】	0分
	【復習】幼児が絵を描く姿の観察とその絵を鑑賞し、レポートを作成する。 ●レポート提出	50分
第3回	保育実習 - 1に向けて 教材制作 0,1,2歳児を対象とする手作り教材を制作する。	
	【予習】	0分
	【復習】実習に向けた実演練習をする。（スケッチブックシアター、手作り教材）	60分
第4回	素材と表現：自然素材を使って - 季節の変化と材料 秋の自然に親しむ ●作品提出	
	【予習】遊びや製作に使用する材料を屋外で収集する。	60分
	【復習】	0分
第5回	鑑賞 1 美術館見学（富山県美術館）	
	【予習】（企画展や美術館の役割と利用方法、作品鑑賞における心構え・マナーについて確認する	40分
	【復習】作品鑑賞についてのレポートを作成する。 ●レポート提出	90分
第6回	素材と表現：自然素材を使って - 季節の変化と材料 落ち葉、小枝、木の実など ●作品提出	
	【予習】製作に使用する追加材料を準備する。	15分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、表現活動を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第7回	版画 スタンピング/ステンシル - /ローラー遊び（スタンプ作りとステンシル技法）	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	30分
	【復習】 ●作品提出：展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分
第8回	版画 スチレン版画 版の製作	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	15分
	【復習】	0分
第9回	版画 スチレン版画・モノプリント 刷り ●作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】 ●作品提出：展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第10回	表現について考える ：見えないものを描く 聴覚・味覚・嗅覚・触覚・から感じたことを表現する。 ●作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】振り返りワークシートに取り組む。	30分

第11回	表現について考える　：音をさがす　グループ活動　さまざまな素材と関わりながら音を見つける　●ワークシート提出	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	表現について考える　音を楽しむ音具・オブジェの製作　「音を楽しむ音具の製作」　材料との出会いと音の発見	
	【予習】音具に使いたい、材料を準備する。	30分
	【復習】	0分
第13回	表現について考える　音を楽しむ音具・オブジェの製作　「音を楽しむ音具の製作」　音具完成 作品は「子どもと音楽表現」で演奏活動に使用する。	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。　材料の準備	30分
	【復習】	0分
第14回	樹脂粘土　製作工程と技法、　テーマの決定と成形	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。　材料の準備	15分
	【復習】	0分
第15回	樹脂粘土　グループ製作、作品鑑賞	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。　材料の準備	15分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。 後期の授業を振り返り、レポートにまとめる。●レポート提出	30分

授業科目名	保育内容（造形表現）指導法			科目コード	C133-71				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	中山 里美					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	造形表現技術 子どもと造形表現		後継科目	子どもと遊び 造形表現技術					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	グループによる模擬保育体験と製作活動を中心に行います。造形表現活動を通して、乳幼児が生き生きと参加できるねらいの設定、題材の工夫や展開方法、適切な援助や働きかけについて考えていきます。								
学習目標	領域「表現」のねらい及び内容について、造形表現活動を通して理解を深める。乳幼児の発達や学びの過程を踏まえ、具体的な指導場面を想定した指導と保育を構想する方法を身に付ける。								
キーワード	感性 想像 創造 模擬授業 連携授業 グループワーク								
テキスト・ 参考書等	「保育をひらく造形表現」榎 英子 著 萌文書林（継続使用） 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児における造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解し、造形の指導計画を立てることができる。造形表現に関する幅広い用語や材料・用具、技法などに関する知識を身に付けている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的な造形表現に必要な技能を身に付け、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】乳幼児における造形表現活動の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えて計画したり、実践したりすることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形表現活動・模擬保育や鑑賞に主体的に取り組み、作品を大切にするとともに、活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作などに意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20	50		30			100
LO-1			10	10					20
LO-2				20					20
LO-3			10	10					20
LO-4				10		15			25
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他Aは、授業（グループワーク等）に取り組む姿勢、態度。提出作品は評価した後、一部の作品は参考作品として展示し、相互鑑賞を行う。レポートは評価後、サイン・メッセージを入れて返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 造形表現指導における保育者の役割 ・身近な材料を使った造形作品や玩具の製作	
	【予習】	0分
	【復習】・製作した作品の材料、製作方法、留意点等をワークシートにまとめる。	30分
第2回	模擬保育に向けて ・身近な材料を使った造形作品や玩具の製作	
	【予習】	0分
	【復習】・製作した作品の材料、製作方法、留意点等をワークシートにまとめる。	30分
第3回	模擬保育に向けて ・身近な材料を使った造形作品や玩具の製作	
	【予習】	0分
	【復習】・製作した作品の材料、製作方法、留意点等をワークシートにまとめる。 ●ワークシート提出	60分
第4回	模擬保育に向けて 「造形遊び」 ・教科書P107～110の指導案を基にした活動体験	
	【予習】	0分
	【復習】・体験した活動と指導計画の関係を振り返り、ワークシートにまとめる。 ●ワークシート提出	60分
第5回	模擬保育に向けて 造形活動「作って遊ぶ」指導案の作成 ・ワークシートを参考にして指導案の書き方を学ぶ。	
	【予習】・「保育をひらく造形表現」P107～122を読み、活動の目的や題材の選定、指導計画や指導案の作成におけるポイントや留意事項を確認する。	30分
	【復習】	0分
第6回	模擬保育に向けて 造形活動「作って遊ぶ」指導案の作成 ・ワークシートを参考にして選択した活動の指導案を作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】・指導案を完成させる。 ●指導案提出	30分
第7回	教材研究：アニメーション（赤・青セロファンを使った製作）	
	【予習】	0分
	【復習】・製作工程や注意事項など、活動を振り返る。 ●レポート提出	30分
第8回	教材研究：積み木と造形（カブラを使った製作）	
	【予習】	0分
	【復習】・活動を振り返り、レポートにまとめる。 ●レポート提出	30分
第9回	教材研究：スライムと造形遊び（手作りスライムを使った活動）	
	【予習】	0分
	【復習】・活動を振り返り、レポートにまとめる。 ●レポート提出	30分
第10回	模擬保育 ・グループに分かれて模擬保育活動を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】・模擬保育実施後の考察や感想をまとめる。 ●指導案振り返り提出	40分

第11回	模擬保育 ・グループに分かれて模擬保育活動を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】・模擬保育実施後の考察や感想をまとめる。 ●指導案振り返り提出	40分
第12回	教材研究：紙染め ・和紙を使った様々な紙染めを体験する。	
	【予習】	0分
	【復習】・紙の折り方や加工の仕方、染料の扱い方など政策を振り返る。 ●作品提出	40分
第13回	教材研究：染紙を使った製作活動 ・染めた紙を使って、アルバムや七夕飾りを作る。	
	【予習】	0分
	【復習】・作ったアルバムに飾り付けを追加する。七夕飾りを鑑賞する。	60分
第14回	実習事後学習/教材研究：紙の造形 - メッセージカードの製作 ・保育実習 〃 の活動紹介とまとめ ・基本の仕掛けを使ったカード製作	
	【予習】・実習の振り返りシートを記入する。	40分
	【復習】・振り返りシートに感想を記入する。 ・仕掛けのアルカード見本を完成する。 ●作品提出	40分
第15回	教材研究：紙の造形 - メッセージカードの製作 ・オリジナルカードを作成する。	
	【予習】	0分
	【復習】・メッセージカードを相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。 ●作品提出 ・前期の取り組みを振り返る。	60分

授業科目名	子どもと遊び			科目コード	C133-80				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	中山 里美 石動 瑞代 難波 純子 塩見 一成 日光 恵利					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育内容総論		後継科目						
関連科目	子どもと健康 子どもと人間関係 子どもと環境 子どもと言葉 子どもと音楽表現 子どもと造形表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	園生活における行事が、子どもが自ら環境に働きかけ、人と交流しながら活動する“遊び”の延長線上にあることを理解する。また、子どもの系統的発達をふまえた遊びの選定・展開によって、行事を教育的価値の高い活動へと導く方法を身に付ける。								
学習目標	1) 遊びの連関性によって、行事が展開される過程を理解する。 2) 5領域の総合的展開によって、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を理解する。 3) 模擬保育を通して、5領域の総合的展開をはかる指導方法を身に付ける。								
キーワード	子どもの遊び 主体的・対話的で深い学び 系統的発達 継続的活動（プロジェクト） 協同性 グループワーク								
テキスト・ 参考書等	『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編(フレーベル館)、『幼稚園教育要領解説』 文部科学省(フレーベル館) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文部科学省・厚生労働省編（フレーベル館）その他適宜参考資料								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】子どもの遊びに見られる系統的発達を理解する。子どもの興味・関心から生まれる継続的な遊びが、行事として園生活に取り込まれていることを理解する。								
LO-2	【技能】模擬保育を通して、ねらい・内容に沿った遊びを総合的に指導する方法を身に付ける。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子どもの系統的な発達を支える活動や環境を選択し、モノや人との関わりを深めるための援助を展開する方法を指導計画にまとめることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子どもの経験から5領域にわたる総合的な育ちを捉え、対話的で深い学びへと向かうプロセスを見通すことが出来る。								
LO-5	【社会性・人間性】模擬保育に協同的に参加し、適切な評価を行うことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60		30	10			100
LO-1			20						20
LO-2					30				30
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5						10			10
備考	その他Aは、授業の参加態度（グループワーク等）とする。右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します： グループワーク グループごとに提出された「シナリオ」「コンテ」「大小道具・衣装」などの資料は、担当者がコメント・アドバイスを入れて返却する。課題レポートは評価して返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	遊びの継続性と行事における学び（5領域の総合的展開による生活体験での学び） ・子どもの発達と劇遊び（絵本やお話の世界で遊ぶことの意味）	
	【予習】	0分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。レポート課題に取り組む。	50分
第2回	子どもの発達と劇遊び（絵本の選択とお話の世界で遊びの話し合い） ・劇遊びの題材の選定と遊びの展開（遊びの展開図の作成）	
	【予習】取組みたい絵本を選択する。	50分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第3回	劇遊びと人間関係（ごっこ遊び、子どもが主体となる話し合い）	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第4回	劇遊びと言語表現（言葉のおもしろさ、やり取りする楽しさ）	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第5回	劇遊びと言語表現 ・劇遊びの脚本づくり	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第6回	劇遊びと音楽表現（歌を作る、リズム遊び）	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第7回	劇遊びと音楽表現 ・劇中の歌を作る、リズム遊びを作る	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第8回	劇遊びと造形表現 ・製作（子どもとともにつくる環境構成）	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第9回	劇遊びと造形表現 ・劇遊びと制作活動	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第10回	劇遊びと身体表現 ・動作と表現	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分

第11回	劇遊びと身体表現 ・演技と表現	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第12回	劇遊びの模擬保育 ・模擬保育の準備	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第13回	劇遊びの模擬保育 ・模擬保育のリハーサル	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポート（リハーサルの振り返り）を作成する。	50分
第14回	劇遊びの模擬保育 ・リハーサルの振り返りと改善	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成	50分
第15回	劇遊びの模擬保育（発表会）	
	【予習】	0分
	【復習】課題レポートの作成（振り返りシート、まとめ課題）	60分

授業科目名	乳児保育			科目コード	C135-10				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育		担当教員名	石動 瑞代 松居 紀久子					
実務経験	児童相談所職員として、育児相談及び乳幼児の発達支援に携わった7年間の勤務経験をもとに、乳児期の育ちや保育方法、家庭支援等に関する知識を教授する。また、7年間の付属みどり野幼稚園園長の経験を活かして解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	乳児保育					
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	乳児保育が社会と密接な関係にあることをふまえ、乳児保育の意義について学びます。また、乳児期の発達の特徴に応じた具体的保育方法や運営体制について考えます。基本的な乳児保育の技能の基礎となる知識・理論を身につけていきます。								
学習目標	乳児保育をめぐる社会状況を理解し、乳児保育の意義について理解する。 乳児期の発達の特徴を理解し、発達に応じた環境や保育方法について考えることができる。 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。								
キーワード	乳児 三歳児神話 生命の保持 情緒の安定 発育・発達を踏まえた保育 職員の連携								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『はじめて学ぶ 乳児保育』（同文書院） 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編（フレーベル館）、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳児期の発達の特徴について理解し、試験で正しく回答することができる。また、乳児の生活・遊びを支援するために必要な基礎的事項について説明できる。								
LO-2	【技能】乳児の生活や遊びを支える教材を、適切に選択・活用する方法を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 乳児保育をめぐる社会状況をふまえて、乳児保育の意義を自らの視点で考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 乳児をめぐる研究知見や乳児向け用具等の把握に努め、乳児の発達支援技術の向上に努める。								
LO-5	【人間性・社会性】 乳児の主体性を尊重した保育援助や関わりを考えることができる。他者と協働しながら、遊びや生活の生活支援の方法を検討できる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	10	30			10			100
LO-1	40	10							50
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4	10		10						20
LO-5						10			10
備考	その他 A は授業態度(講義やグループワーク等への参加態度、課題シートの内容)とする。 授業内ではグループワークやディスカッション、赤ちゃん人形を使った演習等を行う。 提出課題に対しては、口頭及び紙面によるコメントを行う。小テストは返却、定期試験は模範解答を示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	乳児とは何か オリエンテーション	
	【予習】教科書の目次と内容に目を通しておく。	30分
	【復習】講義内容をまとめる。次回に向けて、乳児に関する話題を検索し、複数チェックアップしておく	120分
第2回	乳児保育の社会的役割 子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題、乳児保育の意義について 乳児の子育て家庭の課題を検索し、考えられる課題を発表する。	
	【予習】前回の講義で提示されたテーマについて、自分の意見をまとめる。	100分
	【復習】次回の石動担当授業（第9回）までに、課題に対する現在の取り組み等、課題シートを完成させておく。	110分
第3回	3歳未満児の発達理解と保育 発育とケアの配慮点	
	【予習】講義ノート及び教科書の該当部分の内容を確認する。	60分
	【復習】3歳未満児の発育の特徴について、整理してまとめる。	120分
第4回	3歳未満児の発達理解と保育 運動機能の発達と保育環境	
	【予習】教科書の該当部分を読んでくる。	45分
	【復習】3歳未満児の運動発達について、整理してまとめる	135分
第5回	3歳未満児の生活と環境 排泄と食事	
	【予習】排泄及び食事に関する商品について調べてくる。	90分
	【復習】3歳未満児の生活を支える用具や環境についてまとめる。	90分
第6回	3歳未満児の生活と環境 睡眠、着脱衣、衛生など	
	【予習】3歳未満児の睡眠や衣類、衛生に関する商品について調べてくる。	90分
	【復習】3歳未満児の睡眠や衣類、衛生に関する商品についてまとめる。	90分
第7回	3歳未満児の生活と環境 赤ちゃん人形を使った演習	
	【予習】3歳未満児の発育や発達に合わせた支援について、資料等を再確認しておく。	60分
	【復習】授業内で実践したポイントをまとめる。課題シートを作成する。	120分
第8回	3歳未満児の生活と環境 安全な環境づくり、事故防止等	
	【予習】教科書の該当部分を読んでくる。	60分
	【復習】安全な環境づくりのポイントをまとめる。	120分
第9回	乳児保育の社会的意義（発表とまとめ） 3歳未満児の発達理解と保育 認知機能の発達と保育環境	
	【予習】第2回の講義で示された課題を完成させておく。 教科書の認知機能の発達に関する部分を読んでおく。	60分
	【復習】乳児保育の社会的意義についてレポート作成する。	120分
第10回	3歳未満児の遊びと環境 人とのかかわりを基本とする遊び	
	【予習】人とのかかわりの発達について、確認する。	60分
	【復習】人とのかかわりを基本とする遊びのメニューを増やす（課題シート記入）	120分

第11回	3歳未満児の遊びと環境 自然とのかわり、保育環境	
	【予習】自然との関わり、保育環境が3歳未満児の発達に与える影響について調べてくる。	60分
	【復習】3歳未満児の発達を促す保育環境、自然環境についてまとめる。	120分
第12回	3歳未満児の遊びと環境 ものとのかわりを基本とする遊び（保育教材の活用など）	
	【予習】歌遊びや絵本など、3歳未満児にふさわしいと思われる教材を調べてくる。	60分
	【復習】3歳未満児の遊びを促す保育教材についてまとめる。	120分
第13回	3歳未満児の発達に応じた援助や関わりのポイントを一覧表として作成する。	
	【予習】グループで作成する課題シートにおける個々の分担部分を整理し、まとめてくる。	90分
	【復習】グループで、発達と生活・保育の表を完成する。	90分
第14回	グループ発表 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮、3歳以上児への移行時期の配慮	
	【予習】これまでの学びをまとめる	90分
	【復習】子どもの発育・発達と生活や遊びとの関連を整理して理解する。 望ましい保育士の援助や配慮を再確認する。	90分
第15回	乳児保育の実際 学び確認プリント	
	【予習】資料に目を通しておく。必要な援助をまとめる。	60分
	【復習】これまでの学びをまとめる。定期試験の準備学習をする	150分

授業科目名	乳児保育			科目コード	C135-11				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育		担当教員名	石動 瑞代					
実務経験	児童相談所職員として、育児相談及び乳幼児の発達支援に携わった7年間の勤務経験をもとに、乳児期の育ちや保育方法、家庭支援等に関する知識を教授する。また、7年間の付属みどり野幼稚園長の経験を活かして解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	乳児保育		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	実習での体験等を中心に、乳児保育における援助の目的や方法、保育者のあり方について、グループワーク中心に考察し、理解を深めていきます。また、親子関係や幼児期以降の発達にも目を向け、乳児保育をテーマ別に深く学んでいきます。								
学習目標	乳児保育の実際を理解する。 実際の保育場面に即した、乳児保育の関わりや方法、配慮について、考察することができる。 発達理論や保護者支援など、多面的な視点で乳児保育を考える。								
キーワード	認知発達と遊びの関係 応答的保育 親子関係 保育実践のふりかえり								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『はじめて学ぶ 乳児保育』（同文書院） 『保育所保育指針解説』 厚生労働省編(フレーベル館) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文部科学								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 幼児期を見通した乳児の発達を理論的に理解し、筆記試験で正しく回答することができる。								
LO-2	【技能】 乳児保育の知識をふまえ、発達に合わせた教材を製作することができる。乳児への応答的保育の内容を理解し、場面による具体的な応答方法や態度を習得する。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 実習経験と乳児保育に関する知識を関連付けて考察し、適切な保育内容・方法について自ら考えることができる。実習場面における自己を省察し、文章化して評価することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 「乳児の発達」「親子関係」の視点で、乳児期の保育をとらえ、必要な支援や留意点を考察するとともに、その方法を検討することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 自らの実習経験を他者に的確に伝えと同時に、他者の経験に耳を傾け、自らの学びにつなげようとする。他者と協働し、互いに学び合った内容を、わかりやすく発表する。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20	55	15		10			100
LO-1		20	10						30
LO-2			10	15					25
LO-3			10						10
LO-4			10						10
LO-5			15			10			25
備考	その他Aは、授業（グループワークやプレゼンテーション等への参加態度や課題シートの提出状況による）。 アクティブラーニングの実施：グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッションの実施 提出課題に対しては口頭及び紙面によるコメントを行う。小テストは返却、小テストは模範解答を示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	乳児保育の教材活用について	
	【予習】前期の授業をふまえて製作した教材の、利用方法をまとめ、発表の準備をする。	15分
	【復習】自分が製作した教材及びその活用法を評価する。他の学生の教材を見て学んだことを文章にまとめる。	30分
第2回	乳児保育の記録 乳児の姿をとらえる、 保育者の意図をとらえる	
	【予習】乳児保育 で学んだ知識及び実習関連の科目で学んだ「記録の方法」に関する知識を、確認しておく。 これまでの実習記録で、保育者の意図を捉えた部分を確認しておく。	15分
	【復習】講義ノート（記録の視点）について、まとめる。	30分
第3回	乳児保育の記録 保育環境の構成 子どもの発達と保育者の援助	
	【予習】乳児の保育室の特徴についてまとめる。	20分
	【復習】他者の意見もふまえて、乳児の発達と物的・人的環境との関わりについて考える。	25分
第4回	乳児保育の記録 事例から発達や保育者の関わりのポイントを知る	
	【予習】課題プリントを完成する	20分
	【復習】教科書などで保育のポイントを確認しておく。	20分
第5回	乳児保育の実際 実習のふりかえり（グループワーク）	
	【予習】3歳未満児実習で学んだ内容を、テーマごとにまとめる。	20分
	【復習】グループで話し合いを基にした、発表資料をつくる。 本日の感想 一番気付きが多かった項目（例：生活の食事で・・・） 連いを感じたこと（例：やはり食事）	25分
第6回	乳児保育の実際 実習のふりかえり（発表資料の作成）	
	【予習】グループ発表の準備をする。	30分
	【復習】自分のグループの発表準備を通して、新たに得た気づきをまとめる。	15分
第7回	乳児保育の実際 実習のふりかえり（発表準備）	
	【予習】グループの発表資料完成及び発表内容の決定に向けて準備する。	15分
	【復習】実習で得た乳児保育についての学びをまとめる。	30分
第8回	乳児保育の実際 実習の振り返り（発表）	
	【予習】発表内容を自分の言葉でまとめておく。 課題シートの完成	15分
	【復習】他班の発表資料を確認し、学びを確認する。	30分
第9回	乳児保育の理念と実際 指針における応答性、保育者の応答性を確認する	
	【予習】これまでの発表資料や実習記録に目を通し、学びや疑問をまとめておく	20分
	【復習】応答性の性質と必要な条件について課題シートにまとめる	25分
第10回	乳児の発達と保育 発達理論と保育課題（ピアジェ）	
	【予習】参考資料及び発達心理学等の教科書で愛着について確認する。	40分
	【復習】授業内容をまとめておく	20分

第11回	乳児の発達と保育　発達理論と乳児保育 発達理論と保育課題（ウィゴツキー）	
	【予習】教科書（基礎理論）　乳幼児期の心身の発達　３　人間関係の発達　を読んでおく。	15分
	【復習】試験にむけて講義の内容をノートにまとめる。	20分
第12回	特別講義　緊急時の避難法	
	【予習】実習での災害訓練などの訓練についてまとめておく	20分
	【復習】授業で得た学びに関する課題シートを記載する	25分
第13回	乳児保育における子どもの発達・親の発達 「愛着」「気質」「障がい」をめぐって	
	【予習】配付プリントを読んでおく。	15分
	【復習】小テストに向けて基礎用語の理解を行う。 親子をつなぐ遊びの概要と、紹介のポイントをまとめる。	30分
第14回	乳児保育における子供の発達・親の発達 小テストの実施 子どもの特性をふまえた保護者支援、親子をつなぐ遊びの実践	
	【予習】乳児保育における保護者支援について、自分の考えをまとめる 小テストの準備	30分
	【復習】講義の内容をノートにまとめる。 小テストの内容を振り返り、理解が不十分な点を再度学習する。	20分
第15回	乳児保育における保育者のあり方、乳児保育で大切なこと（まとめ）	
	【予習】これまでのノートの内容を、確認する。 試験に向けて学びをまとめる。	20分
	【復習】期末課題を仕上げる。	60分

授業科目名	特別支援論			科目コード	C135-20				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育		担当教員名	明柴 聡史 金 仙玉					
実務経験	保育士、児童指導員として、社会福祉法人で13年間勤務。児童虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、児童家庭福祉の現状と課題、児童福祉施設の機能と役割を理解で								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	社会福祉、子ども家庭福祉		後継科目	特別支援論					
関連科目	社会的養護								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭2種免許								
授業の概要	特別支援教育を支える理念や制度、歴史的変遷を踏まえて、それぞれの障害の種類、原因、主な特性について理解し、特別の支援を必要とする子どもの理解と保育の在り方について考察する。インクルーシブ保育に必要な知識の習得を通して、保育者としての資質の向上を目指す。								
学習目標	1 特別支援教育を支える理念等について理解する。 2 障害に関する基礎知識を習得する。 3 特別の支援を必要とする子どもを含めた保育展開における環境設定の工夫や具体的配慮ができる実践力を身につける。								
キーワード	特別支援教育、特別な教育的ニーズ、インクルーシブ保育、特別支援学級、通級による指導、個別的教育支援計画、保護者支援、障害の受容、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、言語障害、情緒障害、発達障害、自閉症スペクトラム								
テキスト・ 参考書等	立花直樹・中村明美・松井剛太・井上和久編著 「障害児の保育・福祉と特別支援教育」 ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	乳幼児期における様々な障害に関する基礎知識と特別支援教育を支える理念や制度等について理解を深め、それを説明することができる。								
LO-2	保育者として情熱をもち、特別の支援を必要とする子どもが保育所・幼稚園で豊かな園生活ができるように、保育を構想し、展開する技術を習得している。								
LO-3	特別の支援を必要とする子どもの保育をめぐる様々な問題について積極的に発見に努め、的確な対応のできる視座を有している。								
LO-4	特別の支援を必要とする子どもの保育に関する自己の学習課題を明確にし、課題解明のために継続的に学習に取り組み、保育実践力の向上に努める。								
LO-5	保育者と特別の支援を必要とする子ども、保育者と保護者、保育者同士などの関係において、豊かな人間関係が築かれるコミュニケーション技術と態度を身につけ、深い愛情と豊かな感性をもって子どもに対応することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50			20	30		100
LO-1			10				5		15
LO-2			10			5	5		20
LO-3			10			5	10		25
LO-4			10			5	5		20
LO-5			10			5	5		20
備考	中間レポート20%、期末レポート30% その他のAは平常点(毎回の授業時の演習や小レポート及び受講態度等) Bは演習時の主体的参加や振り返りシートにより評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、方法、評価等について説明） 特別支援教育を支える理念、障害の概念、障害児保育の歴史の変遷について	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。 テキスト第1章を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、障害の概念と歴史の変遷について整理する	90分
第2回	インクルーシブ保育 インクルーシブ保育という概念が生まれた経緯、インクルーシブ保育とは何か	
	【予習】テキスト第1章を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、インクルーシブ保育について整理する	90分
第3回	身体面の支援の必要な子どもの理解と援助 身体面の支援が必要な子ども理解、保育場面における援助等	
	【予習】テキスト第2章を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、身体面の支援の必要な子どもの援助について整理する	90分
第4回	感覚面の支援の必要な子どもの理解と援助 感覚について、感覚面の支援が必要な子どもの理解、保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン4を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、感覚面の支援の必要な子どもに対する援助について整理する	90分
第5回	知的な面の支援の必要な子どもの理解と援助 知的障害のとらえ方、子どもの理解を助ける保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン5を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、知的な面の支援の必要な子どもの援助について整理する	90分
第6回	愛着・コミュニケーション面の支援の必要な子どもの理解と援助 愛着やコミュニケーションに課題のある子どもの理解と保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン6を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、愛着形成や言語・コミュニケーションについて整理する	90分
第7回	視覚面、聴覚面の支援の必要な子どもの理解と援助 視覚面、聴覚面の支援が必要な子どもの理解、保育現場における援助、専門機関との連携	
	【予習】視覚障害、聴覚障害について文献等を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、視覚障害、聴覚障害について学んだことを整理する	90分
第8回	行動面・学習面の支援の必要な子どもの理解と援助 ADHD、LDのある子どもの理解、疑似体験、保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン7を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、疑似体験を通して学んだことを整理する	90分
第9回	情緒面の支援の必要な子どもの理解と援助 情緒面の支援が必要な子どもの理解、場面緘黙、保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン8を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、情緒面の支援の必要な子どもの援助について整理する	90分
第10回	個別の指導計画の作成、保育計画の実践と評価 個別の指導計画とは何か、作成手順、保育計画の実践、評価	
	【予習】テキスト第3章を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、個別の指導計画の作成手順であるPDCAサイクルについて整理する	90分

第11回	特別の支援を必要とする子どもの内面の育ち 子どもの行動観察や保護者からの情報等によるアセスメント、目標設定、援助の実際	
	【予習】前回までの授業内容を確認する	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第12回	子どもの発達を促す生活や遊びの環境 子どもが分かりやすく居心地のよい環境設定、保育の場、発達支援の技法等	
	【予習】テキスト第3章 を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、子どもにとって分かりやすく居心地がよい環境について整理する	90分
第13回	保護者や家族に対する理解と支援 特別の支援を必要とする子どもの保護者支援、障害受容、特別の支援を必要とする子どもを取り巻く家族の理解と支援	
	【予習】テキスト第4章を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、保護者の障害受容に関する文献を読む	90分
第14回	地域の専門機関等との連携と小学校等との連携 地域の関係機関との連携、連携の実際、小学校との連携、引継ぎ書の作成	
	【予習】テキスト第4章を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、専門機関等や小学校等との連携について整理する	90分
第15回	特別の支援を必要とする子どもをめぐる法整備、わが国のインクルーシブ保育の課題と展望 授業のまとめ	
	【予習】テキスト第4章を読む これまでの学習内容を確認し、まとめる。	90分
	【復習】授業内容を確認し、インクルーシブ保育の課題と展望について整理する 自らの学習達成度を評価し、理解の不十分なところは再度学習する。	90分

授業科目名	特別支援論			科目コード	C135-21				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育		担当教員名	嶋野 珠生 北川 忠					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	特別支援論		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭2種免許								
授業の概要	インクルーシブ保育とはどのような保育か、その意義を理解し、そのための方法を多くの事例を通して理解する。また、特に富山県の支援現場での実践に基づいた理解を深める。障害についてや実際に行われている支援・課題について主体的、積極的にグループや個人で調べ、まとめ、発表する。								
学習目標	１．インクルーシブ保育を支える理念、歴史的変遷を知り、その重要性を理解する。２．障害の種別や障害に応じた保育展開の理解を深め、具体的援助方法や環境設定について詳しく知る。３．子どもの将来を見据えた保育の記録や計画立案について理解する。４．地域における関係機関との連携など、援助を必要とする子どもの保育に関する実践的内容や保護者支援の在り方を理解する。５．インクルーシブ保育の対象となる障害児以外の子どもや家庭への支援の方法についても理解する								
キーワード	特別支援教育、特別な教育的ニーズ、障害児保育、インクルーシブ教育・保育、発達障害、自閉症スペクトラム、学習障害、注意欠陥多動性障害、障害理解と理解に基づく支援								
テキスト・ 参考書等	教科書 尾崎康子他「よくわかるインクルーシブ保育」ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	インクルーシブ保育に関する基礎知識とインクルーシブ保育を支える理念や制度等について理解を深め、それを説明することができる。								
LO-2	保育者として情熱をもち、障害等支援を必要とする子どもが保育園・幼稚園で豊かな園生活ができるように、保育を構想し、展開する技術を習得している。								
LO-3	学修した知識や技術を、支援を必要とする子どもの保育をめぐる様々な問題について応用して考え、自分なりの対応を試みることができる。								
LO-4	支援を必要とする子どもの保育に関する自己の学習課題を明確にし、課題解明のために継続的に学習に取り組み、保育実践力の向上に努める。								
LO-5	保育者と子ども、保育者と保護者、保育者同士などの関係において、豊かな人間関係が築かれるコミュニケーション技術と態度を身につけ、深い愛情と豊かな感性をもって子どもに対応することができるために、仲間と積極的に共同的な学びがで								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30		40			30			100
LO-1	10		5						15
LO-2	10		10						20
LO-3	10		15			10			35
LO-4			10			10			20
LO-5						10			10
備考	Aは毎回の授業の振り返りの内容、主体的な活動への参加、グループワーク、ディスカッションへの積極的態度、発表スキルなど総合的に評価。レポートはコメントして返却する。答案は採点して返却、模範解答を提示する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション インクルーシブ保育とは1	
	【予習】教科書 p p 4 - 7、40を読んでおく。	30分
	【復習】授業スライドの見直し、教科書 pp4-7と40を読み復習する。	40分
第2回	インクルーシブ保育とは2	
	【予習】教科書 4-7を読む。	30分
	【復習】授業スライドの見直し、教科書 4-7を読み復習する。	40分
第3回	インクルーシブ保育の対象理解 1 特別な支援ニーズのある子ども—外国籍、性的マイノリティ、貧困	
	【予習】教科書 14-17を読む。	30分
	【復習】授業スライド、教科書の見直しをして復習。	50分
第4回	インクルーシブ保育の対象理解 2 特別な支援ニーズを持つ子ども—発達障害	
	【予習】教科書 p 8-13を読んでおく。	30分
	【復習】授業スライド、教科書の見直しをして復習。	50分
第5回	インクルーシブ保育実践上の保育者の専門性	
	【予習】教科書 p p 26 - 27を読んでおく。	30分
	【復習】授業スライド、教科書の見直しをして復習。	40分
第6回	インクルーシブ保育の園内保育体制	
	【予習】教科書 p p 20 - 21を読んでおく。	30分
	【復習】授業スライド、教科書 20-21を読み直して復習。	40分
第7回	富山県内の発達障害児者への支援の現状（北川）	
	【予習】富山県発達障害者支援センター「ほっぷ」のHPを前もって見ておく。 https://www.toyama-reha-hop.jp/	30分
	【復習】授業スライドを読み返し復習する。	40分
第8回	日本におけるインクルーシブ保育の展開 倫理的考え方、合理的配慮	
	【予習】教科書 40 , 32 - 37読んでおく。	30分
	【復習】授業スライド、教科書の見直しをして復習。	40分
第9回	療育現場での実践（北川）	
	【予習】発達支援センターHPにある支援冊子「ひとりじゃないよ」乳幼児版を読んでおく。 https://www.toyama-reha-hop.jp/img/file300.pdf	60分
	【復習】授業のスライドを見直して復習。	60分
第10回	インクルーシブ保育を実現する保育の工夫 1 個別の保育計画に基づく問題行動の低減の取組	
	【予習】教科書 118 - 121を読んでおく。	30分
	【復習】授業スライド、教科書の見直しをして復習。	50分

第11回	「ひとりじゃないよ」に込められた思い（北川）	
	【予習】『ひとりじゃないよ』学齢期版を読む。https://www.toyama-reha-hop.jp/img/file302.pdf	30分
	【復習】授業スライドを読み返し復習する。	40分
第12回	ペアレントトレーニングを学んでみましょう（北川）	
	【予習】「ひとりじゃないよ」成人期版を読んでおく。https://www.toyama-reha-hop.jp/img/file304.pdf	30分
	【復習】授業スライド、資料を見直す。	50分
第13回	「支援者（保育士）を目指すあなたへのメッセージ」（北川）	
	【予習】北川担当のこれまでのスライドの見直し。	30分
	【復習】授業スライド、資料を見直す。	50分
第14回	インクルーシブ保育の実践　実習での観察事例をグループでディスカッション	
	【予習】これまでの授業スライドの見直し。実習日誌を読み直し、当日持参。	30分
	【復習】授業スライド、プリントを読み直す。	50分
第15回	インクルーシブ保育の実践　事例の読み込みから考える（グループ討議）	
	【予習】教科書111 - 113を読んでおく。	30分
	【復習】授業スライド、資料を見直す。	50分

授業科目名	社会的養護			科目コード	C135-30				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育		担当教員名	明柴 聡史					
実務経験	保育士、児童指導員として、社会福祉法人で13年間勤務。児童虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、学生が社会的養護の実践について理解できるように指導を行う。								
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	社会的養護		後継科目						
関連科目	特別支援論 ・ ・ ・ 、子ども家庭支援論								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	子どもの権利擁護について理解を深め、社会的養護児童への理解と支援について考え、児童の心身の成長・発達を保障するための援助技能・知識を習得させ、児童観や倫理観を養う。								
学習目標	保育士として社会的養護の下で暮らす子ども、対象となる子どもの成長に向けての援助方法を理解する。								
キーワード	「子どもの権利擁護」「社会的養護の理念」「福祉施設の生活」「里親・里子」「心身の成長・発達保障」								
テキスト・ 参考書等	橋本好市・原田旬哉編著「保育と社会的養護実践」みらい 保育福祉小六法 みらい								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	社会的養護の理念を理解し、施設等で生活する子どもに対する支援について学ぶ								
LO-2	成長に向けた援助内容、方法、子どもの最善の利益を理解する								
LO-3	施設における児童観・児童福祉施設観を養う								
LO-4	子どもの心身の成長・発達を理解する								
LO-5	社会人としてのリーダー性、協調性、自主性などを考える								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80			20			100
LO-1			40			20			60
LO-2			25						25
LO-3			5						5
LO-4			5						5
LO-5			5						5
備考	Aは通常授業の中で評価(演習科目につき積極的な発言や姿勢を評価) 期末レポート50%、毎回のレポート30% 実習後の振り返りを兼ねて、事例検討を行い、最善の利益の視点で、ディスカッションを行い視野を広げる。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 ○本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する ○実習事例提出	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する	45分
	【復習】授業の全体像について確認する	45分
第2回	「実習事例検討」 実習事例（障害者支援施設等）のグループ討議	
	【予習】事例検討の流れについて確認しておく	45分
	【復習】事例検討を振り返り、まとめる	45分
第3回	子どもの権利を表現し、伝える	
	【予習】児童の権利に関する条約を咀嚼する	45分
	【復習】児童の権利を擁護する必要性について振り返る	45分
第4回	子どもの権利擁護について考える	
	【予習】小六法の中から権利に関する法律を探してみる	45分
	【復習】子どもの最善の利益について考える	45分
第5回	子どもの権利を表現し、伝える	
	【予習】児童の権利に関する条約を咀嚼する	45分
	【復習】児童の権利を擁護する必要性について振り返る	45分
第6回	倫理綱領と苦情解決について考える	
	【予習】任意の3団体の倫理綱領を調べる	45分
	【復習】類似点について考え、苦情解決の仕組みの課題について考える	45分
第7回	児童虐待について考える	
	【予習】テキスト「心の傷を癒し、心を育むための援助」「虐待された子どもへの支援」「虐待への対応」を考える	45分
	【復習】虐待を受けてきた子どもへの支援について考える	45分
第8回	入所児童の心情について考える「日本の見捨てられた子どもたち」	
	【予習】テキスト「日常生活支援と諸施設の暮らし」「児童養護施設の暮らし」「乳児院と母子生活支援施設の暮らし」「里親家庭での暮らし」	45分
	【復習】入所児童の心情について振り返る	45分
第9回	里親制度について考える「夢が持てない」	
	【予習】テキスト「里親制度とは・里親養育の特徴」	45分
	【復習】里親の悩みについて考える	45分
第10回	フォーマル・インフォーマルな子育て支援について考える「こうのとりのゆりかご」	
	【予習】海外の赤ちゃんボスの現状を調べる	45分
	【復習】出生前診断の課題を保育士としての視点で考える	45分

第11回	フォーマル・インフォーマルな子育て支援について考える	
	【予習】海外の赤ちゃんボスの現状を調べる	45分
	【復習】出生前診断の課題を保育士としての視点で考える	45分
第12回	児童相談所について考える	
	【予習】児童相談所の現状、専門性は何か調べてくる	45分
	【復習】児童相談所の課題について考える	45分
第13回	障害のある子どもと大人への支援について考える	
	【予習】バリアフリーとユニバーサルデザインについて調べてくる	45分
	【復習】身近な生活の中で、バリアフリーを考える。	45分
第14回	障がいのある施設での支援について考える	
	【予習】被措置児童等虐待、障害者虐待について考える	45分
	【復習】これまでの人生と障害のある人とのかわり考える	45分
第15回	障がいのある施設での支援について考える	
	【予習】被措置児童等虐待、障害者虐待について考える	45分
	【復習】権利擁護を理解した保育士の在り方を理解する	45分

授業科目名	子育て支援			科目コード	C135-40				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育		担当教員名	明柴 聡史					
実務経験	特定非営利活動法人の代表理事として、地域の子育て支援、こども食堂、保護者の相談支援に携わる。この実務経験を生かし、今日的課題である子育て支援についての知識や技術について解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	子ども家庭支援論		後継科目						
関連科目	子どもの理解と援助 教育相談								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育所等児童福祉施設において保育士の専門性を生かした保護者支援を行う上で必要な保育相談支援の「意義」「基本」「内容」「方法と技術」「実際」について理解し、保護者に対する保育指導の力の基礎を養う。								
学習目標	保育相談支援の意義と原則について理解する。 保護者支援の基本を理解する。 保育相談支援の実際について学び、内容や方法を理解する。								
キーワード	子どもの最善の利益、保育ソーシャルワーク、多職種との連携・協働、子育て支援、計画と記録と評価								
テキスト・ 参考書等	テキスト：小原敏郎・三浦主博著「保育実践に求められる子育て支援」ミネルヴァ書房 参考書：厚生労働省編『保育所保育指針解説書』（フレーベル館）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育相談支援の意義、基本、方法と技術、実際等、保育相談支援の基礎知識を理解している。								
LO-2	【技能】 生活課題や社会資源の把握、相談援助の過程など、保育相談支援に必要なソーシャルワークの基本を身につける。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 ワークや事例検討を通して、保育相談支援の知識や技術について学びを深める。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保護者に対する保育指導を行う保育士になるための自己課題を把握し、保育指導実践力の向上に努める。								
LO-5	【社会性・人間性】 ワーク等に積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。相談援助者に必要な心構えや態度、価値を身につける。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80			20			100
LO-1			50						50
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4			10			10			20
LO-5						10			10
備考	その他A20％は、授業参加態度及びワーク等の際に提出する「ふりかえりシート」等の評価。 期末レポートが50％、毎回のレポート等提出物30％ グループワークにより、子育て支援のニーズを把握する。実際に子育て支援活動を実習し、ドキュメンテーションを作成し、グループごとにプレゼンテーションを作成し発表する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 ○本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する	15分
	【復習】授業の全体像について確認する	30分
第2回	保育実践における子育て支援	
	【予習】子育て支援の現状について調べる	15分
	【復習】地域の子育て支援について調べてみる	30分
第3回	保育者の専門性と倫理	
	【予習】保育者の専門性とは何か考えておく	15分
	【復習】保育者に求められる倫理についてまとめてみる	30分
第4回	保育者の支援ニーズへの気づきと多面的な理解 ○生活課題の把握 ○ワーク 子どもの様子から生活課題を考える	
	【予習】生活課題の把握について、テキスト、参考文献等で確認する	30分
	【復習】生活課題の把握について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第5回	子ども・保護者が多様な他者と関わる機会・場の提供 ○社会資源の理解と活用 ○ワーク 社会資源を導き出そう	
	【予習】社会資源の把握について、テキスト第9章、参考文献等で確認する	30分
	【復習】社会資源の把握について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第6回	子ども・保護者の状況・状態の把握と養育力の向上 ○苦情への対応	
	【予習】保育相談支援の実際について、テキストや参考文献等で確認する	15分
	【復習】保育相談支援の実際について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第7回	子育て支援の計画と環境の構成 ○保育所の家庭支援	
	【予習】保育相談支援の実際について、テキストや参考文献等で確認する	15分
	【復習】保育相談支援の実際について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第8回	支援の実践・記録・評価 ○面接技術の基本	
	【予習】保育相談支援の実際について、テキストや参考文献等で確認する	15分
	【復習】保育相談支援の実際について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第9回	職員間・関係機関との連携・協働 ○インテークとアセスメント ○ワーク 保育事例からインテークとアセスメントを学ぶ	
	【予習】インテークとアセスメントについて、テキスト第10章、参考文献等で確認する	30分
	【復習】インテークとアセスメントについて、授業内容を確認し、理解を深める	30分
第10回	地域の保護者への支援 ○援助計画の意義と視点 ○ワーク 保育事例から援助計画を作成する	
	【予習】援助計画について、テキスト第11章、参考文献等で確認する	30分
	【復習】援助計画の意義と視点について、授業内容を確認し、理解を深める	30分

第11回	「保育相談支援の進め方」(3)：実施、評価 ○援助の実施と評価 ○ワーク さまざまな立場からのふりかえり	
	【予習】相談援助の実施と評価について、テキスト第12章、参考文献等で確認する	30分
	【復習】相談援助の実施と評価について、授業内容を確認し、理解を深める	30分
第12回	「保育所の日常場面における保育相談支援」 ○日常の保育におけるショート事例の検討	
	【予習】テキストの事例を読んでおく	30分
	【復習】保育所の日常場面における相談支援について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第13回	「保育所における特別な対応を要する家庭への支援」 ○児童虐待への対応事例	
	【予習】テキスト（児童虐待への対応事例）の事例を読んでおく	30分
	【復習】保育所における特別な対応を要する家庭への支援について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第14回	「児童養護施設等要保護児童の家庭に対する支援」 ○児童養護施設の事例	
	【予習】テキスト第16章（児童養護施設の事例）の事例を読んでおく	30分
	【復習】児童養護施設等要保護児童の家庭に対する支援について、授業内容を確認し、理解を深める	15分
第15回	「障がい児施設等における保育相談支援」 ○障がい受容の事例	
	【予習】テキスト（障がい受容の事例）を読んでおく	30分
	【復習】障がい児施設等における保育相談支援について、授業内容を確認し、理解を深める	15分

授業科目名	音楽表現技術（Aグループ）			科目コード	C141-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現		担当教員名	難波 純子 大村 禎子 玉井 恵子 櫻井 桂子					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	楽典（音楽の決まりごと）		後継科目	音楽表現技術、音楽表現特講					
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容（音楽表現）指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	歌唱や読譜（楽譜を読む）などの保育に必要な音楽表現の実技演習を中心として、音楽の楽しさにふれながら創造性を養い、保育者としての表現力を高める。子どもの表現を豊かに展開するために必要な音楽の基礎知識と基礎技術を培う。								
学習目標	毎週、ソルフェージュのテキストに沿って歌の課題に取り組み、音程やリズムなどを判断し、読譜力や歌唱力を高めることを目標とする。								
キーワード	ソルフェージュ 歌唱 読譜 器楽（ピアノ）								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『こどものための音感ソルフェージュ』内藤雅子著 デプロMP 『新・幼児の音楽教育』井口太 編 朝日出版社								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や楽器演奏をするために必要不可欠な楽典（音楽の決まり）を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】音楽に関心をもち、歌唱の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「ソルフェージュ」と「器楽（ピアノ等）」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢（20％）、ソルフェージュ（40％）、器楽・幼児の歌（40％）とし、総合的に評価します。 アクティブラーニングの実施：グループワーク等								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	おはながわらった オリエンテーション（授業内容、目的、方法についての説明） アンケート調査を実施し、ピアノ等の未経験者と既経験者の習熟度別に、グループ分けをする。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容（練習曲）を把握する。 L：ぶんぶんぶん	10分
	【復習】ぶんぶんぶん楽譜 授業の進め方や、自分のグループなど、全体像を確認する。	10分
第2回	スマホ、PC両方からアクセスOK YouTube おうちでピアノレッスン ↓ ↓	
	【予習】ちょうちょう楽譜 L：ちょうちょう	30分
	【復習】L：ぶんぶんぶん	20分
第3回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 ちょうちょう1 ちょうちょう2	
	【予習】L：メリーさんの羊	30分
	【復習】L：ちょうちょう	20分
第4回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 メリーさんの羊1 メリーさんの羊2	
	【予習】L：きらきらぼし	30分
	【復習】L：メリーさんの羊	20分
第5回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 きらきらぼし1 きらきらぼし・3拍子	
	【予習】L：これまでに演習したことを確認する	30分
	【復習】L：きらきらぼし	20分
第6回	L：これまでに演習したことを確認する	
	【予習】 L：ちゅうりっぷ	30分
	【復習】 L：これまでに演習したことを確認する	20分
第7回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 ちゅうりっぷ（プリントの楽譜）	
	【予習】 L：ぞうさん	30分
	【復習】 L：ちゅうりっぷ	20分
第8回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 ぞうさん（テキスト）	
	【予習】 L：これまでに演習したことを確認する	30分
	【復習】 L：ぞうさん	20分
第9回	L：これまでに演習したことを確認する	
	【予習】L：おつかいありさん（プリント）	30分
	【復習】L：これまでに演習したことを確認する	20分
第10回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 おつかいありさん（プリント）	
	【予習】L：おはながわらった（プリント）	30分
	【復習】L：おつかいありさん（プリント）	20分

第11回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 おはながわらった（プリント）	
	【予習】L：これまでに演習したことを確認する	30分
	【復習】L：おはながわらった（プリント）	20分
第12回	L：これまでに演習したことを確認する	
	【予習】L：おもいででのアルバム（プリント）	30分
	【復習】L：これまでに演習したことを確認する	20分
第13回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 おもいででのアルバム（プリント）	
	【予習】L：これまでに演習したことを確認する	20分
	【復習】L：おもいででのアルバム	20分
第14回	L：これまでに演習したことを確認する	
	【予習】L：実技発表に向け、課題曲を練習する。	20分
	【復習】L：これまでに演習したことを確認する	20分
第15回	まとめ L：実技発表	
	【予習】これまでの演習内容を確認し、楽典（音楽の決まりごと）について再度学習し、今後の器楽演奏にもつなげていくため、理解を深めておく。	15分
	【復習】自らの理解度・達成度を評価し、不十分なところは再度学習し理解を深めておく。	10分

授業科目名	音楽表現技術（Bグループ）			科目コード	C141-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現		担当教員名	難波 純子 大村 禎子 玉井 恵子 櫻井 桂子					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	楽典（音楽の決まりごと）		後継科目	音楽表現技術、音楽表現特講					
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容（音楽表現）指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	歌唱や読譜（楽譜を読む）などの保育に必要な音楽表現の実技演習を中心として、音楽の楽しさにふれながら創造性を養い、保育者としての表現力を高める。子どもの表現を豊かに展開するために必要な音楽の基礎知識と基礎技術を培う。								
学習目標	毎週、ソルフェージュのテキストに沿って歌の課題に取り組み、音程やリズムなどを判断し、読譜力や歌唱力を高めることを目標とする。								
キーワード	ソルフェージュ 歌唱 読譜 器楽（ピアノ）								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『こどものための音感ソルフェージュ』内藤雅子著 デプロMP 『新・幼児の音楽教育』井口太 編 朝日出版社								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や楽器演奏をするために必要不可欠な楽典（音楽の決まり）を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】音楽に関心をもち、歌唱の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「ソルフェージュ」と「器楽（ピアノ等）」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢（20％）、ソルフェージュ（40％）、器楽・幼児の歌（40％）とし、総合的に評価します。 アクティブラーニングの実施：グループワーク等								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業内容、目的、方法についての説明） アンケート調査を実施し、ピアノ等の未経験者と既経験者の習熟度別に、グループ分けをする。	
	【予習】おはながわらった楽譜	10分
	おはながわらった	10分
第2回	おはながわらった楽譜	
	YouTube おうちでピアノレッスン動画 【予習】こいのぼり楽譜	30分
	L：こいのぼり テキストp.152	
第3回	おはながわらった 楽譜	20分
	YouTube おうちでピアノレッスン動画 こいのぼり	
	【予習】小鳥のうた楽譜	30分
第4回	L：小鳥のうた テキストp.152	
	【復習】L：こいのぼり テキストp.152	20分
	YouTube おうちでピアノレッスン動画 小鳥のうた	
第5回	【予習】パスワード:Piano4	30分
	L：ぞうさん テキストp.161	
	【復習】L：小鳥のうた テキストp.152	20分
第6回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 ぞうさん（テキスト）	
	【予習】L：にじのむこうに テキストp.176	30分
	【復習】L：ぞうさん テキストp.161	20分
第7回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 にじのむこうに	
	【予習】 L：しゃぼんだま テキストp.158	30分
	【復習】 L：にじのむこうに テキストp.176	20分
第8回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 しゃぼんだま	
	【予習】 L：うみ テキストp.135	30分
	【復習】 L：しゃぼんだま テキストp.158	20分
第9回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 うみ	
	【予習】 L：とんでったバナナ テキストp.170	30分
	【復習】 L：うみ テキストp.135	20分
第10回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 とんでったバナナ	
	【予習】 L：サッチャン テキストp.155	30分
	【復習】 L：とんでったバナナ テキストp.170	20分
第11回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 サッチャン	
	【予習】 L：たなばたさま テキストp.165	30分
	【復習】 L：サッチャン テキストp.155	20分

第11回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 たなばたさま	
	【予習】 L：かわいいいかくれんぼ テキストp.149	30分
	【復習】 L：たなばたさま テキストp.165	20分
第12回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 かわいいいかくれんぼ	
	【予習】 L：山の音楽家 テキストp.187	30分
	【復習】 L：かわいいいかくれんぼ テキストp.149	20分
第13回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 山の音楽家	
	【予習】L：おつかいありさん テキストp.141	20分
	【復習】L：山の音楽家 テキストp.187	20分
第14回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 おつかいありさん	
	【予習】L：犬のおまわりさん テキストp.132	20分
	【復習】L：おつかいありさん テキストp.141	20分
第15回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 犬のおまわりさん	
	【予習】これまでの演習内容を確認し、楽典（音楽の決まりごと）について再度学習し、今後の器楽演奏にもつなげていくため、理解を深めておく。	15分
	【復習】S：自らの理解度・達成度を評価し、不十分なところは再度学習し理解を深めておく。 L：犬のおまわりさん テキストp.132	10分

授業科目名	音楽表現技術（Aグループ）			科目コード	C141-11				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現		担当教員名	難波 純子 大村 禎子 玉井 恵子 櫻井 桂子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	楽典（音楽の決まりごと）、音楽表現技術		後継科目	音楽表現特講					
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容（音楽表現）指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	「歌あそび」と器楽（ピアノ等）・幼児の歌を1時間ずつ演習します。器楽・幼児の歌においては2つのグループ（A・B）で、それぞれの経験に合わせた学習を行います。さらに保育に必要な音楽基礎技能を、音楽の楽しさにふれながら高めます。器楽・幼児の歌(1時間)は前期同様の形態で行い、さらに内容を深めます。								
学習目標	毎週幼児の歌の課題を練習し、歌唱やピアノなどの音楽表現能力を高めます。また幅広い音楽体験により、多様な表現力を養うことを目標とします。								
キーワード	歌あそび 器楽（ピアノ） 幼児の歌								
テキスト・ 参考書等	テキスト 井口 太 編「新・幼児の音楽教育」朝日出版社（2014） テキスト 小林 美実 編「音楽リズム」東京書籍（1984）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や器楽（ピアノ）演奏をするために必要不可欠な楽典（音楽の決まり）を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱や器楽（ピアノ）演奏につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】幼児の歌に関心をもち、歌唱や器楽（ピアノ）の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱や演奏、歌あそびの発表などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、前期同様、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「歌あそび・手あそび」と「器楽（ピアノ等）」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢 表のAに該当します（20%）、歌あそび（40%）、器楽・幼児の歌（40%）とし、総合的に評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1 年前期の音楽表現技術 での学習をふまえ、後期の授業の目的や内容を説明します。	
	【予習】【歌あそび】●とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】●先生とおともだち テキスト p.68	30分
	【復習】シラバスを読み、授業内容(課題曲)をテキスト(楽譜)と照らし合わせて把握する。	60分
第2回	【歌あそび】●とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】●先生とおともだち テキスト p.68 ●こおろぎ テキスト p.153 p.111	
	【予習】【歌あそび】●こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】●もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53	20分
	【復習】【歌あそび】●とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】●先生とおともだち テキスト p.68、●こおろぎ テキスト p.153 p.111	20分
第3回	【歌あそび】●こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】●もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 ●まつぼっくり テキスト p.182 p.114	
	【予習】【歌あそび】●おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】●山のワルツ テキスト p.188 ●夕やけこやけ テキスト p.191	20分
	【復習】【歌あそび】●こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】●もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 ●まつぼっくり テキスト p.182 p.114	20分
第4回	【歌あそび】●おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】●山のワルツ テキスト p.188 ●夕やけこやけ テキスト p.191	
	【予習】【歌あそび】●いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】●	20分
	【復習】【歌あそび】● 【器楽・幼児の歌】●	20分
第5回	【歌あそび】●いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】●おかあさん ●やきいもグーチャーバー	
	【予習】【歌あそび】●ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】●	20分
	【復習】【歌あそび】● 【器楽・幼児の歌】●	20分
第6回	【歌あそび】●ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】●ガンバリマンのうた ●おおきなうた	
	【予習】【歌あそび】●カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】●	20分
	【復習】【歌あそび】●ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】●	20分
第7回	【歌あそび】●カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】●ガンバリマンのうた ●おおきなうた	
	【予習】【歌あそび】●コンコンクシャンのうた テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】●やぎさんゆうびん ●せかいじゅうのこどもたちが	20分
	【復習】【歌あそび】●カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】●ガンバリマンのうた ●おおきなうた	20分
第8回	【歌あそび】●コンコンクシャンのうた 【器楽・幼児の歌】●やぎさんゆうびん ●せかいじゅうのこどもたちが	
	【予習】【歌あそび】● 【器楽・幼児の歌】●	20分
	【復習】【歌あそび】● 【器楽・幼児の歌】●	20分
第9回	【歌あそび】●おもちゃのチャチャチャ 【器楽・幼児の歌】●あわてんぼうのサンタクロース ●線路はつづくどこまでも	
	【予習】【歌あそび】●バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】●	20分
	【復習】【歌あそび】●おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】●	20分
第10回	【歌あそび】●バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】●ゴリラのうた ●ジングルベル	
	【予習】【歌あそび】● 【器楽・幼児の歌】●	20分
	【復習】【歌あそび】● 【器楽・幼児の歌】●	20分

第11回	【歌あそび】●こぶためきつねこ 【器楽・幼児の歌】●アイアイ ●ゆきのペンキやさん	
	【予習】【歌あそび】●そうだったらいいのにな 【器楽・幼児の歌】●	20分
	【復習】【歌あそび】● 【器楽・幼児の歌】●	20分
第12回	【歌あそび】●そうだったらいいのにな 【器楽・幼児の歌】●手のひらを太陽に ●おもいでアルバム	
	【予習】【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】● 【器楽・幼児の歌】●	20分
第13回	【歌あそび】●まめまき 【器楽・幼児の歌】●1年生になったら ●さよならぼくたちのほいくえん	
	【予習】【器楽・幼児の歌】●1年生になったら ●さよならぼくたちのほいくえん	60分
	【復習】これまでに習った曲を全て振り返る	90分
第14回	【器楽・幼児の歌】今までに演習したことを振り返る	
	【予習】今までに演習したことを振り返る	90分
	【復習】今までに演習したことを振り返る	90分
第15回	まとめ（実技発表テスト）	
	【予習】	90分
	【復習】	90分

授業科目名	音楽表現技術（Bグループ）			科目コード	C141-11				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現		担当教員名	難波 純子 大村 禎子 玉井 恵子 櫻井 桂子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	楽典（音楽の決まりごと）、音楽表現技術		後継科目	音楽表現特講					
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容（音楽表現）指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	「歌あそび」と器楽（ピアノ等）・幼児の歌を1時間ずつ演習します。器楽・幼児の歌においては2つのグループ（A・B）で、それぞれの経験に合わせた学習を行います。さらに保育に必要な音楽基礎技能を、音楽の楽しさにふれながら高めます。器楽・幼児の歌(1時間)は前期同様の形態で行い、さらに内容を深めます。								
学習目標	毎週幼児の歌の課題を練習し、歌唱やピアノなどの音楽表現能力を高めます。また幅広い音楽体験により、多様な表現力を養うことを目標とします。								
キーワード	歌あそび 器楽（ピアノ） 幼児の歌								
テキスト・ 参考書等	テキスト 井口 太 編「新・幼児の音楽教育」朝日出版社（2014） テキスト 小林 美実 編「音楽リズム」東京書籍（1984）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や器楽（ピアノ）演奏をするために必要不可欠な楽典（音楽の決まり）を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱や器楽（ピアノ）演奏につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】幼児の歌に関心をもち、歌唱や器楽（ピアノ）の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱や演奏、歌あそびの発表などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、前期同様、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「歌あそび・手あそび」と「器楽（ピアノ等）」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢 表のAに該当します（20%）、歌あそび（40%）、器楽・幼児の歌（40%）とし、総合的に評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1 年前期の音楽表現技術 での学習をふまえ、後期の授業の目的や内容を説明します。	
	【予習】【歌あそび】●とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】●先生とおともだち テキスト p.68	30分
	【復習】シラバスを読み、授業内容(課題曲)をテキスト(楽譜)と照らし合わせて把握する。	60分
第2回	【歌あそび】●とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】●先生とおともだち テキスト p.68 ●こおろぎ テキスト p.153 p.111	
	【予習】【歌あそび】●こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】●もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53	20分
	【復習】【歌あそび】●とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】●先生とおともだち テキスト p.68、●こおろぎ テキスト p.153 p.111	20分
第3回	【歌あそび】●こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】●もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 ●まつぼっくり テキスト p.182 p.114	
	【予習】【歌あそび】●おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】●山のワルツ テキスト p.188 ●夕やけこやけ テキスト p.191	20分
	【復習】【歌あそび】●こぶたぬきつねこ テキスト p.36 【器楽・幼児の歌】●もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 ●まつぼっくり テキスト p.182 p.114	20分
第4回	【歌あそび】●おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】●山のワルツ テキスト p.188 ●夕やけこやけ テキスト p.191	
	【予習】【歌あそび】●いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】●	20分
	【復習】【歌あそび】● 【器楽・幼児の歌】●	20分
第5回	【歌あそび】●いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】●おかあさん ●やきいもグーチャーバー	
	【予習】【歌あそび】●ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】●	20分
	【復習】【歌あそび】● 【器楽・幼児の歌】●	20分
第6回	【歌あそび】●ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】●ガンバリマンのうた ●おおきなうた	
	【予習】【歌あそび】●カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】●	20分
	【復習】【歌あそび】●ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】●	20分
第7回	【歌あそび】●カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】●ガンバリマンのうた ●おおきなうた	
	【予習】【歌あそび】●コンコンクシャンのうた テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】●やぎさんゆうびん ●せかいじゅうのこどもたちが	20分
	【復習】【歌あそび】●カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】●ガンバリマンのうた ●おおきなうた	20分
第8回	【歌あそび】●コンコンクシャンのうた 【器楽・幼児の歌】●やぎさんゆうびん ●せかいじゅうのこどもたちが	
	【予習】【歌あそび】● 【器楽・幼児の歌】●	20分
	【復習】【歌あそび】● 【器楽・幼児の歌】●	20分
第9回	【歌あそび】●おもちゃのチャチャチャ 【器楽・幼児の歌】●あわてんぼうのサンタクロース ●線路はつづくどこまでも	
	【予習】【歌あそび】●バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】●	20分
	【復習】【歌あそび】●おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】●	20分
第10回	【歌あそび】●バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】●ゴリラのうた ●ジングルベル	
	【予習】【歌あそび】● 【器楽・幼児の歌】●	20分
	【復習】【歌あそび】● 【器楽・幼児の歌】●	20分

第11回	【歌あそび】●こぶためきつねこ 【器楽・幼児の歌】●アイアイ ●ゆきのペンキやさん	
	【予習】【歌あそび】●そうだったらいいのにな 【器楽・幼児の歌】●	20分
	【復習】【歌あそび】● 【器楽・幼児の歌】●	20分
第12回	【歌あそび】●そうだったらいいのにな 【器楽・幼児の歌】●手のひらを太陽に ●おもいでアルバム	
	【予習】【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】● 【器楽・幼児の歌】●	20分
第13回	【歌あそび】●まめまき 【器楽・幼児の歌】●1年生になったら ●さよならぼくたちのほいくえん	
	【予習】今までに演習したことを振り返る	90分
	【復習】今までに演習したことを振り返る	60分
第14回	【器楽・幼児の歌】今までに演習したことを振り返る	
	【予習】今までに演習したことを振り返る	90分
	【復習】今までに演習したことを振り返る	60分
第15回	まとめ（実技発表テスト）	
	【予習】今までに演習したことを振り返る	90分
	【復習】今までに演習したことを振り返る	60分

授業科目名	音楽表現特講			科目コード	C141-12				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現		担当教員名	大村 禎子 玉井 恵子 難波 純子					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	音楽表現技術 、音楽表現技術		後継科目	なし					
関連科目	保育内容（音楽表現）指導法、子どもと音楽表現								
資格等 取得との関連									
授業の概要	器楽（ピアノ）と幼児の歌の演習を、それぞれの経験に合わせて学習します。								
学習目標	幼児の音楽表現活動や教材について学び、多様な音楽表現に取り組むことを目標とします。								
キーワード	器楽（ピアノなど） 幼児の歌								
テキスト・ 参考書等	テキスト 井口 太 編「新・幼児の音楽教育」朝日出版社（2014） テキスト 小林 美実 編「音楽リズム」東京書籍（1984）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 歌唱や楽器演奏をするために必要不可欠な楽典（音楽の決まり）を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱や楽器演奏につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 幼児の表現に関心をもち、歌唱や楽器演奏の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					40				40
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5									
備考	「その他 A」の評価20点については、平素の授業に取り組む態度とする。								
	アクティブラーニングの実施：グループワーク等								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	音楽表現技術 の学習をふまえ、2年次ではさらに幅広く音楽経験を行う授業の目的や内容を説明します。	
	【予習】レッスン：●しあわせならてをたたこう テキスト p.37	30分
	【復習】シラバスを読み、前期の授業内容（課題曲）をテキスト（楽譜）と照らし合わせて把握する。	60分
第2回	レッスン：●しあわせならてをたたこう テキスト p.37	
	【予習】レッスン：●そうだったらいいのにな テキスト p.192-193	20分
	【復習】レッスン：●しあわせならてをたたこう テキスト p.37	20分
第3回	レッスン：●そうだったらいいのにな テキスト p.192-193	
	【予習】レッスン：●小鳥の歌 テキスト p.152	20分
	【復習】レッスン：●そうだったらいいのにな テキスト p.192-193	20分
第4回	レッスン：●小鳥の歌 テキスト p.152	
	【予習】レッスン：●おかあさん テキスト p.138	20分
	【復習】レッスン：●小鳥の歌 テキスト p.152	20分
第5回	レッスン：●おかあさん テキスト p.138	
	【予習】レッスン：●おもちゃのマーチ テキスト p.167	20分
	【復習】レッスン：●おかあさん テキスト p.138	20分
第6回	レッスン：●あめふりくまのこ テキスト p.126-127	
	【予習】レッスン：●おもちゃのマーチ テキスト p.167	20分
	【復習】レッスン：●あめふりくまのこ テキスト p.126-127	20分
第7回	レッスン：●おもちゃのマーチ テキスト p.167	
	【予習】レッスン：●Happy Birthday to You テキスト p.164	20分
	【復習】レッスン：●おもちゃのマーチ テキスト p.167	20分
第8回	レッスン：●Happy Birthday to You テキスト p.164	
	【予習】レッスン：●とんでったバナナ テキスト p.170-171	20分
	【復習】レッスン：●Happy Birthday to You テキスト p.164	20分
第9回	レッスン：●とんでったバナナ テキスト p.170-171	
	【予習】レッスン：●大きなたいこ テキスト p.135	20分
	【復習】レッスン：●とんでったバナナ テキスト p.170-171	20分
第10回	レッスン：●大きなたいこ テキスト p.135	
	【予習】レッスン：●ジングルベル テキスト p.159	20分
	【復習】レッスン：●大きなたいこ テキスト p.135	20分

第11回	レッスン：●ジングルベルテキスト p.159	
	【予習】レッスン：●あわてんぼうのサンタクロース テキスト p.130-131	20分
	【復習】レッスン：●ジングルベルテキスト p.159	20分
第12回	レッスン：●あわてんぼうのサンタクロース テキスト p.130-131	
	【予習】レッスン：●ゆきのペンキやさん テキスト p.130	20分
	【復習】レッスン：●あわてんぼうのサンタクロース テキスト p.130-131	20分
第13回	レッスン：●ゆきのペンキやさん テキスト p.130	
	【予習】レッスン：●大きなくりの木の下で テキスト p.136	20分
	【復習】レッスン：●ゆきのペンキやさん テキスト p.130	20分
第14回	レッスン：●大きなくりの木の下で テキスト p.136	
	【予習】レッスン：実技発表に向けて ●とんぼのめがね テキスト p.172を練習してくる。	85分
	【復習】レッスン：●大きなくりの木の下で テキスト p.136	20分
第15回	レッスン：●とんぼのめがね テキスト p.172 実技発表	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	造形表現技術				科目コード	C143-10			
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 造形表現			担当教員名	中山 里美				
実務経験									
開講時期	1年前期			授業の方法	演習				
必修・選択	必修			単位数	1単位				
前提科目(知識)				後継科目	造形表現技術 子どもと造形表現 保育内容（造形表現）指導法 子どもと遊び				
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	乳幼児における造形表現の特性やねらいを知るため、実技演習を中心に行い、表現することや創造することの価値を察知し、基本的な知識と豊かな感覚や技術を身につけます。材料の特性を生かした多面的な製作活動に取り組み、保育現場における「表現者」「鑑賞者」「援助者」としての心構えや在り方を学びます。								
学習目標	乳幼児の造形表現活動を豊かに展開するために必要となる、基礎的な知識や技術を実践的に習得する。造形表現活動に適した、用具及び素材や教材等の特性を理解し、それらの活用や作成に必要な知識や技術を身に付ける。								
キーワード	表現 感性 想像 創造 グループワーク								
テキスト・ 参考書等	「保育をひらく造形表現」榎 英子 著 萌文書林 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児における造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解する。造形表現に関する基礎的な用語や材料・用具、技法などに関する知識を身につけている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的な造形表現に必要な技能を身につけ、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】造形表現活動の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形表現活動や鑑賞に主体的に取り組み、作品を大切にするとともに、活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作等に意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			15	55		30			100
LO-1			5	15					20
LO-2			5	15					20
LO-3			5	15					20
LO-4				10		15			25
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他の項目「A」は、授業に取り組む姿勢、態度。 提出作品は評価した後、一部の作品は参考作品として展示し、相互鑑賞を行う。レポートは評価後、サイン・メッセージを入れて返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション 造形表現の意義 材料や用具の扱い方について		
	【予習】教科書に目を通し、学習内容を大まかに把握する。		30分
	【復習】		0分
第2回	色彩と形体： 色と形、構成の基礎 色の三属性と分類 色や形の心理、調和 描画材・紙とあそぶ		
	【予習】		0分
	【復習】プリントで色の属性や分類について確認する。色の視認性を効果的に表現した配色を考える。●ワークシート提出		30分
第3回	色彩と形体： 色水あそび ●ワークシート提出		
	【予習】		0分
	【復習】プリントで「造形遊び」のねらいや意義について確認する。		30分
第4回	素材の種類と特性 基底材（紙について） 描画材について		
	【予習】身近な描画材や紙に関する特性を調べる。		30分
	【復習】あそんだ内容を振り返りワークシートにまとめる。		30分
第5回	素材の種類と特性 描画材・紙であそぶ「絵具をあそぶ」●ワークシート提出		
	【予習】身近な描画材や紙に関する特性を調べる。		30分
	【復習】あそんだ内容を振り返りワークシートにまとめる。		30分
第6回	素材の種類と特性 製本：ことばで表す各ページから受け取った感じや感覚を言葉（オノマトペ）で書きこむ		
	【予習】		0分
	【復習】●完成作品（絵本）・レポート提出。		50分
第7回	モダンテクニック にじみ・ぼかし・ローリング等		
	【予習】資料を読み、使用する材料・用具と作り方を確認する。		20分
	【復習】		0分
第8回	モダンテクニック スクラッチ・マーブリング等		
	【予習】資料を読み、使用する材料・用具と作り方を確認する。		20分
	【復習】		0分
第9回	モダンテクニック スパッタリング・ウォッシング・パブルペインティング等		
	【予習】資料を読み、使用する材料・用具と作り方を確認する。		20分
	【復習】		0分
第10回	モダンテクニック まとめ技法ノート作成 ●作品技法ノート提出		
	【予習】		0分
	【復習】作成したノートを相互鑑賞し製作を振り返るとともに、展示したお互いの作品を評価し合う。		40分

第11回	色・形・感触を楽しむ：小麦粉粘土と片栗粉のスライム作り	
	【予習】	0分
	【復習】 感触遊びの活動を振り返りレポートにまとめる。●振り返りシート提出	30分
第12回	補助教材：自己紹介BOOKの制作 スケッチブックを利用し、めくりながら自己紹介できる仕掛けや仕組みを知る。	
	【予習】	0分
	【復習】 紹介された仕掛けを参考にして、構想を考えておく。	40分
第13回	補助教材：自己紹介BOOKの制作 スケッチブックを利用し、めくりながら自己紹介できる仕掛けや仕組みのアイデアスケッチをする。	
	【予習】	0分
	【復習】 自己紹介の画面構成やストーリーを下絵にまとめる。	40分
第14回	補助教材：自己紹介BOOKの制作 スケッチブックを利用し、めくりながら自己紹介できる仕掛けや仕組みを作る。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	補助教材：自己紹介BOOKの制作 スケッチブックを利用し、めくりながら自己紹介できる絵本を完成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 夏期休業中に完成させて提出	230分

授業科目名	造形表現技術			科目コード	C143-11				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 造形表現		担当教員名	中山 里美					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	造形表現技術 子どもと造形表現 保育内容（造形表現）指導法		後継科目						
関連科目	子どもと遊び								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	「造形表現技術」の内容をさらに深めます。多様な創作活動を経験することにより、表現の幅を広げながら、表現の楽しさ・喜びを味わい、乳幼児の豊かな造形表現を導くことのできる能力を身につけます。多様な創作活動の中で、「環境」に目を向けて、空間の活用や装飾、行事等に関わる製作に取り組み、乳幼児がより創造的な生活をすごす手立てを考えます。								
学習目標	乳幼児の発達過程を踏まえ、乳幼児の感性や創造性をより豊かにするための知識・技能、表現力を身に付ける。身近な自然・ものの色や形、感触やイメージ等に親しむための素材や教材などの役割に関する理解を深める。								
キーワード	感性 想像 創造 製作活動 グループワーク								
テキスト・ 参考書等	「保育をひらく造形表現」槇 英子 著 萌文書林（継続使用） 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児における造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解し、造形表現に関する幅広い用語や材料・用具、技法などに関する知識を身につけている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的な造形表現に必要な技能を身につけ、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】乳幼児における造形表現活動の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えたり、計画したりすることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形表現活動や鑑賞に主体的に取り組み、製作過程を大切にするとともに、活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作などに意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			15	55		30			100
LO-1			5	15					20
LO-2			5	15					20
LO-3			5	15					20
LO-4				10		15			25
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他の項目「A」は、授業（グループワーク等）に取り組む姿勢、態度。 提出作品は評価した後、一部の作品は参考作品として展示し、相互鑑賞を行う。レポートは評価後、サイン・メッセージを入れて返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	コラージュ シフティングを使った表現	
	【予習】不要な雑誌、フライヤー、フリーペーパーなどを準備する	30分
	【復習】作品の構成を考える。	30分
第2回	コラージュ デベイズマンを使った表現 ● 作品提出	
	【予習】不要な雑誌、フライヤー、フリーペーパーなどを準備する	30分
	【復習】相互鑑賞	30分
第3回	素材と表現方法：ローラー遊び ● 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】作品を相互鑑賞する	30分
第4回	土粘土 土粘土で遊ぶ―粘土作りから形作りへ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	土粘土 土粘土を使った表現（テラコッタ 成形）	
	【予習】	0分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第6回	工作：コロコロ工作（ピタゴラ装置） ・参考作品紹介/ミーティング	
	【予習】	0分
	【復習】・素材として使えそうな日用品を準備する。	30分
第7回	工作：コロコロ工作（ピタゴラ装置） ・グループで相談しながら仕掛けを試作する。	
	【予習】	0分
	【復習】・素材として使えそうな日用品を準備する。	30分
第8回	工作：コロコロ工作（ピタゴラ装置） ・グループで相談しながら仕掛けを完成させる。 ● 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第9回	工作：ローラープリントの紙を使って - 紙バッグの製作 ● 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】・完成したバッグを相互鑑賞する。	30分
第10回	劇遊び 劇遊びに使う大小道具や衣装を制作する。 ・ストーリーに合わせて必要となるものを考える	
	【予習】必要な材料を準備する	30分
	【復習】必要な材料を準備する	30分

第11回	劇遊び 劇遊びに使う大小道具や衣装を製作する。 ・必要な用具を作る。	
	【予習】必要な材料を準備する	30分
	【復習】作った道具や衣装を試す。●振り返りレポート提出	30分
第12回	劇遊び 劇遊びに使う大小道具や衣装を改良しながら完成する。	
	【予習】必要な材料を準備する	30分
	【復習】再度作った道具や衣装を試す	30分
第13回	土粘土 テラコッタ作品の彩色 ・焼きあがった土鈴に色付けをする。●作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】作品の相互鑑賞をする。	30分
第14回	紐で遊ぶ(合同) 組み紐づくり	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	30分
	【復習】展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第15回	紐で遊ぶ(合同) 糸掛け遊び	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	30分
	【復習】授業で製作した作品を再度鑑賞したり、学習内容をポートフォリオに整理したりし、製作と学習を振り返る。●レポート提出	60分

授業科目名	子どもの運動				科目コード	C145-10			
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 身体表現			担当教員名	塩見 一成				
実務経験	中学校・高等学校で教員として29年勤務した経験から得た知見や技術を活かし、授業の中で保育者として必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年後期			授業の方法	演習				
必修・選択	必修			単位数	1単位				
前提科目(知識)	運動と健康			後継科目	子どもと健康、保育内容「健康」				
関連科目	健康スポーツ								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭2種免許 保育士資格								
授業の概要	保育に必要な運動の基礎技能を養います。また、さまざまな子どもの運動遊びの体験を通して、乳幼児期の運動遊びに関する専門的技能を身につけていきます。								
学習目標	運動遊びの企画、立案・実践・省察の流れを通して、子どもの運動遊びを行う時の援助の方法を学び理解することを目指します。集団援助を行う際に必要な技能を身に付けます。								
キーワード	運動発達 運動遊び 安全 基本の運動 バランス・移動・操作 アレンジ								
テキスト・ 参考書等	テキスト：「子どものやってみたいを育てるみやもっち体育」 宮本忠男著 クリエイトかもがわ、「子どもが育つ運動遊び」倉ほか みらい								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児の発育発達の特徴をふまえ、保育の場での運動遊びの援助のあり方や、幼児期における運動遊びの意義を理解する								
LO-2	【技能】子どもの心身の発育発達を保障し、基本的な運動を基に遊びを構想・展開する技術を身につけている。自らが基本的な運動動作を習得し、指導に活かすことができる								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】乳幼児の発育発達を促す「運動遊び」について、運動発達段階に応じた身体活動や遊びの内容を考えたり、指導上の配慮について実践的に理解している。								
LO-4	【関心・意欲・態度】現代の子どもの育ちと子どもが育つ環境を的確に把握し、現状に応じた運動遊びのあり方についての考えを深め、実践にいかそうと努めている。								
LO-5	【人間性・社会性】ペアやグループでの活動に積極的に参加している。子どもへの愛情をもって安心安全を前提とした指導計画を企画・立案し、仲間と協同して運営することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20	40		30	10			100
LO-1		10	20						30
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4		10			10				20
LO-5						10			10
備考	レポートは、課題に対する理解度および内容から総合的に判断。成果発表については、プログラムの企画運営と、プログラムへの積極的な参加及び集団援助技術を評価。 小テストはテキスト理論編より出題。LO5については、保育者として基本となる明るく生き生きとした態度での参加を重視。 作品はノート作成とその内容。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業計画、内容、評価、進め方など） グループ編成 （運動の必要性について）	
	【予習】シラバスに目を通し、授業内容を把握する。	15分
	【復習】持ち物 レポート 評価方法について確認する。運動の必要性について自分の考えをまとめる。	15分
第2回	運動遊びの実践（１） 準備運動、ごっこ遊び	
	【予習】テキストP.20～24を読む。各グループで担当した内容を指導できるように練習する。	20分
	【復習】運動遊び（準備運動）の実践を振り返り、次回に活かすための検討しと整理。	20分
第3回	子どもにとっての運動遊び（１）	
	【予習】テキストP.2～4を読む。	20分
	【復習】子どもにとっての運動遊びについて、自分の考えを整理する。	20分
第4回	運動遊びの実践（２）フープを使った遊び 基本の動き	
	【予習】テキストP.34～35を読む。フープについての理解を深める。	20分
	【復習】運動遊びが実践できるように進め方や言葉がけを考える。フープ遊びの安全配慮について考える。	20分
第5回	子どもにとっての運動遊び（２）	
	【予習】テキストP.5～9、P.16～17を読む。	20分
	【復習】運動学の理論（動きの分析、動きの発生など）についてまとめ、理解を深める。	20分
第6回	運動遊びの実践（３）フープを使った遊び 縄跳び遊びへの展開方法について	
	【予習】フープと縄、各２種類（合計４種類）の運動遊びを準備する。	20分
	【復習】授業での内容を年齢別にアレンジする方法を考える。フープや縄遊びの安全の配慮について考える。	20分
第7回	子どもにとっての運動遊び（３）	
	【予習】テキストP.10～16を読む。	15分
	【復習】指導計画の立案、作成についてまとめる。運動遊びの実践のために、進め方や言葉がけ、年齢別によるアレンジ法を考える。	30分
第8回	運動遊びの実践（４）乳幼児期の動きの体験	
	【予習】乳幼児期の子どもの発育段階について確認する。	15分
	【復習】本時の体験から、乳幼児の立場に立った保育について考えをまとめる。	30分
第9回	運動遊びの実践（５）パラバルーンを使った運動の実践 基本の動きと創作活動	
	【予習】テキストP.60～70を読む。パラバルーンの基本操作を確認する。	15分
	【復習】パラバルーンを使った運動のねらいや期待される効果について整理する。	30分
第10回	運動遊びの実践（６）パラバルーンを使った運動の実践 創作活動 （一連の動きにまとめて構成する。）	
	【予習】創作した内容を復習し、覚える。その他、動きのアイデアを考える。	15分
	【復習】演技の内容を記録して覚える。共通理解された演技内容、効果的な声かけや合図のタイミングを再度確認して覚える。	60分

第11回	運動遊びの実践（ 7 ）パラバルーンを使った運動の実践 パラバルーン演技の発表	
	【予習】演技の内容を再確認する。	20分
	【復習】他のグループや自らのグループの演技の良さ、改善点について、感想レポートにまとめて提出。	20分
第12回	運動遊びの実践（ 8 ）ACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)と指導計画	
	【予習】ACPについて調べる。	20分
	【復習】自分が実践できそうなACPを整理してまとめる。	20分
第13回	運動遊びの実践（ 9 ）季節の遊び、雪遊び	
	【予習】雪遊びに必要な身支度、道具などを準備する。	20分
	【復習】雪遊びの意義と特徴についてまとめ、各年齢でどのような雪遊びが楽しめるのかを検討する。	20分
第14回	運動遊びの実践（10）季節の遊びを運動遊びにアレンジして行う	
	【予習】お正月の遊びを調べる。（羽子板、いろはかるたなど）準備できるものは準備して実践する。	20分
	【復習】遊び方、援助の仕方をまとめ、記録する。	20分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでの遊びを振り返る。得意とする運動遊びを 1 つ準備する。	15分
	【復習】後期の内容を振り返り、現場での実践に役立てるために整理してまとめる。	60分

授業科目名	教育実習			科目コード	C151-10				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 教育実習		担当教員名	難波 純子 石動 瑞代 嶋野 珠生 四杉 昭康					
実務経験	幼稚園で9年、保育園で4年、幼稚園教諭及び保育士として勤めていた経験をもとに、幼稚園教諭二種免許状取得に必要な知識と技術を身につけられるよう、実践的な授業を展開する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	基礎演習（知識）『幼稚園教育要領』		後継科目	教育実習 、教育実習指導					
関連科目	専門科目の全て								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許状								
授業の概要	本学付属みどり野幼稚園で実習を行う（ただし、学内で日誌や指導案の書き方等を学ぶ講義日もあり）。前期の授業時間では観察・参加実習を中心に、9月は指導案ありの参加実習を中心に実施する。観察・参加実習においては、実習後の幼稚園教員との反省会や、実習日誌での振り返りを通して子どもの内面を読み取り、環境の構成、保育のあり方などを学ぶ。さらに実習研究では、実習記録、指導案を実際に作成し検討することによって実践的な力を身につける。								
学習目標	この実習では、付属幼稚園と本学科の教員との連携協力に基づく指導を通して、幼児の発達の特徴や、幼稚園教育のねらい・内容・方法、幼稚園の機能と社会的役割、教師の基本的な職務内容や役割についての基礎的理解を深める。								
キーワード	付属みどり野幼稚園 観察実習 参加実習 実習記録 指導案								
テキスト・ 参考書等	幼児教育学科作成テキスト「教育実習 ハンドブック」、付属みどり野幼稚園作成資料「教育実習 実習資料」 開仁志編著『実習日誌の書き方』一藝社、開仁志編著『指導案大百科事典』一藝社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる幼児の発達・生活・遊びについて理解している。								
LO-2	【技能】子どもの前に立って、分かりやすく話したり、手遊びをしたり表現する技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】実習記録を丁寧に書くことによって論理的に考察し、自らを省察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】時間や規則を守り、基本的なマナーや言葉づかいができる。幼稚園での実習反省会では、積極的に担当教員に指導、助言を求める態度が身についている。								
LO-5	【人間性・社会性】グループで実習を行うので、適切なコミュニケーション技術と態度を身につけ、他者との協働を図ることができる。また、深い愛情と豊かな感受性・共感性をもって、子どもに対応することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	幼稚園教員による実習評価80点と、本学科教員による実習日誌の評価20点の100点満点で評価します。 右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します：実習								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	学科主催オリエンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	実習研究 記録の書き方を理解する	
	【予習】テキスト『実習日誌の書き方』を読んでおく。	30分
	【復習】	0分
第3回	幼稚園主催オリエンテーション（副園長先生の講話）、園見学	
	【予習】教育実習 資料に目を通しておく。	30分
	【復習】	0分
第4回	観察実習(1)	
	【予習】体調を整え、実習初日の目標（めあて）をたてる。	20分
	【復習】実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。	120分
第5回	観察実習(2)	
	【予習】	0分
	【復習】実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。	120分
第6回	観察実習(3)	
	【予習】	0分
	【復習】実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。	120分
第7回	観察実習(4)	
	【予習】	0分
	【復習】実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。	120分
第8回	参加実習(幼稚園)、学内演習	
	【予習】	0分
	【復習】実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。	120分
第9回	参加実習(幼稚園)、学内演習	
	【予習】	0分
	【復習】実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。	120分
第10回	実習研究 参加実習の反省会	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	実習研究 指導案の書き方1	
	【予習】指導案のテキストを読んでおく。	30分
	【復習】	0分
第12回	実習研究 指導案の書き方2	
	【予習】指導案のテキストを読んでおく。	30分
	【復習】	0分
第13回	実習研究 指導案の書き方3	
	【予習】指導案のテキストを読んでおく。	30分
	【復習】	0分
第14回	【夏季休業中 9月】参加実習（指導案あり） 連続4日間	
	【予習】	0分
	【復習】・実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。1日1枚×4日分 ・指導案の考察欄に記入する。	500分
第15回	実習反省会 9月に実習した指導案を見直し、振り返りを行う。	
	【予習】指導案を見返しておく。	30分
	【復習】	0分

授業科目名	教育実習				科目コード	C151-11			
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 教育実習		担当教員名	嶋野 珠生 山田 尚平					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	教育実習 教育実習指導		後継科目	教育実習指導					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	幼稚園における10日間の教育実習である。								
学習目標	幼稚園で生活する幼児の発達の特徴や幼稚園教育の内容・方法、幼稚園の機能と社会的役割、教師の基本的職務内容や役割についての具体的理解を深める。								
キーワード	参加実習 担任実習 指導計画								
テキスト・ 参考書等	「実習日誌の書き方」開仁志編著 一藝社 「指導案大百科事典」 開仁志編著 一藝社 「実習の記録と指導案」田中亨 豊胤監修、山本淳子編著 ひかりのくに 「幼稚園教育要領」文部科学省								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】「幼児の発達や興味・関心」「教育課程・指導計画」「保育内容や方法」等に関する知識を習得している。								
LO-2	【技能】幼児と親和的にかかわり、臨機応変な対応や措置を行う。集団や個々の幼児へのかかわり方を工夫して参加実習や担任実習に取り組むことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】環境設定や保健・安全面に配慮しながら、創意工夫して保育計画を立案し、準備、実施、評価することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】参加実習や担任実習に主体的に取り組み、的確な観察による考察や自己課題を日誌に記入できる。指導・助言を受け止め、向上心をもって積極的に実習に取り組む意欲をもつ。								
LO-5	【人間性・社会性】マナーや正しい言葉遣いを心掛け、職員や保護者、来客と対応することができる。時間や規則を守り、施設や備品の取り扱いに配慮することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						20			20
LO-3						20	10		30
LO-4						20	10		30
LO-5						10			10
備考	その他：(A) 実習先幼稚園による評価80% (B) 学科教員による実習日誌の評価20%								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	学外幼稚園での実習	
	【予習】園について、HPや事前訪問で調べておく。	60分
	【復習】保育実習の自己目標に沿って活動した記録を日誌に書く。	90分
第2回	学外幼稚園での実習	
	【予習】明日の活動計画を確認し、活動準備をする。	60分
	【復習】保育実習の自己目標に沿って活動した記録を日誌に書く。	90分
第3回	学外幼稚園での実習	
	【予習】明日の活動計画を確認し、活動準備をする。	60分
	【復習】保育実習の自己目標に沿って活動した記録を日誌に書く。	90分
第4回	学外幼稚園での実習	
	【予習】明日の活動計画を確認し、活動準備をする。	60分
	【復習】保育実習の自己目標に沿って活動した記録を日誌に書く。	90分
第5回	学外幼稚園での実習	
	【予習】明日の活動計画を確認し、活動準備をする。	60分
	【復習】保育実習の自己目標に沿って活動した記録を日誌に書く。	90分
第6回	学外幼稚園での実習	
	【予習】部分実習に備えて指導案を作成する。	60分
	【復習】反省会での助言をもとに指導案を見直す。日誌記録を書く。	90分
第7回	学外幼稚園での実習	
	【予習】部分実習に備えて指導案見直し、教材準備。	60分
	【復習】部分実習の反省会を振り返り、指導案を見直す。日誌記録を書く。	90分
第8回	学外幼稚園での実習	
	【予習】部分実習に備えて指導案を作成する。	60分
	【復習】反省会での助言をもとに指導案を見直す。日誌記録を書く。	90分
第9回	学外幼稚園での実習	
	【予習】部分実習に備えて指導案見直し、教材準備。	60分
	【復習】部分実習の反省会を振り返り、指導案を見直す。日誌記録を書く。	90分
第10回	学外幼稚園での実習	
	【予習】明日の活動目標を確認し、準備する。	60分
	【復習】1日の活動を振り返り、日誌を書く。	90分

第11回	学外幼稚園での実習	
	【予習】明日の活動目標を確認し、準備する。	60分
	【復習】1日の活動を振り返り、日誌を書く。	90分
第12回	学外幼稚園での実習	
	【予習】全日担任実習のための指導案を作成、活動の準備を行う。	60分
	【復習】指導案の見直し、修正。	90分
第13回	学外幼稚園での実習	
	【予習】指導案添削をもとに、再度修正、活動の準備を行う。	60分
	【復習】全日担任実習の反省踏まえて指導案を見直す。日誌を書く。	90分
第14回	学外幼稚園での実習	
	【予習】これまでの実習を振り返り、実習目標を明確に。	60分
	【復習】目標に沿った自身の活動の反省を行い、日誌を記録する。	90分
第15回	学外幼稚園での実習	
	【予習】最終日の目標を確認して、準備を行う。	60分
	【復習】実習全体を振り返り、日誌に記録を書く。	90分

授業科目名	教育実習指導			科目コード	C151-20				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 教育実習		担当教員名	嶋野 珠生 山田 尚平 難波 純子 四杉 昭康					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	教育実習		後継科目	教育実習					
関連科目	専門科目の全て								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	前期は「教育実習」の事後指導および「教育実習」の事前指導とします。後期は「教育実習」の事後指導を中心に行います。教育実習後は自己評価に基づき自己課題を見つけ、その解決に取り組みます。「教育実習」の事前報告および事後報告等では、学科の専任教員全員が担当します。								
学習目標	事前指導では教育実習の意義や目標を理解し、実習の方法や心得などを学習します。事後指導では実習の内容を振り返り、課題の確認や実習成果のまとめを行います。自己課題の改善に向けた具体的な取り組みをします。								
キーワード	実習日誌 指導案 教材研究 教材作成 実習の事前・事後指導								
テキスト・ 参考書等	開仁志編『実習日誌の書き方』一藝社 開仁志編『保育指導案大百科事典』一藝社								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる幼児の発達・生活・遊びについて理解している。また、自己理解し、実習後の省察ができる。								
LO-2	【技能】人前に立って分かりやすく話したり、手遊びやパネルシアターなどを披露したりする表現技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】子どもの年齢や発達過程を踏まえた上で保育における指導計画（指導案）をたて、「ねらい」と「内容」の違いを理解している。また、その内容に応じた「環境構成」や、「保育者の援助」の方法について自身で思考								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育教材について関心をもち、製作や模擬保育に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】相互評価においては、お互いの良さに気づき、それを伝えることができる。互いから学びあうことができる。グループでの事例検討活動では、お互いを尊重しながら率先して役割を果たしてグループに貢献することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			40		40	20			100
LO-1			40						40
LO-2					20				20
LO-3					10				10
LO-4					10	10			20
LO-5						10			10
備考	「教育実習」および「教育実習」終了後に提出した課題レポートを、各20点満点で評価する。提出期限の遅延に応じて減点。 成果発表は、各自が教材研究をして現場を想定し、作成、発表を総合的に判断する。前期の教材研究とプレゼンテーション、後期の教材研究とプレゼンテーションを各20点満点で評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	付属みどり野幼稚園入園準備1日実習 3/27...3組、3/28...4組	
	【予習】新入園児を迎え入れるにあたっての幼稚園の準備にはどのようなものがあるのか、あらかじめ各自で調べておく。	30分
	【復習】みどり野幼稚園での新入園児を迎え入れるための準備作業にどのようなことがあったのか、振り返りメモをしておく。	30分
第2回	授業オリエンテーション、1日実習の省察、3.4.5歳児の発達の姿を5領域で整理する	
	【予習】新入園児を迎え入れるにあたっての幼稚園の準備にはどのようなものがあったか、あらかじめ各自で振返しておく。	30分
	【復習】3.4.5歳児の発達の姿を5領域で整理課題に取り組む。	30分
第3回	3歳児の発達の姿を読み取る（DVD）	
	【予習】指針からまとめた「ねらい」「内容」一覧表を見直しておく。	30分
	【復習】指導案作成を念頭に置き、3歳児の発達の姿の読み取りポイントを復習する。	60分
第4回	4歳児の発達の姿を読み取る（DVD）	
	【予習】指針からまとめた「ねらい」「内容」一覧表を見直しておく。	30分
	【復習】指導案作成を念頭に置き、4歳児の発達の姿の読み取りポイントを復習する。	60分
第5回	5歳児の発達の姿を読み取る（DVD）	
	【予習】指針からまとめた「ねらい」「内容」一覧表を見直しておく。	30分
	【復習】指導案作成を念頭に置き、5歳児の発達の姿の読み取りポイントを復習する。	60分
第6回	模擬保育に向けて、指導案作成の復習と指導案作成、教材研究	
	【予習】教育実習指導で学んだ、3.4.5歳児の「発達の姿」および、保育実習指導で実施された「しっぽとり遊び」題材にした各年齢ごとの「ねらい」「内容」「活動」のまとめを見直し、各年齢ごとの特徴を理解する。	60分
	【復習】模擬保育を想定した指導案の作成と、それに関する「教材研究」にとりかかる。	60分
第7回	指導案作成、教材研究、教材作成 子どもたちをひきつける導入部分の練習と相互評価	
	【予習】模擬保育を想定し子どもたちをひきつけるための教材を考え、作成しておく。	30分
	【復習】模擬保育を想定した指導案作成と、それに関する「教材づくり」を継続。	60分
第8回	指導案作成、教材研究、教材作成 子どもたちをひきつける導入部分の練習と相互評価	
	【予習】模擬保育を想定し子どもたちをひきつけるための教材を考え、作成しておく。	30分
	【復習】模擬保育を想定した指導案作成と、それに関する「教材づくり」を継続。	60分
第9回	模擬保育（保育実習指導と同じ）	
	【予習】自分の模擬保育の準備をする。	30分
	【復習】模擬保育の振り返りを行う。	30分
第10回	模擬保育（保育実習指導と同じ）	
	【予習】自分の模擬保育の準備をする。	30分
	【復習】模擬保育の振り返りを行う。	30分

第11回	模擬保育の振り返りを踏まえ、担当クラスを想定した指導案作成と教材準備	
	【予習】自分の模擬保育の反省から課題を明確にする。	30分
	【復習】指導案と教材の準備継続。	30分
第12回	模擬保育の振り返りを踏まえ、担当クラスを想定した指導案作成と教材準備	
	【予習】自分の模擬保育の反省から課題を明確にする。	30分
	【復習】指導案と教材の準備継続。	30分
第13回	保育実習の反省を踏まえた幼稚園実習での自己目標の明確化、作成。幼稚園実習での活動を検討、指導案を検討する。	
	【予習】保育実習指導で行った、保育実習の振り返りを見直しておく。	30分
	【復習】幼稚園実習に向けてのワークシートを提出する。	60分
第14回	「教育実習」オリエンテーション2	
	【予習】各実習園の所在地、連絡先、保育方針、保育内容などの特徴をHP等で今一度調べ把握しておく。	30分
	【復習】実習先の幼稚園に出向く「直前オリエンテーション」は学生から幼稚園に電話を入れアポイントを取り、前期試験終了後から8月23日までの間に済ませておく。	60分
第15回	教育実習 事前報告	
	【予習】事前報告書を完成させておく。各実習園の所在地、連絡先、保育方針、保育内容などの特徴をHP等で今一度調べ把握しておく。	30分
	【復習】実習先の幼稚園に出向く「直前オリエンテーション」の復習、自己目標の確認、必要物の準備を行う。	60分
第16回	【これより後期授業】 事後指導 実習事後報告会	
	【予習】事後報告書を完成させる	15分
	【復習】実習先の幼稚園へ、一人一通お礼状を書き、各自で送付する(実習終了後、1週間以内に投函)。	30分
第17回	教育実習指導（後期）ガイダンス 事後指導 ・後期授業計画内容を確認、見直しを立てる。 ・指導案または実践した保育の紹介に向けて「実践発表ワークシート」作成	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握してくる。	15分
	【復習】指導案または実践した保育の紹介に向けて「実践発表ワークシート」を完成させて提出	30分
第18回	事後指導 指導案または実践の振り返りと発表、相互評価（1）	
	【予習】発表準備	30分
	【復習】友達の実践からの学びを振り返る	30分
第19回	事後指導 指導案または実践の振り返りと発表、相互評価（2）	
	【予習】発表準備	30分
	【復習】友達の実践からの学びを振り返る	30分
第20回	事後指導 実習の振り返り 「教員との個別面談による自己課題の明確化」および「就職後に生かす教材づくりと発表」 一人10分の個別面談で幼稚園からの評価を元に自己課題を明確にする。および、前期に作成した教材とは異なる新しい保育に生かす教材づくりを行う。	
	【予習】	0分
	【復習】教材づくりを完成に向けて進める	60分

第21回	事後指導 実習の振り返り 「教員との個別面談による自己課題の明確化」および「就職後に生かす教材づくりと発表」 一人10分の個別面談で幼稚園からの評価を元に自己課題を明確にする。および、前期に作成した教材とは異なる新しい保育に生かす教材づくりを行う。	
	【予習】	0分
	【復習】教材づくりを完成に向けて進める	60分
第22回	事後指導 実習の振り返り 「教員との個別面談による自己課題の明確化」および「就職後に生かす教材づくりと発表」 一人10分の個別面談で幼稚園からの評価を元に自己課題を明確にする。および、前期に作成した教材とは異なる新しい保育に生かす教材づくりを行う。	
	【予習】	0分
	【復習】教材づくりを完成に向けて進める。実演発表の練習をする。掛け合いの練習をしておく。	60分
第23回	事後指導 教材の実演発表（相互評価と教員評価）	
	【予習】実演発表練習	60分
	【復習】自分の実技の振り返りと友達からの学びを復習する	0分
第24回	事後指導 教材の実演発表（相互評価と教員評価）	
	【予習】実演発表練習	60分
	【復習】自分の実技の振り返りと友達からの学びを復習する	0分

授業科目名	保育実習指導				科目コード	C152-10			
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習				担当教員名	中山 里美 明柴 聡史 塩見 一成 日光 恵利			
実務経験	(日光)保育士として公立保育所に7年間勤務した経験を生かし、保育所等の役割や保育士の職務を学ぶことの意義について授業の中で解説する。								
開講時期	1年通年				授業の方法	演習			
必修・選択	選択				単位数	2単位			
前提科目(知識)	基礎演習				後継科目	保育実習指導 ・			
関連科目	保育実習 - 1 保育実習 - 2								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	「保育実習 -1（保育所）」「保育実習 -2（施設）」の事前事後指導として行う。実習の意義や目標、実習内容、実習に臨む際の基本的な心構えや態度について学習する。実習前のオリエンテーション・特別講義などを通して、自己の実習課題を明らかにし、効果的に実習に取り組めるようにする。実習後は、各自作成のレポートなどを中心に、実習の成果と課題を把握する。実習施設に対する理解を深めるために、特別講義も予定している。								
学習目標	実習の意義および目的と実習の方法を理解する 実習日誌の基本的な書き方を習得する 実習に対する心構えや態度を学び、習得する 実習を振り返り、実習内容や自らの課題の達成状況を把握し、今後の学習課題を明らかにする								
キーワード	保育所 幼保連携型認定こども園 児童福祉施設 保育士 実習課題 実習日誌 省察								
テキスト・ 参考書等	『実習日誌の書き方』開仁志編著 一藝社 『指導案大百科事典』開仁志編著 一藝社 『学外実習の手引き』 『保育所保育指針解説』厚生労働省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育所や児童福祉施設の目的と概要、保育士の職務について理解している								
LO-2	【技能】保育所や児童福祉施設での実習に目標を持って取り組み、実習日誌を書くことができる								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】保育所や児童福祉施設をめぐる現代的な課題を論理的に考察できる								
LO-4	【関心・意欲・態度】実習施設と入所者、子どもを取り巻く環境に関心を持ち、援助の方法を習得する								
LO-5	【人間性・社会性】実習に対する心構えや態度を習得する								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80			20			100
LO-1			16			4			20
LO-2			16			4			20
LO-3			16			4			20
LO-4			16			4			20
LO-5			16			4			20
備考	この科目を履修しなければ、保育実習 -1及び -2を受けることはできない。 「保育実習指導 」2単位は、「保育実習 -1」および「保育実習 -2」の単位取得と関連している。成績評価は、保育実習 -1（50％）、保育実習 -2（50％）の各レポート及び提出物により評価する。 （評価は、2年前期の成績に記載）グループワーク、フィールドワーク(施設見学)、実習、ディスカッションなどのアクティ								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	○オリエンテーション 2年間の実習の流れと保育実習指導 の位置づけ	
	【予習】シラバスを確認し、授業計画を把握しておく。	0分
	【復習】保育実習の概要を確認する	90分
第2回	○保育所の一般的理解 ○富山県の保育所・認定こども園の現状	
	【予習】前回の授業内で配布された資料を復習する。 地域の保育施設を調べておく。	0分
	【復習】配布されたプリントと資料を整理する。	60分
第3回	○『保育所保育指針』の構造と内容	
	【予習】保育所保育指針を読み、保育士の役割や保育環境について関心をもつ。	0分
	【復習】配布されたプリントを整理し、理解を深める。	60分
第4回	○実習日誌の基本的な構成とその内容（１）エピソード記録	
	【予習】『実習日誌の書き方』PP、20-23を読んでおく。 教育実習 の日誌を1日分を持参する。	90分
	【復習】教育実習 の実習日誌（1日分）を手直しする。	90分
第5回	○保育所の生活とデイリープログラム	
	【予習】前回配布された資料を整理し、内容を見直す。	45分
	【復習】演習課題(3歳未満児のデイリープログラムにそって、保育士の仕事を書き出してみましょう。)	90分
第6回	○実習日誌の基本的な構成とその内容（２）流れ記録	
	【予習】『実習日誌の書き方』から、未満児実習の流れ記録の例を探し、読んでおく。	45分
	【復習】配布されたプリントを整理し、理解を深める。	90分
第7回	○児童福祉施設等での自主実習について ・実習の目的 ・自主実習の手続きと流れ	
	【予習】	0分
	【復習】・配布されたプリントを整理し、実習希望先と実施期間を検討する。 ・希望先に連絡し事前の内諾を得る。	90分
第8回	○保育所以外の児童福祉施設の一般的理解	
	【予習】児童福祉法第7条に記載のある保育所、幼保連携型認定こども園以外の施設について調べる。	0分
	【復習】配布されたプリントを整理し、理解を深める。	90分
第9回	○富山県の児童福祉施設の現状	
	【予習】県内の児童福祉施設をWebで調査し、各施設の機能と役割について調べる。	0分
	【復習】配布されたプリントを整理し、理解を深める。	90分
第10回	○施設及び施設保育士の職務内容について	
	【予習】バスでの児童養護施設、障害者支援施設見学実習のためにWebサイトや文献などから理解を深めておくこと。	0分
	【復習】バスでの見学実習での観察や講義の内容を整理し、理解を深める。 見学後、下記の書式をダウンロードしレポート作成すること。提出は第10回目の課題 に8月23日17:00までにアップロードする。評価の割合は20%。	90分

第11回	○自主実習に参加するための事前学習 ・自主実習に向けて 内諾書依頼の書類を作成 ・実習中の注意事項、提出書類等の配布と確認	
	【予習】	0分
	【復習】自主実習の準備をする。	90分
第12回	○2年生との実習連絡会	
	【予習】実習配属園について調べ、まとめておく。 実習に関して先輩に質問したいことや、確認したいことをまとめておく。	0分
	【復習】2年生と話したこと、教えてもらったことを整理して記録に残す。	0分
第13回	○保育実習 - 1オリエンテーション（1）	
	【予習】学外実習の手引きを見直しておく。	0分
	【復習】配布された資料等を整理し、2つのバインダーに綴じる。	45分
第14回	○保育実習 - 1オリエンテーション（2）	
	【予習】前回までに配布された資料を見直して、まとめておく。 質問事項をまとめておく。	0分
	【復習】配布資料を整理してまとめ、必要な個所を記入する。	0分
第15回	○保育実習 - 1事前報告（実習個別指導担当教員）	
	【予習】「事前報告書」「事前訪問・打ち合わせレポート」を作成しておく。	90分
	【復習】実習の目当て等記入し、実習書類を完成させる。	90分
第16回	○特別講義 「保育所保育の概要と実習生のあり方」富山市立福島保育所長 下村 寿美 先生	
	【予習】これまでの実習指導を振り返り、不明な点を把握しておく。	30分
	【復習】講義で配布された資料を見直し、理解を深める。	30分
第17回	○実習日誌、指導案について	
	【予習】実習日誌等で不明な点がないか確認する。	45分
	【復習】日誌の書き方を再度確認しておく。	45分
第18回	○保育実習 - 1直前学修 書類等のチェック 日誌の書き方等の確認	
	【予習】実習関係書類が実習ファイルに綴じられていることを確認しておく。	30分
	【復習】準備した教材等を使うようにしておく。	45分
第19回	○保育実習 - 1振り返り 振り返りワークシート、レポート作成	
	【予習】実習日誌を読み直し、事後報告書を作成する。	60分
	【復習】レポートを完成させる。	45分
第20回	○保育実習 -1事後報告（実習個別指導担当教員）	
	【予習】事後報告書の必要な手直しを行う。	45分
	【復習】実習レポート、実習日誌を整え提出する。	45分

第21回	○保育実習 -2オリエンテーション	
	【予習】県内の社会福祉施設についてWebにて調査を行う	0分
	【復習】県内の社会福祉施設、特に自信の住む市町村の施設のHPを見て研究する。	0分
第22回	○特別講義（１）児童養護施設 「要保護児童の支援と保育者の役割」ルンビニ園 黒田 恵美	
	【予習】児童養護施設の機能と役割、現状と課題について教科書やWEB等から調べる。	0分
	【復習】児童養護施設の機能と役割、現状と課題についてまとめる。特別講義の内容についてレポートにまとめる。	0分
第23回	○学びの振り返り	
	【予習】児童養護施設についての予備知識と特別講義の内容から疑問をあげ、学生間で対話する準備をしておく。	0分
	【復習】児童養護施設の機能と役割、現状と課題についてまとめる。特別講義の内容についてレポートにまとめる。	0分
第24回	○特別講義（２）障害者支援施設 「障害者支援と保育者の役割」施設保育士（生活支援員）	
	【予習】障害者支援施設の機能と役割、現状と課題について調査する。	0分
	【復習】障害者支援施設の機能と役割、現状と課題についてまとめる。特別講義の内容についてレポートにまとめる。	0分
第25回	○学びの振り返り	
	【予習】障害者支援施設についての予備知識と特別講義の内容から疑問をあげ、学生間で対話する準備をしておく。	0分
	【復習】障害者支援施設の機能と役割、現状と課題についてまとめる。特別講義の内容についてレポートにまとめる。	0分
第26回	○特別講義（３）福祉型児童発達支援センター 「障害児入所施設の機能と役割」富山市恵光学園 澤井 愛海	
	【予習】福祉型児童発達支援センターの機能と役割、現状と課題について教科書やweb等から調査する。	0分
	【復習】福祉型児童発達支援センターの機能と役割、現状と課題についてまとめる。特別講義の内容についてレポートにまとめる。	0分
第27回	○学びの振り返り	
	【予習】福祉型児童発達支援センターについての予備知識と特別講義の内容から疑問をあげ、学生間で対話する準備をしておく。	0分
	【復習】特別講義及び内容の振り返りを通じて、理解を深める。	0分
第28回	○保育実習 -2 事前指導（１） 2年生からのガイダンス	
	【予習】2年生への実習に向けての質問を考えておく。	0分
	【復習】2年生から聞いた内容をまとめ、実習に向けて準備をする。	0分
第29回	○保育実習 -2 事前指導（２） 配布物等確認、諸連絡	
	【予習】実習ファイルを整理し、実習に向けた準備を行う。健康チェックを開始する。	0分
	【復習】配布物を整理し、必要書類を準備する。	0分
第30回	○保育実習 -2 事前報告（実習個別指導担当教員）	
	【予習】事前報告書と実習計画書を作成する。	0分
	【復習】実習目標に向けた自己課題を明確にする。 レクリエーションが求められている学生は指導案等準備する。	0分

授業科目名	保育実習 -1			科目コード	C152-11				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	日光 恵利 中山 里美					
実務経験	保育士として保育所での実務経験あり								
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	保育実習 保育実習指導					
関連科目	保育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育所における3歳未満児を対象とした10日間の保育所実習である。 3歳未満児の発達の特徴や保育の内容、方法、保育所の機能と社会的役割、保育所保育士の基本的職務内容等について実践的に理解する。								
学習目標	保育所の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する。 保育所における3歳未満児の生活の様子や発達の姿について具体的な理解を深めると共に、必要な養護や教育の基本的内容について実践的に理解する。 保育士の基本的な職務内容や役割について現場保育者からの指導を受けると共に、観察や助手的な経験を通して自ら修得								
キーワード	保育所 保育士 3歳未満児								
テキスト・ 参考書等	『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳幼児の発達と生活、遊びに関する基本的な知識を有している。								
LO-2	【技能】 乳幼児と親和的に関わることができる。また、乳幼児の発達や興味関心を考慮して環境構成や保健・安全面に配慮した保育が行える。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 個々の乳幼児の具体的な理解を基に、適切な援助の方法について考察し、実践する。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 自ら指導・助言を求め、積極的に実習に取り組む。								
LO-5	【人間性・社会性】 基本的なマナーを身につけ、正しい言葉づかいで会話や記録ができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10	5		15
LO-2						10	5		15
LO-3						20	5		25
LO-4						20	5		25
LO-5						20			20
備考	その他A：実習先の保育所(園)からの評価 その他B：実習日誌の評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	保育実習 -2			科目コード	C152-12				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	明柴 聡史 塩見 一成					
実務経験	保育士、児童指導員として、社会福祉法人で13年間勤務。虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、実習生指導担当として、学生が保育所の役割を理解できるように指導								
開講時期	1年後期	授業の方法	実習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	保育実習指導	後継科目	保育実習						
関連科目	社会福祉 児童家庭福祉 社会的養護 社会的養護内容								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	児童福祉施設及び障害者支援施設等での10日間の実習に加えて、事前・事後学習を行う。								
学習目標	施設の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する。 入所児（者）の生活と発達等について、個別的及び集団的関わりを通して理解する。 保育士等の役割及び職務内容、他の職員とのチームワークとうについて体験的に理解する。								
キーワード	参加実習 実習日誌 施設の社会的役割、施設保育士の業務内容								
テキスト・ 参考書等	施設実習パーフェクトガイド（わかば社）								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】対象児（者）発達と生活関する基本的な知識を有している								
LO-2	【技能】対象児（者）に親和的にかかわり、環境設定や保健・安全面に配慮した支援が行える								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】個々の対象児（者）に対する具体的理解を深め、適切な援助の方法を考察することができる								
LO-4	【関心・意欲・態度】参加実習に主体的に取り組み、実習日誌に的確に記述できる								
LO-5	【人間性・社会性】時間や規則を守るとともに、マナーや正しい言葉づかいに心がけ、職員等と対応することができる								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						20			20
LO-3						20	10		30
LO-4						20	10		30
LO-5						10			10
備考	その他：（A）実習先施設による評価80% （B）学科教員による実習日誌の評価20% 社会福祉施設での実習による授業。授業後には、保育実習指導 でグループワーク、 ディスカッションを行うため現状と課題を整理しておくこと。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	初日オリエンテーション(学外の社会福祉施設での実習第1回～第15回)	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第2回	職員の役割の理解	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第3回	一日の流れの理解	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第4回	職員のかかわりを観察し、自らも実践する	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第5回	対象者を理解する	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第6回	対象者を理解する	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第7回	対象者に合わせた援助を実践する 中間反省会	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】前半の反省を行い、後半の課題を抽出する。 一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第8回	対象者に合わせた援助を実践する	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第9回	対象者に合わせた援助を実践する	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第10回	多職種との連携について学ぶ	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分

第11回	多職種との連携について学ぶ	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第12回	関係機関との連携協働の実際について学ぶ	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第13回	関係機関との連携協働の実際について学ぶ	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第14回	責任実習として、レクリエーション等を計画し実践する。	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】責任実習の振り返り・評価考察をし、自己課題を明らかにする。 一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第15回	実習のまとめ、反省会・実習後協議	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、実習事後レポートの作成 今後の反省と課題の抽出	0分

授業科目名	保育実習指導				科目コード	C152-20			
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習				担当教員名	中山 里美 日光 恵利			
実務経験	公立支援学校及び高等学校で教員として26年間勤務した経験を生かし、実習生指導担当として、学生が保育所の役割を理解できるように指導を行う。								
開講時期	2年前期				授業の方法	演習			
必修・選択	選択				単位数	1単位			
前提科目(知識)	保育実習指導 保育実習 - 1				後継科目	なし			
関連科目	保育実習 教育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	「保育実習」の事前事後指導として行います。1年次の講義や実習「保育実習 - 1」（保育所3歳未満児）での学びをふまえて、事前指導では3歳以上児を対象とした保育所実習として指導計画の作成や実践について学習します。事後指導では実践を通した学びを振り返り、自己の課題を明らかにします。								
学習目標	保育実習の事前・事後指導として行う。保育実習の意義・目的を理解し、実習の内容を総合的に学び、保育の計画と実践、評価と改善、専門性について理解する。事後指導では、実習の総括と自己評価から課題を明確にする。								
キーワード	保育所 保育士 3歳以上児 担任実習 指導案 グループワーク 連携授業								
テキスト・ 参考書等	1）関仁志編『実習日誌の書き方』（一藝社） 2）関仁志編『保育指導案大百科事典』（一藝社）								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	[知識・理解] 保育所の機能や社会的役割、保育士の職務について理解している。								
LO-2	[技能] 幼児の生活や発達過程をふまえて、指導計画を立案することができる。保育内容や集団・個々の幼児へのかかわりを工夫し								
LO-3	[思考力・判断力・表現力] 自らの実習経験をとおして、幼児の生活や発達過程をふまえた養護や教育の基本的内容とその実践について考えることがで								
LO-4	[関心・意欲・態度] 幼児をとりまく生活環境や発達の様子、保育者の役割に関心をもち、基本的な援助の方法を身につける。								
LO-5	[人間性・社会性] 指導計画の立案や教材研究、模擬保育の実践などの課題に主体的に取り組み、指導を受けて自らの研究を深める。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70	10	20				100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3				10	10				20
LO-4			20						20
LO-5			10		10				20
備考	右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します：グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション 提出した課題・レポートは添削し、サイン・メッセージを入れて返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション「保育実習」の意義・目的、保育実習の自己評価と自己課題の設定	
	【予習】「学外実習の手引き」で「保育実習」の目的と内容について確認する。 「保育実習 - 1」を実習日誌などで振り返り、自己課題について考える。	20分
	【復習】保育指針：「ねらいと内容」に関する課題プリントを完成させる。	60分
第2回	保育実践力の向上 指導案の書き方（全日実習）	
	【予習】	0分
	【復習】「全日実習指導案」習の書き方に関する課題を仕上げる。	30分
第3回	保育実践力の向上 指導案の書き方（集団遊び）	
	【予習】テキスト2、テキスト3 該当箇所を読み、指導計画作成の意義について確認する。	30分
	【復習】指導計画作成の意義とポイントを確実に理解する。	20分
第4回	保育実践力の向上 指導案の書き方（集団遊び）発表	
	【予習】集団遊びの指導案を完成させる	60分
	【復習】指導計画作成の意義とポイントを確実に理解する。	20分
第5回	保育実践力の向上 模擬保育について・ガイダンス	
	【予習】部分担任実習の指導案作成を想定して活動内容を検討する。	30分
	【復習】作成途中の指導計画を書き進める。	30分
第6回	保育実践力の向上 模擬保育の実践準備	
	【予習】作成した指導計画や教材などを使用した模擬保育の実践に必要な準備をする。	30分
	【復習】	0分
第7回	実習事前オリエンテーション（実習に関する資料の配布、説明）	
	【予習】〔持参するもの〕学外実習の手引き、実習ファイル	0分
	【復習】打合せの電話を掛ける	0分
第8回	保育実践力の向上 模擬保育の実践	
	【予習】作成した指導計画や教材などを使用した模擬保育の実践に必要な準備をする。	20分
	【復習】実践の考察をする。	30分
第9回	保育実践力の向上 学外講師による特別講義「指導計画について」	
	【予習】	0分
	【復習】指導計画作成においてチェックされた箇所を確認して修正する。	20分
第10回	保育実践力の向上 模擬保育の実践	
	【予習】作成した指導計画や教材などを使用した模擬保育の実践に必要な準備をする。	20分
	【復習】実践の考察をする。	30分

第11回	実習事前報告〔個別指導担当教員の指導による〕	
	【予習】実習園を訪問し、事前打ち合わせを行う。 打ち合わせてきた内容に基づいて事前報告書を作成する。	60分
	【復習】	0分
第12回	保育実践力の向上 指導案の書き方（年齢別保育）	
	【予習】	60分
	【復習】年齢別保育の指導案を完成させる	0分
第13回	事後指導 実習事後報告〔個別指導担当教員の指導による〕	
	【予習】実習を振りかえり、事後報告書を作成する。	60分
	【復習】	0分
第14回	事後指導 自己評価	
	【予習】実習中に受けた指導を日誌や反省会の記録などから整理し、確認する。	20分
	【復習】実習自己評価も参考に実習事後レポートを作成する。	60分
第15回	事後指導 実習報告会	
	【予習】自己課題解決にとりかかれるよう、必要なものを準備する（参考資料の収集、下調べ、材料の準備等）。 自己課題解決に取り組む。	20分
	【復習】自己課題解決に取り組む。	20分

授業科目名	保育実習			科目コード	C152-21				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	中山 里美 日光 恵利					
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	実習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	保育実習 - 1 保育実習指導	後継科目							
関連科目	保育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育所における 3 歳以上児を対象とした10日間の保育所実習である。 幼児の発達の特徴や保育の内容、方法、保育所の機能と社会的役割、保育所保育士の基本的職務内容等について実践的に理解する。								
学習目標	既習の教科目や保育実習 - 1 の経験を踏まえ、10日間の実習を通して保育所の役割と機能、乳幼児の保育と子育て支援、指導計画の作成・実践・評価、保育士の業務を理解し、実習における自己課題を明確化する。								
キーワード	保育所 保育士 3 歳以上児 担任実習（全日・部分実習） 指導案								
テキスト・ 参考書等	厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕幼児の発達と生活・遊びに関する基本的な知識を有している。また、指導計画の意義、指導計画作成の基本的な知識を有している。								
LO-2	〔技能〕幼児と親和的にかかわることができる。また、子どもの発達や興味関心を考慮した内容の活動を立案し、環境設定や保健・安全面に配慮した保育が行える。								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕個々の幼児への具体的な理解をもとに、適切な援助の方法について実践し、考察することができる。また、クラス全体へのかかわりにおいて、臨機応変に対応する。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕自ら指導・助言を求め、積極的に参加実習や担任実習に取り組むことができる。また、指導内容を次の機会にいかして研究を深める態度が身についている。								
LO-5	〔人間性・社会性〕基本的なマナーが身についており、正しい言葉づかいで会話や記録ができる。また、職員としての立場を理解して適切な行動をとることができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						10	10		20
LO-3						20			20
LO-4						20	10		30
LO-5						20			20
備考	その他 A：実習先の保育所（園）からの評価 その他 B：実習日誌等の評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	学外保育所（3、4、5歳児）での実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	保育実習指導			科目コード	C152-30				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	明柴 聡史 塩見 一成					
実務経験	〔明柴〕保育士、児童指導員として、社会福祉法人で13年間勤務。児童虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、実習生指導担当として、学生が児童福祉施設の機能と役								
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	保育実習 ー 2		後継科目						
関連科目	社会福祉 児童家庭福祉 社会的養護								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育実習 の事前・事後指導を行います。保育実習 -2での学びをふまえて、保育所以外の社会福祉施設で実習することの意義・目的を理解し、保育士としての専門性について考察していきます。また、実習施設の特性について学び、支援に必要な知識や方法を理解し、実際の支援に活用できることをめざします。								
学習目標	社会福祉施設における意義・目的を、これまでの実習や講義等の学びと関連付けて理解する。 社会福祉施設における具体的支援方法を学び、実践に活用できるようになる。 計画と観察、記録、自己評価に基づく保育（支援）の改善について、実践事例を通して理解する。								
キーワード	施設サービス 生活支援 自立支援 地域 コミュニケーション 計画と評価 グループワーク、フィールドワーク、実習、ディスカッション								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『施設実習パーフェクトガイド』（わかば社） 参考資料を配布します。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 実習施設や利用児者の特性を知り、必要な知識や支援内容について、説明することができる。								
LO-2	【技能・表現】 対象児者の個別的理解に必要な観察・記録・考察のポイントを理解し、実践で活用できる。ねらいに応じた支援内容や配慮点を設定し、指導計画としてまとめることができる。								
LO-3	【思考・判断】 これまでの実習経験をふまえて、実習施設における適切な支援内容・方法について自ら考えることができる。実習場面における自己を省察し、文章化して評価することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 実習施設や対象児者の現状を的確に把握し、保育者(支援者)の果たす役割及び適切な支援について、実習場面と関連付けながら検討することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 ノンバーバルなコミュニケーションの重要性を理解し、自らのコミュニケーション力を高める。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70			30			100
LO-1			20						20
LO-2			10			10			20
LO-3			10			10			20
LO-4			20			10			30
LO-5			10						10
備考	その他Aは、課題研究発表や討議の状況 グループワーク、フィールドワーク、実習、ディスカッションなどのアクティブラーニングを半分以上の授業で実施する。 毎回の授業後にミニツッペーパーを提出してもらう。記載された意見や疑問をもとに、次回の授業でフィードバックを行う。 。学生自身の学びを深める機会と位置づける。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション「保育実習」の意義・目的	
	【予習】実習 を選択した理由、学びたい内容を文章化しておく。	20分
	【復習】保育実習 ー2の振り返り事項を再確認し、今回の実習での学習課題が適当であるか、十分に検討する。	20分
第2回	実習施設の機能及び役割の理解	
	【予習】実習施設種別の機能や役割を、教科書等で確認する。 実習施設のHPなどで、施設について調べる。	30分
	【復習】実習施設に関する研究テーマを検討する。	20分
第3回	実習施設における保育士等の業務内容の理解	
	【予習】実習施設についての情報を、HPや友人等から集めておく。	20分
	【復習】実習課題をふまえた、具体的な取組内容を整理し、文章としてまとめる。	30分
第4回	保育実践力の向上 観察の視点	
	【予習】これまでの日誌をふりかえって、観察の視点を確認する。	20分
	【復習】課題を仕上げる。	20分
第5回	保育実践力の向上 記録	
	【予習】これまでの日誌の記録内容を見返し、改善点を見出す。	20分
	【復習】課題を仕上げる。	20分
第6回	保育実践力の向上 指導計画の作成（講義）	
	【予習】指導計画のポイントについて、教科書で確認する。	20分
	【復習】特別講義の内容を、整理してまとめる。	30分
第7回	保育実践力の向上 指導計画の作成（演習）	
	【予習】提示された課題について、自ら指導計画を書いてみる。	30分
	【復習】講義中に受けた助言等を参考に、指導計画を完成する。	30分
第8回	保育実践力の向上 指導計画・評価	
	【予習】指導計画作成のポイントを再確認し、新たな指導計画作成にあたる。	30分
	【復習】助言等を参考に、指導計画を仕上げる。	30分
第9回	保育実践力の向上 教材研究	
	【予習】実習で取り組みたい内容を検討し、そのために必要な準備をする。	30分
	【復習】事前準備として取り組んだ内容を完成させる。	30分
第10回	実習事前打ち合わせ準備	
	【予習】実習打ち合わせで確認すべき事項をまとめる。	15分
	【復習】実習打ち合わせの内容をレポートにまとめる。実習までに、確認すべきことを整理する。	30分

第11回	事前指導 事前報告	
	【予習】実習事前報告用紙を完成する。	15分
	【復習】教員との打ち合わせ内容を確認し、実習事前準備をすすめる。	15分
第12回	事後指導 自己評価（対象者理解、支援技術、支援計画性、学びの態度等）	
	【予習】実習のふりかえりをする。	20分
	【復習】課題レポートを仕上げる。	40分
第13回	事後指導 事後報告 グループワーク	
	【予習】課題レポートに内容を再確認しておく。	10分
	【復習】グループワークでの学びを整理してまとめておく。	15分
第14回	事後指導 自己課題の明確化	
	【予習】保育実習 の実習日誌やグループワークでの学びを整理する。	20分
	【復習】担当教員との対話を通して学んだ内容を整理して記述する。	20分
第15回	事後指導 自己課題解決のためのプラン作成	
	【予習】前回の講義で検討した自己課題について、再確認する。	10分
	【復習】これからの保育者としての学びや就職活動と関連付けて、自己課題解決のためのプランをより具体化しておく。	15分

授業科目名	保育実習			科目コード	C152-31				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	明柴 聡史 塩見 一成					
実務経験	〔明柴〕保育士、児童指導員として、社会福祉法人で13年間勤務。児童虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、実習生指導担当として、学生が児童福祉施設の機能と役								
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育実習 ー 2		後継科目						
関連科目	社会福祉 児童家庭福祉 社会的養護 社会的養護内容								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	児童福祉施設及び障害者支援施設等での10日間の実習に加えて、事前・事後学習を行う。								
学習目標	施設の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する。 入所児（者）の生活と発達等について、個別的及び集団的関わりを通して理解する。 保育士等の役割及び職務内容、他の職員とのチームワークとうについて体験的に理解する。								
キーワード	参加実習 実習日誌 施設の社会的役割、施設保育士の業務内容								
テキスト・ 参考書等	必要な場面では参考となる資料を配布する。								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】対象児（者）発達と生活関する基本的な知識を有している								
LO-2	【技能】対象児（者）に親和的にかかわり、環境設定や保健・安全面に配慮した支援が行える								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】個々の対象児（者）に対する具体的理解を深め、適切な援助の方法を考察することができる								
LO-4	【関心・意欲・態度】参加実習に主体的に取り組み、実習日誌に的確に記述できる								
LO-5	【人間性・社会性】時間や規則を守るとともに、マナーや正しい言葉づかいに心がけ、職員等と対応することができる								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						20			20
LO-3						20	10		30
LO-4						20	10		30
LO-5						10			10
備考	その他：（A）実習先施設による評価80% （B）学科教員による実習日誌の評価20% 右記のアクティブラーニングを半分以上実施します：実習								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	初日オリエンテーション（学外社会福祉施設での実習第1回～第15回）	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第2回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第3回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第4回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第5回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第6回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第7回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第8回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第9回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第10回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分

第11回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第12回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第13回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第14回	学外社会福祉施設での実習を主とする	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第15回	実習のまとめ、反省会、実習後協議	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、実習事後レポートの作成、今後の反省と課題の抽出	0分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習	担当教員名	石動 瑞代						
実務経験									
開講時期	2年通年	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【 総合演習（保育）】 保育実習や短大での講義、日常生活場面で感じた、保育や子育てについての疑問や問題意識を整理し、子どもの育ちや親子関係についての関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。保育現場での実践に役								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能・表現】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考・判断】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【社会性・人間性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 提出課題に対しては口頭及び紙面によるコメントのほか、対話を通して、さらなる探究に結びつけるようにする。 「その他 A」は、「研究への取り組み」とする。「 研究レポート 30%、 発表会の内容 15%、 中間発表								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	30分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える(シート作成)	60分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	30分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	60分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】研究計画書の作成	45分
	【復習】授業で指摘された点を改善し、研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】調査項目を検討する。調査の参考となる文献を探して、紹介する準備をする	30分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する。 調査項目を決定する。	60分
第10回	○調査準備 調査用紙や観察、インタビューのための準備を行う	
	【予習】参考文献を探す	45分
	【復習】調査用紙の準備（印刷等）を完成させる	45分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】研究内容の構成を再確認する。	30分
	【復習】中間発表のスライド構成を考える	60分
第12回	○調査の実施 観察、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】調査対象に関する再確認、連絡調整を行う	30分
	【復習】調査を実施する	60分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】すでに調査した内容は、ナンバリング等、分析する準備をする。 今後の調査に向けた調整をする。	30分
	【復習】調査を実施する	60分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】調査結果にナンバリングや項目をつけておく	30分
	【復習】調査結果を整理する	60分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】ポスター発表に必要な図表や写真を準備する。	30分
	【復習】ポスター発表の準備を完了する	60分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】中間発表ポスターの構成を再確認する。現時点での今後の研究計画を再確認する。	15分
	【復習】中間発表のポスターを制作する	75分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、教員及び班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】ポスターの内容について、教員に説明する準備を班員館で確認する。	0分
	【復習】中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】中間発表ポスターの展示準備をする。	30分
	【復習】ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	60分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】これまでの調査と今後の調査からわかることの仮説を再検証する。	30分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	60分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	45分
	【復習】調査結果を個人的に分析しておく。	45分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】すべての調査結果を確認しておく。	30分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	60分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】記録集原稿執筆にあたり、班員で内容や分担を再確認する。	30分
	【復習】記録集原稿を執筆する	60分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】記録集原稿を執筆する。	45分
	【復習】記録集原稿を執筆する	45分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】記録集原稿の仮提出を行う	30分
	【復習】記録集原稿を執筆する	60分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】記録集原稿の校正と修正を行う	30分
	【復習】記録集原稿を完成させる	60分
第26回	記録集原稿の校正及び完成、調査協力者への報告準備	
	【予習】調査協力者リストの作成と礼状準備、報告内容の再確認をする。	45分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】発表の構成を考える	20分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	70分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】仮発表の準備をする。	30分
	【復習】プレゼンテーション資料の再検討、発表原稿の再調整を行う。	60分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】発表内容の準備（時間内に的確な説明となっているか）	45分
	【復習】プレゼンテーション資料及び発表原稿を修正する。	45分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】プレゼンテーションの準備をする。	45分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習				科目コード	C161-10			
科目区分	専門科目 - 総合演習			担当教員名	中山 里美				
実務経験									
開講時期	2年通年			授業の方法	演習				
必修・選択	選択			単位数	2単位				
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	造形表現：自らの問題意識を整理し、造形表現に関連する研究課題を設定する。設定した研究課題に応じて、制作や実践、調査活動に取り組み分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他 A」は、「研究への取り組み」とする。 「研究レポート 30%、発表会の内容 15%、中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	難波 純子					
実務経験									
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育内容（音楽表現指導法）		後継科目						
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習：音楽表現】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を受け、研究結果をまとめ、発表する。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班のテーマに応じてその都度指示する。								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他 A」は、「研究への取り組み」とする。 「 研究レポート 30%、 発表会の内容 15%、 中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	明柴 聡史					
実務経験	保育士、児童指導員として、社会福祉法人で13年間勤務。児童虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、児童家庭福祉の現状と課題、児童福祉施設の機能と役割を理解で								
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	子ども家庭福祉、社会的養護 ・ 、特別支援論		後継科目						
関連科目	子育て支援、保育者論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習（福祉）】 福祉の理念・制度・方法にかかわるテーマから、自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【社会性・人間性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他 A」は、「研究への取り組み」とする。 「 研究レポート 30%、 発表会の内容 15%、 中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】1年生で学んだ保育の振り返り、現在の子ども家庭福祉の課題について考え、自らの興味・関心を整理する。	45分
	【復習】こども家庭福祉、社会的養護、子育て支援、保育者論等担当教員の専門分野から関心のあるテーマやキーワードをあげる。	45分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	45分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	45分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	45分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	45分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】研究計画書の作成手順を事前に調べて下書きしておく。	45分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】調査対象施設の候補を検討する。	45分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	45分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】調査施設の連絡先や候補日を検討しておく。	45分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	45分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】中間発表に向けたデータの収集を行う。	45分
	【復習】中間発表のためのスライドづくりを計画する。	45分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】継続して必要な調査があれば実施するため、準備する。 調査が終わっている場合は、中間報告のためのデータを分析する。	45分
	【復習】調査を実施する データを分析する	45分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】継続して必要な調査があれば実施するため、準備する。 調査が終わっている場合は、中間報告のためのデータを分析する。	45分
	【復習】調査を実施する データを分析する	45分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】調査結果をスクリーニングする	45分
	【復習】調査結果を整理する	45分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】調査データを整理する	45分
	【復習】ポスター発表の準備を完了する	45分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】中間発表に必要な資料を準備する	45分
	【復習】中間発表のポスターを制作する	45分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】中間発表に必要な資料を準備する	45分
	【復習】中間発表のポスターを完成させる	45分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】ポスター掲示を行う	45分
	【復習】ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】中間発表までに分析、考察できていないデータを整理しておく	45分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	45分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】中間発表までに分析、考察できていないデータを整理しておく	45分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	45分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】報告書の全体像を考えておく。 図、表、写真など必要なものを検討する。	45分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	45分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】報告書作成に必要な資料を準備する	45分
	【復習】記録集原稿を執筆する	45分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】報告書作成に必要な資料を準備する	45分
	【復習】記録集原稿を執筆する	45分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】報告書作成に必要な資料を準備する	45分
	【復習】記録集原稿を執筆する	45分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】報告書作成に必要な資料を準備する	45分
	【復習】記録集原稿を完成させる	45分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】調査協力者への報告の準備を行う発送準備のため住所等を調べておく	45分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】発表に向けたデータを整理しておく	45分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	45分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】グループで発表を行う場合は、役割を分担する 個人の場合はPowerPointの確認と読み原稿の作成を行う	45分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	45分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】PowerPointの確認と読み原稿の作成を行う	45分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	45分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】事前にリハーサルを行う	45分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習				科目コード	C161-10			
科目区分	専門科目 - 総合演習			担当教員名	嶋野 珠生				
実務経験									
開講時期	2年通年			授業の方法	演習				
必修・選択	選択			単位数	2単位				
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習(心理)】 子どもを取り巻く課題、子育て期の保護者を取り巻く課題、特に発達や心理的な問題に関わるテーマから、自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な心理学の調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表する。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察し、表現することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他 A」は、「研究への取り組み」とする。提出課題に対しては口頭及び紙面によるコメントのほか、対話を通して、さらなる探究に結びつけるようにする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	総合演習ガイダンス 配属先希望調査書の作成と提出	
	【予習】自分の関心ある分野について調べる	60分
	【復習】教員のゼミ紹介を振り返り、自分の関心分野を選択する	30分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	30分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	60分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	45分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	45分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】選択した調査方法、調査対象について整理しておく	45分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】研究計画書に沿って調査手続きを開始する	60分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】調査用紙の項目作成	60分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】調査用紙の項目完成	60分
	【復習】中間発表に向けてのオリエンテーション資料の復習	45分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】調査実施に係る準備を行う	60分
	【復習】調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】調査の継続	60分
	【復習】調査を実施する	180分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】調査データを回収し整理する	60分
	【復習】調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】調査結果の整理	120分
	【復習】ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】ポスター制作継続	120分
	【復習】中間発表のポスターを制作する	180分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】ポスターの製作継続	120分
	【復習】中間発表のポスターを完成させる	180分
第18回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	60分
	【復習】調査結果を分析、まとめる準備をする	60分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】調査結果を分析、まとめる準備をする	60分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】調査結果のまとめ継続	120分
	【復習】原稿の書き方に即して着手始める	60分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】調査結果をまとめる作業継続	120分
	【復習】原稿の書き方に即して執筆	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】記録集原稿の執筆開始	60分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】記録集原稿を執筆する	60分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】教員やゼミメンバーと討議しながら修正する	60分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】教員やゼミメンバーと討議しながら修正する	60分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】プレゼンテーション資料の準備に取り掛かる	60分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】プレゼンテーション資料を作成する	60分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】プレゼンテーションの練習	60分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】プレゼンテーション資料の作成継続	60分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】発表の練習	60分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	60分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	塩見 一成					
実務経験	中学校・高等学校で教員として29年勤務した経験から得た知見や技術を活かし、授業の中で保育者として必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習（体育・健康）】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。 本ゼミナールでは、運動・健康等の分野を扱う。研究テーマに基き班分けを行った後、班ごとに学生・教員間で意見交換								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	参考図書：倉・大森 編 『子どもが育つ運動遊び』 みらい、 三木四郎『器械運動の動感指導と運動学』 明和出版 岩崎祥子 編 『保育と幼児期の運動遊び』 萌文書林、 宇野文博『新版 遊びの指導』 同文書院								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。「その他A」は、「研究への取り組み」とする。「研究レポート30%、発表会の内容15%、中間発表15%、研究への取り組み40%」で総合的に評価する。グループワーク、フィールドワーク、ディスカッションなどのアクティブラーニングを半分以上の授業で実施する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習				科目コード	C161-10			
科目区分	専門科目 - 総合演習			担当教員名	日光 恵利				
実務経験									
開講時期	2年通年			授業の方法	演習				
必修・選択	選択			単位数	2単位				
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習：保育・教育】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を受け、研究結果をまとめ、発表する。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班のテーマに応じてその都度指示する。								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他 A」は、「研究への取り組み」とする。 「研究レポート 30%、発表会の内容 15%、中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	○オリエンテーション（１） 総合演習の全体像について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション（２） 問題意識を整理し、取り組みたいテーマを検討する	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する ・ Google Scholarでキーワード検索を試みる	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める Google Scholarで文献を検索する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習				科目コード	C161-10			
科目区分	専門科目 - 総合演習			担当教員名	四杉 昭康				
実務経験									
開講時期	2年通年			授業の方法	演習				
必修・選択	選択			単位数	2単位				
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習(教育)】 幼児期の教育に関わるテーマから、自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他 A」は、「研究への取り組み」とする。 「研究レポート 30%、発表会の内容 15%、中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	総合演習			科目コード	C161-10				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	山田 尚平					
実務経験	公立中学校で教員として15年間勤務した経験を生かし、各講義で英語運用能力の育成ができるよう指導を行う。								
開講時期	2年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	保育・教職実践演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	【総合演習（国際理解）】 自らの問題意識を整理し、関連文献を読み進めることで研究課題を設定する。設定した研究課題について、適切な調査方法を選び、調査・分析・考察を行う。演習形式で個別的・継続的に指導を行い、研究結果をまとめ、発表させる。 本ゼミナールでは、国際理解等の分野を扱う。研究テーマに基き班分けを行った後、班ごとに学生・教員間で意見交換を								
学習目標	「生きる力の基礎を育成する」ことを基本に、人間尊重の精神や環境、社会問題などから、自ら研究課題を設定し、現状分析・調査・検討を通して問題解決を図る能力を養う。								
キーワード	研究課題 研究の目的 研究の方法 結果と考察 研究の意義								
テキスト・ 参考書等	共通参考文献・ウェブサイトは、各班の研究テーマに応じて、その都度、指示する。								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる乳幼児や家庭、保育の内容や方法についての専門的知識を習得している。								
LO-2	【技能】研究課題について、適切な研究方法を選び分析・調査・検討を行うとともに、結果を正確にまとめ、分かりやすく発表することができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】研究課題について、設定理由と目的を明らかにするとともに、研究結果を論理的に考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】設定した研究課題を多様な価値観や社会状況の中でとらえ、課題解決にむけて継続して取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】他者と研究課題について話し合い、協働して研究に取り組むことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		30	40			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自ら研究課題を見つけ、主体的に調査・研究を進めること。また、研究内容に応じた研究計画を立案し、見通しを持って計画に取り組むこと。 「その他 A」は、「研究への取り組み」とする。 「 研究レポート 30%、 発表会の内容 15%、 中間発表 15%、研究への取り組み 40%」で総合的に評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	配属調整	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	○オリエンテーション 総合演習全体について	
	【予習】自らの関心について把握する	15分
	【復習】自らの関心を整理し、研究課題を考える	30分
第3回	○研究課題の検討と設定 教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を明確化する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第4回	研究課題の検討と設定 資料を収集したり教員やゼミのメンバーとの議論を通じて、自身の関心を研究課題として明確化し、検討する	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読む	45分
第5回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題に関わる文献調査等を進める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を探す	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第6回	○研究内容の検討と計画の立案 文献調査等の結果をゼミ内で発表し、議論を深める	
	【予習】研究課題に関連する文献や資料を収集する	45分
	【復習】研究課題に関連する文献や資料を読んで、ポイントをまとめる	45分
第7回	○研究内容の検討と計画の立案 教員の指導を受けながら、調査対象・調査方法を選択する	
	【予習】調査方法やおおまかな研究計画の構想を描く	15分
	【復習】選択した調査方法、調査対象について整理し、理解を深める	30分
第8回	○研究内容の検討と計画の立案 研究課題、研究の目的、調査方法及び対象、スケジュールなどを研究計画書としてまとめる	
	【予習】	0分
	【復習】研究計画書を完成させる	45分
第9回	○調査準備 調査の依頼などの手続きを行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査依頼の手続きを完了する	90分
第10回	○調査準備 調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を行う	
	【予習】	0分
	【復習】調査用紙や実験装置、観察用具などの準備を完成させる	180分

第11回	○オリエンテーション 「中間発表」に向けての全体オリエンテーションを行う	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	○調査の実施 観察、実験、質問紙、面接等、調査方法の特性に即して調査を実施する	
	【予習】	0分
	【復習】調査を実施する	180分
第13回	○調査の実施 調査を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】調査を実施する	90分
第14回	○調査の実施 調査の実施と並行して、結果の整理を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果を整理する	180分
第15回	○調査の実施 途中経過を中間発表に向けてまとめ、ポスター発表の準備をする	
	【予習】	0分
	【復習】ポスター発表の準備を完了する	180分
第16回	○中間発表の準備 途中経過をまとめ、中間発表のポスターを制作する	
	【予習】	0分
	【復習】中間発表のポスターを制作する	90分
第17回	○中間発表の準備 ポスター制作の中で、班員と問題意識の明確化を図り、進行状況を確認する	
	【予習】	0分
	【復習】中間発表のポスターを完成させる	90分
第18回	○中間発表 発表を行い、意見交換をする	
	【予習】	0分
	【復習】ポスター発表を振り返り、今後の課題を把握する	45分
第19回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第20回	○オリエンテーション 調査結果のまとめ方、記録集原稿の書き方について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第21回	○結果の整理と考察 調査結果を分析し、考察する	
	【予習】	0分
	【復習】調査結果をまとめる（図、表、文章等）	135分
第22回	○記録集原稿の作成 調査結果を論文形式にまとめ、記録集原稿執筆を開始する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第23回	○記録集原稿の作成 記録集原稿の執筆を継続する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第24回	○記録集原稿の作成 記録集原稿を教員やゼミのメンバーと検討する	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を執筆する	90分
第25回	記録集原稿の作成 記録集原稿の再検討・修正を行い、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】記録集原稿を完成させる	180分
第26回	記録集原稿の作成、調査協力者への報告準備	
	【予習】	0分
	【復習】調査協力者への報告の準備を行う	45分
第27回	○発表会準備 発表会に向け、プレゼンテーション資料を作成する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する	135分
第28回	○発表会準備 ゼミ内でプレゼンテーションをし、プレゼン方法を検討する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を作成する。	90分
第29回	発表会準備 プレゼンテーション資料を修正し、完成させる	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーション資料を完成させる	90分
第30回	○発表会 研究結果を発表し、議論する	
	【予習】	0分
	【復習】プレゼンテーションを振り返り、反省する	45分

授業科目名	保育・教職実践演習			科目コード	C161-20				
科目区分	専門科目 - 総合演習		担当教員名	明柴 聡史 嶋野 珠生 日光 恵利 四杉 昭康					
実務経験	(日光)保育士として公立保育所に7年間勤務した経験を生かし、保育所等の役割や保育士の職務を学ぶことの意義について授業の中で解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育関連科目、幼稚園教諭関連科目		後継科目						
関連科目	総合演習								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	幼稚園教諭・保育士に求められる資質能力について、現場保育者の実践を聞き、グループ討議・発表を通して具体的に学ぶ。 。また、幼稚園教諭二種免許及び保育士資格関連科目の履修状況や、保育・教育実習等を通しての学びをふまえ、必要な資質能力が自らに統合・形成されているかを、確認する。								
学習目標	保育者（幼稚園教諭・保育士）に必要な資質能力について、現場保育者の実践に触れることを通じて具体的に理解する。 自らのこれまでの学びを振り返り、必要な資質能力が身についているか確認する。 必要な資質能力を身につけるための自己課題を見出し、改善のための方法を検討する。								
キーワード	社会性・対人関係能力 乳幼児理解とクラス経営 保育内容等の指導力 使命感・責任感 教育的愛情と感性 保育実践								
テキスト・ 参考書等	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベル館 『保育所保育指針解説』 厚生労働省 フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳幼児期の保育・教育全般及び子どもの発達等に関する知識を習得し、活用することができる。「使命感・責任感、教育的愛情と感性」「社会性・対人関係能力」「乳幼児理解とクラス経営」「保育内容等の指導力」の具体的な								
LO-2	【技能】 保育環境や教材を分析し、「保育のねらいと子どもの姿に応じた保育」を構想する力を身につけている。また、保育を行う上での基本的な表現技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 現代的な保育課題に関心を持ち、考察することができる。また、自らを省察し、必要な力が身についているかを確認するとともに、自己課題を見だし、その解決法を検討することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 子どもの状況に応じた保育実践をめざして、保育の現状や自らの保育を振り返り、適切な評価を行えるよう努めている。教育的愛情と感性を深めることを意識し、努力しようとする。								
LO-5	【人間性・社会性】 自らの意見をもち、他者に的確に伝えると同時に、他者の意見に耳を傾け、協力して課題に取り組むことができる。また、グループ内での役割を適切に遂行することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20		40	20	20		100
LO-1			20						20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5							20		20
備考	その他A：履修カルテ（自己課題と改善策） B:グループワークの取り組み姿勢 提出された課題には口頭もしくはGoogle Classroomでコメントを行い返却する。 適宜、グループワークを行い全体共有として、プレゼンテーションを行う。 この他、プレゼンテーション、 フィールドワーク、 ディスカッション、 ディベート、を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 授業内容の説明 履修カルテの記入	
	【予習】保育士関連科目、幼稚園教諭関連科目を振り返る。	45分
	【復習】自分の住む市町村の子育て支援施設について調べておく	45分
第2回	地域の子育て支援施設の機能と役割について理解する	
	【予習】各居住地の子育て支援施設についてインターネット調査する	45分
	【復習】フィールドワーク前に子育て支援施設についてワークシートにまとめる	45分
第3回	地域の子育て支援施設の機能と役割について - フィールドワーク 現地にてフィールドワークのため、第3回、第4回はセット授業です。	
	【予習】各居住地の子育て支援施設についてフィールドワークの準備を行う	45分
	【復習】フィールドワークで学んだこと、聞いたことをワークシートにまとめる	45分
第4回	地域の子育て支援施設の機能と役割について - フィールドワーク 現地にてフィールドワークのため、第3回、第4回はセット授業です。	
	【予習】各居住地の子育て支援施設についてフィールドワークの準備を行う	45分
	【復習】フィールドワークで学んだこと、聞いたことをワークシートにまとめる	45分
第5回	フィールドワーク 振り返り - 現状と課題、利用者のニーズと職員からの声を踏まえて フィールドワークの振り返りをグループワークで行うため、第5回、第6回はセット授業です。	
	【予習】フィールドワークの結果をまとめておく	45分
	【復習】他学生の意見を踏まえ、自分の考えを整理する 自分の住む市町村の子育て支援等の課題を理解する。	45分
第6回	フィールドワーク 振り返り - 現状と課題、利用者のニーズと職員からの声を踏まえて フィールドワークの振り返りをグループワークで行うため、第5回、第6回はセット授業です。	
	【予習】フィールドワークの結果をまとめておく	45分
	【復習】他学生の意見を踏まえ、自分の考えを整理する 自分の住む市町村の子育て支援等の課題を理解する。	45分
第7回	フィールドワーク についての説明 〇〇園を選定する。フィールドワークの4つのテーマについての説明	
	【予習】2回目のフィールドワークで行く保育施設を考えておく	45分
	【復習】フィールドワーク先が決まった学生は当該施設について事前にHP等で調査しておく	45分
第8回	保育施設の機能と役割について - フィールドワーク 現地にてフィールドワークのため、第8回、第9回はセット授業です。	
	【予習】各居住地等の保育施設についてフィールドワークの準備を行う	45分
	【復習】フィールドワークで学んだこと、聞いたことをワークシートにまとめる	45分
第9回	保育施設の機能と役割について - フィールドワーク 現地にてフィールドワークのため、第8回、第9回はセット授業です。	
	【予習】各居住地等の保育施設についてフィールドワークの準備を行う	45分
	【復習】フィールドワークで学んだこと、聞いたことをワークシートにまとめる	45分
第10回	保育の理念と社会的・制度的理解(明栄) ○ ○ 園の保育方針と制度面を調べ、ワークシートを作成する。	
	【予習】園のHPや案内パンフレット等を探しておく。	45分
	【復習】ワークシートを完成させる。	45分

第11回	〇〇園の子どもの権利を尊重した保育のための取組について グループワークでの共有と発表（嶋野）	
	【予習】フィールドワークで調べてきたことをワークシートにまとめておく。子どもの権利条約、障害者権利条約を見直しておく。	45分
	【復習】グループで共有した取組について振り返る。	45分
第12回	保育形態について各園の実践から学ぶ	
	【予習】フィールドワークで使用したワークシートをまとめておく。	45分
	【復習】保育の実際や課題を知り、様々な保育形態への理解を深める。	45分
第13回	フィールドワーク2 振り返り 〇〇園の幼保小連携・接続のための取り組みについて。	
	【予習】フィールドワーク2の課題レポートを完成させ、発表の準備をする。	45分
	【復習】フィールドワークや発表を通じて、小学校との円滑な接続への理解を深める。	45分
第14回	特別講義 まちづくりと子育て支援(仮) 外部講師を招聘し講義と質疑応答を行う 第14回、第15回の授業はセット授業とする	
	【予習】自分の町の子育て支援施策の特徴や子育てを取り巻く課題を調べておく	45分
	【復習】講義の内容をまとめ、レポートする。 質問があれば記載する。	45分
第15回	特別講義 まちづくりと子育て支援(仮) 外部講師を招聘し講義と質疑応答を行う 第14回、第15回の授業はセット授業とする	
	【予習】自分の町の子育て支援施策の特徴や子育てを取り巻く課題を調べておく	45分
	【復習】講義の内容をまとめ、レポートする。 質問があれば記載する。	45分

授業科目名	日本国憲法			科目コード	C511-11				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文・社会科学系		担当教員名	彼谷 環					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	日本国憲法の制定過程をたどり、人権主体の多様化について具体的事例を紹介する。また、国会・内閣・裁判所等の統治機構が、本来は人権を守るための役割を持つことの理解を深めていく。								
学習目標	人権の種類と性格を学ぶとともに、「人権を行使する」ということの意味と重要性を理解する。憲法が、国民と権力担当者との契約であることを認識する。								
キーワード	基本的人権 国民主権 平和主義 人権とAI グローバリゼーション								
テキスト・ 参考書等	橋本勇人編『保育と日本国憲法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	主権者として人権の重要性について理解するとともに、日本国憲法の理念が実社会でどのように実現しているか認識できる。								
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70				30		100
LO-1			70				30		100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	評価方法 / その他Bは、講義に取り組む態度を評価する。 また、最近の社会的事象についてコメントを書く課題を不定期に実施し評価に含める。 上記の学生へのフィードバックは、授業冒頭で口頭にて行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス・憲法とはなにか——私たちの暮らしのなかの憲法	
	【予習】気になる憲法ニュースを調べてくる	90分
	【復習】テキストを読み、授業中の説明を含めてノートをまとめる	90分
第2回	日本国憲法の制定過程を学ぼう	
	【予習】テキストの該当ページを読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめ、理解を深める	90分
第3回	法の下での平等——4つの平等と合理的区別	
	【予習】テキストp.68～72を読む。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめ、理解を深める	90分
第4回	信教の自由と政教分離	
	【予習】テキストp.84～88を読む。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめ、理解を深める	90分
第5回	表現の自由の意義と制約	
	【予習】テキストp.95～99を読む。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめ、理解を深める	90分
第6回	経済的自由権と職業選択の自由	
	【予習】テキストp.104～108を読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめ、理解を深める	90分
第7回	「健康で文化的な最低限度の生活」とは	
	【予習】テキストp.114～122を読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめ、理解を深める	90分
第8回	子どもの権利条約	
	【予習】最近の子どもをとりまくニュースについて調べておく	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめ、理解を深める	90分
第9回	働く者の権利	
	【予習】テキストp.136～141を読む	90分
	【復習】テキストp.142「考えてみよう」の問題に取り組み、意見を提出する	90分
第10回	国会の権能	
	【予習】テキストp.144～151を読む	90分
	【復習】権力分立の仕組みがなぜ必要なのか、その理由をノートにまとめる	90分

第11回	内閣の権能・議院内閣制と大統領制の違い	
	【予習】テキストp.153～156を読む	90分
	【復習】日本が採用する議院内閣制を整理し、ノートにまとめる	90分
第12回	裁判員制度に関する映画を視聴する	
	【予習】最近報道された裁判についてノートにまとめる	90分
	【復習】感想を書き、指定フォルダに投稿する（800字程度）。	90分
第13回	裁判所の仕組み	
	【予習】テキストp.160～167を読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめ、理解を深める	90分
第14回	裁判官の独立	
	【予習】テキストp.160～167を読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめ、理解を深める	90分
第15回	地方自治について	
	【予習】テキストp.156～157を読む	90分
	【復習】本日の授業の感想を書く。	90分

授業科目名	国際理解			科目コード	C511-12				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文・社会科学系		担当教員名	山田 尚平					
実務経験	公立学校勤務								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許（選必） 保育士資格（選必）								
授業の概要	多文化社会が複雑さを増すなか、様々な「ちがい」を理解し、味わいあう資質が求められる。様々な実例に触れながら、国際理解の基礎知識を学び、保育現場における課題と向き合う資質・能力を養う。								
学習目標	1．国際理解に関する基礎的知識を習得する。 2．海外ルーツをもつ子どもたちについて理解を深める。								
キーワード	国際理解、国際交流、海外ルーツをもつ子ども、SDG s								
テキスト・ 参考書等	[テキスト] 未定 決定次第連絡								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 国による文化の違いを理解するうえで必要な知識を習得している。								
LO-2									
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 国際理解について、判断材料となる情報や資料を活用できる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 様々な文化に関心を持ち、主体的に調べ、考察することができる。								
LO-5	【人間性・社会性】 ディスカッションを通して他の学生と意見を交換しながら、学びを深めることができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80			20			100
LO-1			20			5			25
LO-2									
LO-3			20			5			25
LO-4			20			5			25
LO-5			20			5			25
備考	授業への参加・課題の状況 [その他、 A]								
	【アクティブラーニング】 ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業オリエンテーション	
	【予習】本時内容について調べておく。	30分
	【復習】授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	15分
第2回	世界がもし100人の村だったら	
	【予習】 本時内容について調べておく。	30分
	【復習】授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	15分
第3回	異文化を理解する	
	【予習】本時内容について調べておく。	30分
	【復習】 授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	15分
第4回	異文化を理解する	
	【予習】 本時内容について調べておく。	30分
	【復習】 授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	15分
第5回	国際交流をはじめよう	
	【予習】本時内容について調べておく。	30分
	【復習】授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	15分
第6回	国際交流をはじめよう	
	【予習】本時内容について調べておく。	30分
	【復習】授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	15分
第7回	国際交流実践	
	【予習】 本時内容について調べておく。	30分
	【復習】 授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	15分
第8回	SDGs	
	【予習】本時内容について調べておく。	30分
	【復習】授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	15分
第9回	海外ルーツをもつ子ども	
	【予習】本時内容について調べておく。	30分
	【復習】授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	15分
第10回	海外ルーツをもつ子ども	
	【予習】本時内容について調べておく。	30分
	【復習】授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	15分

第11回	教室からPeaceを創る	
	【予習】本時内容について調べておく。	30分
	【復習】授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	15分
第12回	教室からPeaceを創る	
	【予習】本時内容について調べておく。	30分
	【復習】授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	15分
第13回	教室からPeaceを創る	
	【予習】本時内容について調べておく。	30分
	【復習】授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	15分
第14回	国際交流実践	
	【予習】本時内容について調べておく。	30分
	【復習】授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	15分
第15回	学習のまとめ	
	【予習】第1～14回で学んだことの見直しを行う。	30分
	【復習】第1～15回で学んだことの総復習を行う。	15分

授業科目名	運動と健康			科目コード	C515-11				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 健康・スポーツ	担当教員名	塩見 一成						
実務経験	中学校・高等学校で教員として29年勤務した経験から得た知見や技術を活かし、授業の中で保育者として必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目	健康スポーツ								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	講義を通して、運動と健康・体力の関連について理解を深めるとともに、高齢化の進展や生活習慣病の蔓延が著しい現代社会において、健康で豊かな生活を築き上げるために運動やスポーツの持つ意義や役割について考える。								
学習目標	現代社会の特徴を健康面から理解するとともに、個人の健康・体力づくりに適合した運動の理論や内容、動きの構造を理解し、具体的に示せるようにする。								
キーワード	健康・体力づくり、生活習慣病、動きの構造								
テキスト・ 参考書等	教科書・参考書：宮本忠男(2023)「子どものやってみたいを育てるみやもっち体育」(株)クリエイツかもがわ 参考図書：三木四郎(2005)「新しい体育授業の運動学」(株)明和出版								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	現代社会の特徴を捉え、健康・体力づくりや生活習慣病の予防に対する運動の必要性を理解している。運動と健康の関連や体力づくりのメカニズム、トレーニング理論を理解している。個人の健康・体力づくりに適合した運動処方の理論や内容、								
LO-2									
LO-3	健康や体力に関する諸課題を発見し、関連する知識や情報を分析して考察することができる。								
LO-4	健康や体力に関する諸課題を自らのこととして関心を持ち、自分の改善策をレポートすることができる。								
LO-5	健康や体力に関する知識を協力・協働に昇華させ、社会性の向上に役立てることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		40	60						100
LO-1		40	20						60
LO-2									
LO-3			15						15
LO-4			20						20
LO-5			5						5
備考	毎授業後に、その時間のまとめレポートを作成する。 各々の授業では学びを深めるために、アクティブラーニングを半分以上の授業で実施する。 小テストは最後の時間に実施する。 授業への参加態度を考慮して評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、健康と体力の概念、「身体を動かす」とは	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	40分
	【復習】授業の評価方法を理解する。「身体を動かす」及び、「遊び」についての理解を深める。	60分
第2回	身体の動きを運動学的に分析する	
	【予習】教科書P.006～P.009を読んでおく。	60分
	【復習】現代の社会背景や国民の傷病の現状を確認する。現代における健康・体力づくりの意義について理解する。	60分
第3回	「健康」についての理解を深める 健康の定義とは	
	【予習】運動やスポーツが健康に及ぼす影響について調べる。	60分
	【復習】講義内容を踏まえ、運動やスポーツが健康に及ぼす影響について理解を深める。	60分
第4回	運動と発育発達 子どもの運動体力・運動能力	
	【予習】体力の向上について調べる。	60分
	【復習】体力の向上とは何を意味するのか。子どもの体力調査の変遷から現代の子どもを理解する。	60分
第5回	生活習慣病と運動	
	【予習】生活習慣病及び、現代の疾病について調べておく。	60分
	【復習】健康の維持増進に必要な内容をまとめる。	60分
第6回	栄養と基礎代謝	
	【予習】食事とダイエットについて調べておく。	60分
	【復習】健康に日々を送るための食事と運動について理解を深める。	60分
第7回	運動と健康 トレーニングの基本原理について	
	【予習】体力の向上について調べる。	60分
	【復習】体力が向上するとは、具体的に筋機能や呼吸循環機能がどのように変化するのかを理解する。	60分
第8回	健康に日々を送るために、これまでの講義を振り返る。 小テスト	
	【予習】これまでの講義を踏まえ、興味ある内容について考える。	90分
	【復習】運動と健康の小テスト及び期末レポート作成からこの講義を振り返り、新たな視点から学びを深化させる。	440分

授業科目名	健康スポーツ			科目コード	C515-12				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 健康・スポーツ		担当教員名	塩見 一成					
実務経験	中学校・高等学校で教員として29年勤務した経験から得た知見や技術を活かし、授業の中で保育者として必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	運動と健康								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	健康スポーツとして、生涯にわたり身体を動かすことを楽しみ、より健康に生活できるようになるための運動を行う。ネット型・ゴール型ボールゲームを主に行う、またストレッチや自重トレーニングを実践し心地よさを感じるとともに心と体の調和をとることができるようなプログラムを実践する。ボールゲームにおいては、様々なゲームを楽しみながら技術を向上させるとともに、仲間づくりや自分の身体との対話も楽しめるような力を養う。								
学習目標	スポーツやそのほかの運動を通じて、上達する楽しさや体を動かす心地よさ、仲間づくりの大切さを感じられるようにする。スポーツや運動を授業だけではなく人生の一部として取り入れられるようにしたい。								
キーワード	心地よさ 仲間づくり ネット型スポーツ ゴール型スポーツ 身体を整える								
テキスト・ 参考書等	参考図書：「子どものやってみたいを育てるみやもち体育」 宮本忠男著 クリエイトかもがわ、 「子どもが育つ運動遊び」倉ほか みらい								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	健康が活動の土台であることを理解し、自ら健康の維持に努めようとする。身体への適切な負荷のかけ方や自身の身体への対話方法を見つけるように努める。								
LO-2	ボールや用具の使い方において基本的な技術を身につける。自分に合った運動強度を知りその能力向上に努める。								
LO-3	チームプレーでの課題を見出しその解決に努められるようにする。苦手な運動要素についてその課題を克服できるような方法を知る。								
LO-4	自分の身体を知り向上させることにより自己肯定感が高まる。ルールを守り仲間とともに活動することにより互いを認め合い粘り強く取り組めるようになる。								
LO-5	健全な友達関係を構築しそのほかの授業においても互いに尊重し合い活動できるようにする。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						15			15
LO-2						15			15
LO-3						20			20
LO-4						30			30
LO-5						20			20
備考	その他Aについて：LO1.5は、ミニッツペーパー・レポートの提出及び活動の状況を見て総合的に判断する。 LO3 . 4は、チームプレーでの勝敗や活動の主体性を見て判断する。LO2は、ラケットやボール操作技術、基礎的な運動についての能力向上の状態を見て評価する。LO4では、授業におけるルールの遵守についても評価する。グループワーク、ディスカッションなどのアクティブラーニングを半分以上の授業で実施する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 内容 評価 グループ分け 服装 シューズ 着替えなど	
	【予習】体育館の場所 ロッカー 更衣室 など場所を確認すること	45分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する	0分
第2回	バドミントン 基本の打ち方 ゲームの進め方	
	【予習】バドミントンについて興味を持ち、歴史やゲーム方法を調べるおくこと	45分
	【復習】バドミントンの用語やルールについて、理解を深める	0分
第3回	バドミントン 基本の打ち方を練習する ゲームに活用できるようにする ゲームをする	
	【予習】様々な打ち方とその方法を調べておくこと	45分
	【復習】バドミントンの用語やルールについて、理解を深める	0分
第4回	バドミントン ダブルス ゲーム	
	【予習】ダブルスのゲームの進め方について予習しておくこと	45分
	【復習】バドミントンの用語、オリンピックについての知識を整理し、理解を深める	0分
第5回	バドミントン チーム対抗戦	
	【予習】バドミントンの用語、チーム対抗戦のため、チーム内でのペアリングと対戦時のオーダーを考えておくこと	0分
	【復習】バドミントンの用語、ルールと様々なゲームの進め方について理解を深める	0分
第6回	テニス 基本の打ち方 ゲームの進め方	
	【予習】テニスについて興味を持ち、歴史やゲーム方法を調べておくこと	0分
	【復習】テニスの用語とルールについて、理解を深める	0分
第7回	運動する時の動きの発生と分析について	
	【予習】直ぐにできた動きやなかなかできなかった動きを振り返り、まとめておく	45分
	【復習】動きの分析方法について整理してまとめ、理解を深める	0分
第8回	テニス 基本の打ち方を練習する ゲームに活用できるようにする ゲームをする	
	【予習】様々な打ち方とその方法を調べておくこと	45分
	【復習】テニスの用語やルールについて、理解を深める	0分
第9回	テニス ダブルス ゲーム	
	【予習】ダブルスのゲームの進め方について予習しておくこと	20分
	【復習】テニスの用語、ルールと様々なゲームの進め方について理解を深める	25分
第10回	身体のコンディションチェック ストレッチ ヨガの実践	
	【予習】体力の要素について調べておくこと	0分
	【復習】ストレッチ、ヨガ、体力の要素について理解を深める	0分

第11回	ネット型ボールゲーム バレーボールのアレンジゲームの実践	
	【予習】幅広い年齢層で楽しめるアレンジの方法について、調べておくこと	0分
	【復習】様々なアレンジの方法について理解を深める	0分
第12回	レクリエーションスポーツの実践（集団での動きについて）	
	【予習】初めてペアを組むなど、気持ちの良い人との関わり方について考えておこう。	0分
	【復習】参加者全員が気持ちよく参加する方法について理解を深める	0分
第13回	ゴール型ボールゲーム バスケットボール、サッカーのアレンジ方法の実践	
	【予習】ゴールインするまでのプロセスを考えておくこと	0分
	【復習】参加者全員が楽しめるアレンジの方法について理解を深める	0分
第14回	ゴール型のスポーツ、レクリエーションスポーツの実践 熱中症対策のため大幅にプログラムを変更する場合がある	
	【予習】体調管理及び、チーム内での人間関係をよくするように努める	0分
	【復習】参加者全員が楽しめるスポーツの実施方法についての理解を深める	0分
第15回	レクリエーションニューススポーツの実践 熱中症対策のためプログラムを大幅に変更する場合がある	
	【予習】熱中症予防について考え、必要と思われるものを準備する。気温が高くても仲間と楽しめる2つの競技（種目）について用意しておくこと。	0分
	【復習】これからの健康の保持増進に繋げるために、生涯スポーツとして競技スポーツやレクリエーションスポーツとの関わり方を自分なりに整理してまとめる	0分

授業科目名	英語			科目コード	C531-10				
科目区分	教養科目 - 外国語科目 - 英語		担当教員名	山田 尚平 デイヴィッド・ホーズリー					
実務経験	公立中学校で教員として勤務した経験を生かし、各講義で英語運用能力の育成ができるよう指導を行う。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	英語					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	山田：保育や幼児教育、児童福祉に役立つ英語や異文化理解について学ぶ。保育者がさまざまな場面で使用する英語の表現を、リスニング、英会話活動、英文理解、英作文、発音練習など、様々な活動を通して学ぶ。 Horsley：Every week students will have a different children`s picture book written in English. During lessons the students will work on how to read these books to children with correct pronunciation and intonation. Students will also								
学習目標	山田：総合的な英語力の向上を目指す。主に保育、幼児教育、児童福祉の分野で使われる表現を学ぶ。 Horsley：Students will learn how to read smoothly with correct pronunciation and intonation by studying a different children`s picture book each week. (毎週いろいろな子供向けの絵本を学習することで、正しい発音とイントネーションでスムーズに読む方法を学びます。)								
キーワード	保育の場面で使われる英語の語彙、会話表現、文章、作文、コミュニケーション、絵本、異文化理解								
テキスト・ 参考書等	[テキスト] 英語あそび１０１ 三好真史(学陽書房) ¥2090(税込)								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育、幼児教育、児童福祉の分野で使われる英語の語彙を習得している。								
LO-2	【技能】 保育、幼児教育、児童福祉の分野で使われる英語の語彙を使用できる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 習得した表現を場面に応じて使用することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育・幼児教育の分野で使われる英語の語彙や表現に関心を持つことができる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		55				45			100
LO-1		10							10
LO-2		15				5			20
LO-3		20				10			30
LO-4		10				30			40
LO-5									
備考	【成績評価方法】 山田：小テスト(25%程度)、授業への参加・課題の状況[その他、A](25%程度)とする。 Horsley：Students grades will be based on class participation (20%), a final written test (20%), and a final oral test (10%). (成績は、授業への参加度(20%)、最終筆記テスト(20%)、最終口頭テスト(10%)に基づいて決定されます。)								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業オリエンテーション、Childcare room 、英語あそび１０１（準備）	
	【予習】 英語あそび１０１の全体に目を通し、どんな活動があるのか見ておく。	30分
	【復習】 授業で学んだ語彙を覚え、スラスラと発音できるようになっておく。	20分
第2回	Childcare room 、英語あそび１０１	
	【予習】 海外と日本のChildcare roomの違いについて調べておく。	20分
	【復習】 授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	30分
第3回	小テスト ・ミニプレゼン、Children's play 、英語あそび１０１	
	【予習】 幼児の頃好きだった遊びについて英語で説明できるようにしておく。	20分
	【復習】 授業で学んだ語彙を覚え、スラスラと発音できるようになっておく。	30分
第4回	Children's play 、英語あそび１０１	
	【予習】 海外と日本のChildren's playの違いについて調べておく。	20分
	【復習】 授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	30分
第5回	小テスト ・ミニプレゼン、Food & snack 、英語あそび１０１	
	【予習】 好きなsnackについて英語で説明できるようにしておく。	20分
	【復習】 授業で学んだ語彙を覚え、スラスラと発音できるようになっておく。	30分
第6回	Food & snack 、英語あそび１０１	
	【予習】 海外と日本の幼児におけるFood & snackの違いについて調べておく。	20分
	【復習】 授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	30分
第7回	小テスト ・ミニプレゼン、前半のまとめ、英語あそび１０１	
	【予習】 第１～６回の【Chime Reading】で読んだ内容について見直しを行う。	20分
	【復習】 第１～７回で学んだことの総復習を行う。	20分
第8回	Introduction to English as a rhythm based language: The importance of 'beat' as a fundamental element of speaking naturally. An introduction to 'linking' between English words based on consonant and vowel sounds. (リズムを基本とした言語としての英語入門：自然な会話の基本要素としての「ビート」の重要性。子音と母音の音に基づいた英語の単語間の「つながり」の紹介。)	
	【予習】 None (なし)	0分
	【復習】 Review of ways of linking English words based on consonant and vowel sounds. (子音と母音の音に基づいて英語の単語をつなげる方法を復習する。)	15分
第9回	The Very Hungry Caterpillar Read the story and find all the linking types. Practice reading smoothly. Practice reading as if to a group of children. (物語を読んで、リンキングの種類を見つける。スムーズに読む練習をし、子供たちの前で読むようにして活動をする。)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	15分
第10回	Brown Bear, Brown Bear, What Do You See? Read the story and find all the linking types. Practice reading smoothly. Practice reading as if to a group of children. (物語を読んで、リンキングの種類を見つける。スムーズに読む練習をし、子供たちの前で読むようにして活動をする。)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	15分

第11回	Pooh's Honey Trouble Read the story and find all the linking types. Practice reading smoothly. Practice reading as if to a group of children. (物語を読んで、リンクの種類の種類を見つける。スムーズに読む練習をし、子供たちの前で読むようにして活動をする。)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	15分
第12回	Where 's Spot? Read the story and find all the linking types. Practice reading smoothly. Practice reading as if to a group of children. (物語を読んで、リンクの種類の種類を見つける。スムーズに読む練習をし、子供たちの前で読むようにして活動をする。)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	15分
第13回	The Tiger Who Came to Tea Read the story and find all the linking types. Practice reading smoothly. Practice reading as if to a group of children. (物語を読んで、リンクの種類の種類を見つける。スムーズに読む練習をし、子供たちの前で読むようにして活動をする。)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	15分
第14回	Review/Final test (復習・最終テスト)	
	【予習】 Review all the children 's books you've studied. (学んだすべてのおとぎ話の復習をする。)	30分
	【復習】 Review all the children 's books you've studied. (学んだすべてのおとぎ話の復習をする。)	15分
第15回	学習のまとめ	
	【予習】 第1～14回で学んだことの見直しを行う。	30分
	【復習】 第1～15回で学んだことの総復習を行う。	20分

授業科目名	英語			科目コード	C531-11				
科目区分	教養科目 - 外国語科目 - 英語		担当教員名	山田 尚平 シェリー・スキャンラン					
実務経験	公立学校で教員として勤務した経験を生かし、各講義で英語運用能力の育成ができるよう指導を行う。								
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	英語		後継科目	なし。					
関連科目	キャンパス&ホームステイプログラム								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	山田：保育や幼児教育、児童福祉に役立つ英語や異文化理解について学ぶ。保育者がさまざまな場面で使用する英語の表現を、リスニング、英会話活動、英文理解、英作文、発音練習など、様々な活動を通して学ぶ。 Scanlan：Every week students will have a different fairy tale in English. During lessons the students will work on vocabulary and grammar in the stories. They will also work on comprehension and the elements found in a fairy tale. Short								
学習目標	山田：総合的な英語力の向上を目指す。主に保育の分野で使われる表現を学ぶ。 Scanlan：Students will use all four elements of English (listening, speaking,* reading, writing) by studying a famous fairy tale each week. (*due to Covid 19 and social distancing, there will be more emphasis on reading/writing than speaking.) （学生は毎週有名なおとぎ話を勉強し、英語の4技能（聞く、話す*、読む、書く）すべてを使う。								
キーワード	保育の場面で使われる英語の語彙、会話表現、文章、作文、コミュニケーション、絵本、異文化理解								
テキスト・ 参考書等	[テキスト] 英語あそび101 三好真史（学陽書房）¥2090（税込）								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育、幼児教育、児童福祉の分野で使われる英語の語彙を習得している。								
LO-2	【技能】保育、幼児教育、児童福祉の分野で使われる英語の語彙を使用できる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】習得した表現を場面に応じて使用することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】保育・幼児教育の分野で使われる英語の語彙や表現に関心を持つことができる。								
LO-5									
評価方法/ LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		75	10			15			100
LO-1		15	10						25
LO-2		25							25
LO-3		25							25
LO-4		10				15			25
LO-5									
備考	【成績評価方法】 山田：小テスト（25%程度）、授業への参加・課題の状況〔その他、A〕（25%程度）とする。 Scanlan：Students grades will be based on a final test.（最終テスト（50%）に基づき、成績評価を行う。） 【グループ分けと授業運営方法】								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業オリエンテーション、Favorite Animals 、英語あそび１０１（準備）	
	【予習】 英語あそび１０１の後半に目を通し、どんな活動があるのか見ておく。	30分
	【復習】 授業で学んだ語彙を覚え、スラスラと発音できるようになっておく。	20分
第2回	Favorite Animals 、英語あそび１０１	
	【予習】 様々な国で人気のAnimalsについて調べておく。	20分
	【復習】 授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	30分
第3回	小テスト ・ミニプレゼン、Interesting Sounds 、英語あそび１０１	
	【予習】 幼児の頃好きだった絵本について英語で説明できるようにしておく。	20分
	【復習】 授業で学んだ語彙を覚え、スラスラと発音できるようになっておく。	30分
第4回	Interesting Sounds 、英語あそび１０１	
	【予習】 海外と日本の絵本やその中で使われる音の表現の違いについて調べておく。	20分
	【復習】 授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	30分
第5回	小テスト ・ミニプレゼン、Children's Safe Living 、英語あそび１０１	
	【予習】 日本に生まれた子供は本当に幸せかどうかというトピックについて英語で話せるようにしておく。	20分
	【復習】 授業で学んだ語彙を覚え、スラスラと発音できるようになっておく。	30分
第6回	Children's Safe Living 、英語あそび１０１	
	【予習】 海外と日本の幼児の安全面における違いについて調べておく。	20分
	【復習】 授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	30分
第7回	小テスト ・ミニプレゼン、前半のまとめ、英語あそび１０１	
	【予習】 第１～６回の【英語あそび１０１】で読んだ内容について見直しを行う。	20分
	【復習】 第１～７回で学んだことの総復習を行う。	20分
第8回	Introduction to class（イントロダクション） Self Introduction（自己紹介） Overview of fairy tales（おとぎ話概観）	
	【予習】 None （なし）	0分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson （授業で学んだ語彙や表現の復習）	15分
第9回	Little Red Riding Hood（小さな赤ずきんちゃん） Watch video of the story followed by reading（ストーリーのビデオを観た後、リーディング） Class assignment（宿題）	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. （ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。）	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson （授業で学んだ語彙や表現の復習）	15分
第10回	The 3 Little Pigs（三匹の子ぶた） Watch video of the story followed by reading（ストーリーのビデオを観た後、リーディング） Class assignment（宿題）	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. （ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。）	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson （授業で学んだ語彙や表現の復習）	15分

第11回	The Boy Who Cried Wolf (オオカミが来たと叫んだ少年) Watch video of the story followed by reading (ストーリーのビデオを観た後、リーディング) Class assignment (宿題)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	15分
第12回	Short fairytale book reading day (短めの童話を読む) Students will read three books and answer questions (3冊の絵本を読み、質問に答える) Class assignment (宿題)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	15分
第13回	Cinderella (シンデレラ) Watch video of the story followed by reading (ストーリーのビデオを観た後、リーディング) Class assignment (宿題)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	15分
第14回	Review/Final test (復習・最終テスト)	
	【予習】 Review all the fairy tales you've learned. (学んだすべてのおとぎ話の復習をする。)	30分
	【復習】 Review all the fairy tales you've learned. (学んだすべてのおとぎ話の復習をする。)	15分
第15回	学習のまとめ	
	【予習】 第1～14回で学んだことの見直しを行う。	30分
	【復習】 第1～15回で学んだことの総復習を行う。	20分

授業科目名	基礎演習				科目コード	C551-10			
科目区分	教養科目 - 基礎演習			担当教員名	四杉 昭康				
実務経験	公立小中学校で教員として38年間勤務した経験を生かし、幼稚園教諭や保育士等の養成に必要な基礎的な知識や技能等について指導する。								
開講時期	1年前期			授業の方法	演習				
必修・選択	必修			単位数	1単位				
前提科目(知識)				後継科目	教育実習 、 保育実習指導				
関連科目	自然と人間 コミュニケーションと情報 現代社会と人間								
資格等 取得との関連									
授業の概要	幼児教育学を学ぶために必要な力を、話す・聞く・読む・書く・調べる・考えるの6つの観点からとりあげ、その習得を目指す。								
学習目標	・ 学びに必要な表現・コミュニケーションに関わる技能を身につける。 ・ 課題解決のための基本的な方法技術を身につける。								
キーワード	学び スタディースキル 表現 コミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	授業で用いるテキストはなし。								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2	自身の考えをまとめ、他者に伝えるコミュニケーション能力を獲得できる。								
LO-3	保育に関わる課題を論理的にとらえ、的確に表現することができる。								
LO-4	文献、さらに他者と対話し、自身の考えを捉え直すことができる。								
LO-5	班別の協議、発表、作業において自らを表現し、他者との協働ができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)				20	60	20			100
LO-1									
LO-2				20					20
LO-3					30				30
LO-4					30				30
LO-5						20			20
備考	・ その他Aはミニツペーパーによる。 ・ 本演習の担当教員を含めた幼児教育学科の教員の指導によるゼミ（プレゼンテーション）を複数回おこなう。 ・ 5月頃に野鳥観察を実施する。学外研修ではコミュニケーションに関するワークを行う。 ・ レポート等はコメントの上返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、聴くことと話すこと	
	【予習】シラバスを通読のこと。	10分
	【復習】「学ぶ」とはどういうことか、自分の得意なものと苦手なことについてまとめる。	20分
第2回	インタビュー形式による聴き方・話し方、ゼミ活動について	
	【予習】配布資料を通読のこと。	10分
	【復習】自己紹介の内容を考えておく。	20分
第3回	野鳥観察の日の計画、絵本の特別講義の計画、PPT作成（絵本紹介）	
	【予習】野鳥観察、絵本の読み聞かせについて下調べしておく	20分
	【復習】感想をまとめておく。	20分
第4回	自己紹介・絵本紹介のためのPPT作成、お礼状の書き方	
	【予習】絵本紹介のPPT作成の構想を考えておく。	20分
	【復習】事前計画を基に準備を進める	30分
第5回	野鳥観察の日（5月11日）	
	【予習】配布資料を通読のこと。	20分
	【復習】野鳥観察のまとめ	20分
第6回	自己紹介・絵本紹介のためのPPT作成	
	【予習】第1回ゼミに向けて、自分なりに絵本選びを進める	20分
	【復習】受講した感想をまとめる	20分
第7回	自己紹介・絵本紹介のためのPPT作成	
	【予習】選んだ絵本の紹介の仕方を工夫する。	20分
	【復習】ゼミの先生等へのメールの送り方を確認する。 ゼミの2日前までに送ること。	30分
第8回	5月31日（金）1限 絵本に関する特別講義（3・4組合同：図書館）	
	【予習】絵本の読み聞かせの仕方の事前学習。	20分
	【復習】第1回ゼミでの自己紹介・絵本紹介に活用する。	20分
第9回	第1回ゼミ（自己紹介・絵本紹介）（3組：6月5日（水）、4組：6月7日（金））	
	【予習】絵本紹介の仕方（発表原稿や時間、伝え方）を考えておく。	30分
	【復習】絵本紹介を終えた感想をまとめる。	20分
第10回	文献の調べ方	
	【予習】ゼミで紹介する文献を選んでおく。	30分
	【復習】レジュメを作成のこと。	20分

第11回	文献の調べ方 完成した文献のレジュメをゼミの先生にメール添付にて送る。	
	【予習】自身の興味のあるテーマを考えておく。	10分
	【復習】興味ある本を選んでおく。	30分
第12回	第2回ゼミ（文献紹介）（3組：6月26日（水）、4組：6月28日（金））	
	【予習】文献紹介の準備をする。	10分
	【復習】レポートを作成する。	30分
第13回	個人レポート発表会のためのPPT作成	
	【予習】自分が調べたい内容やレポートの内容を構想する。	10分
	【復習】レポート発表会に用いるパワーポイント資料を作成のこと。	30分
第14回	個人レポート発表会のためのPPT作成	
	【予習】レポート発表の仕方を考える。	30分
	【復習】レポート発表会に向けた準備をする。	30分
第15回	第3回ゼミ（個人レポート紹介）（3組：7月17日、4組：7月19日）	
	【予習】レポート発表の練習をしておく。	60分
	【復習】発表会のまとめをする。	35分

授業科目名	国語表現			科目コード	C551-20				
科目区分	教養科目 - 基礎演習		担当教員名	奥野 美友紀					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	子どもと言葉 保育内容（言葉）指導法 子どもと音楽表現 子どもと造形表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	・ 具体的な言語活動の場面を想定し、それに即した実践的かつ総合的な表現能力を身につけるよう演習する。 ・ 班やグループ活動による相互評価・意見交換・共同作業を通して、コミュニケーションスキルの伸長を図る。 ・ 実践的な側面にとどまらず、創作等をも行うことで、保育現場での言語生活や子どもの言語発達をより深く理解するため								
学習目標	・ 子どもの言語表現に寄り添い、その発達をうながすことができるよう、保育者自身の言語感覚を養う。 ・ 他者と協働していくための適切なコミュニケーションスキルを身につける。 ・ 客観的な視点をもって考え、自ら分析・判断することができる。								
キーワード	言葉、言語・非言語、コミュニケーションスキル、論理的、思考力、自己評価・相互評価、リテラシー								
テキスト・ 参考書等	橋本修・安部朋世・福嶋健伸編著『大学生のための日本語トレーニング スキルアップ編』（三省堂、2008） この他、必要に応じて随時プリントを配布する。								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	・ ことば遊びや絵本の読み聞かせなどについての知識を持っている。・ 新聞や書物などに述べられている幼児教育・保育に関する課題に関心を持ち、把握することができる。								
LO-2	・ 問題を分析的にとらえ、論理的にわかりやすく表現することができる。 ・ 社会人としてふさわしい言語表現のありかたについて習熟している。								
LO-3	・ 言語表現について、論理的・客観的に読み取り（聞き取り）、書く（話す）ことができる ・ 場面や相手を意識した、適切な社会活動を行うことができる。								
LO-4	・ 言語表現を通して、自己評価・相互評価をそれぞれ習慣づけるとともに、自らのありようや生きかたについて考えることができる。								
LO-5	・ グループによる協議・発表・作業に積極的にかかわり、自らを表現すると同時に他者との協働を図ることができる。 ・ 社会生活における他者への共感性を身につけている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		10	30	50		10			100
LO-1				10					10
LO-2		5	10	15					30
LO-3		5	10	15					30
LO-4			10	10		5			25
LO-5						5			5
備考	この授業では、グループワーク・ディスカッション・PBL（問題解決型授業）等のアクティブラーニングを取り入れる。 「レポート」には、課題プリント等提出物を含む。Aは、グループワークをはじめとする授業への参加態度。 なお、課題に対しては、授業中に口頭で説明したり、コメントを付けて返却する等のフィードバックを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	イントロダクション この授業の概要と目的について。アンケート記入。 自己紹介。		
	【予習】シラバスを読み、授業内容を理解する。 自分の言語生活を振り返る。		30分
	【復習】授業の全体像の確認。 国語表現を学ぶ目的についてまとめる。 教科書に目を通しておく。		60分
第2回	日本語の表記の基礎 文章作成の基礎となるルール（仮名遣い、表記法、句読点の打ち方等）について、ふりかえるとともに理解を深める。		
	【予習】課題プリントを仕上げておく。		60分
	【復習】日本語表記のルールについて再確認し、プリントで間違えた箇所については、なぜ間違えたのかを理解したうえで習熟する。		60分
第3回	「紹介」してみよう わたしの1冊 「わたしの1冊（絵本）」を選び、紹介する。 絵本の選び方とその意義について学び、ふさわしい読み方についても理解を深める。		
	【予習】印象に残っている絵本について、ふりかえておく。 または、選んでおく。 紹介したいポイントについて整理しておく。		120分
	【復習】絵本についての考えをまとめる。 紹介文を完成させる。		120分
第4回	敬語の基礎 敬語の分類とそれぞれの性格・はたらきについて学ぶ。		
	【予習】「日常生活の中で敬語をつかうことはあるか」「どのようなときに、どのような相手に対して敬語をつかうか」「なぜ敬語をつかうのか」など、敬語と自分の関わりについてまとめておく。		30分
	【復習】授業の内容をふりかえり、間違いやすい点について、なぜそうなるのかを理解したうえで確認しておく。 課題プリントを仕上げる。		60分
第5回	敬語の基礎 さまざまな場面における敬語とその用法について学ぶ。		
	【予習】課題プリントを仕上げておく。		60分
	【復習】授業の内容をふりかえり、間違いやすい点について再確認しておく（小テストに向けての復習）。		90分
第6回	敬語の基礎 さまざまな場面における敬語とその用法について学ぶ。		
	【予習】課題プリントを仕上げておく。		60分
	【復習】授業の内容をふりかえり、間違いやすい点について再確認しておく（小テストに向けての復習）。		60分
第7回	小テスト（敬語） メールの書き方		
	【予習】課題プリントを仕上げておく。		60分
	【復習】授業の内容を確認しておく。		30分
第8回	メールの書き方 さまざまなコミュニケーションのあり方を知り、時と場合によって使い分けることの重要性について学ぶ。		
	【予習】配布資料を読み、課題プリントを仕上げておく。		60分
	【復習】授業の内容をふりかえり、間違いやすい点について確認しておく。		30分
第9回	メールの書き方 さまざまなコミュニケーションのあり方を知り、時と場合によって使い分けることの重要性について学ぶ。		
	【予習】課題プリントを仕上げておく。		60分
	【復習】授業の内容をふりかえておく。		30分
第10回	論理的に考える 社会生活の基礎となる、論理的な思考のしかたについて学ぶ。		
	【予習】配付資料を読み、課題に取り組んでおく。		60分
	【復習】課題プリントを完成させる。		60分

第11回	論理的に考える 情報を客観的に捉え、物事を多面的な視点から捉えることの重要性を学ぶ。また、意見や主張の根拠を吟味し、検証することに習熟する。	
	【予習】課題プリントを完成させる。	60分
	【復習】授業の内容を確認しておく。	30分
第12回	文章作成の基礎 テーマに即して、まとまった字数（800～1,000字程度）文章を書く。 論理の展開や効果的な文章の組み立て方について学ぶ。	
	【予習】今まで書いた文章について、それぞれの目的・性格・内容をふりかえっておく。	30分
	【復習】ワークシートを完成させる。	60分
第13回	文章作成の基礎 作成した文章をもとに、相互に添削・点検を行う。	
	【予習】テーマに沿った文章を作成する。	120分
	【復習】作成した文章について、相互批評をもとに再度推敲し、改稿のうえ完成させる。	90分
第14回	改稿した文章の再チェック 自分を知る	
	【予習】自分自身についてまとめておく。	60分
	【復習】ワークシートについて、具体的かつ過不足なく完成させる。	60分
第15回	まとめ 学期末レポートの説明	
	【予習】全15回で学んだ内容をふりかえり、確認しておく。	30分
	【復習】全15回で学んだ内容をふまえ、学期末レポートを作成する。	150分

授業科目名	コミュニケーションと情報				科目コード	C551-30			
科目区分	教養科目 - 基礎演習			担当教員名	吉牟田 裕				
実務経験									
開講時期	1年前期			授業の方法	講義				
必修・選択	必修			単位数	2単位				
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士, 幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	情報システムの基礎について学ぶとともに、情報伝達や情報活用に関する技能を習得します。具体的には、ワープロや表計算、プレゼンテーションと、情報社会を生きるためのセキュリティの知識とモラルについても身につけることを目指します。								
学習目標	Windows、インターネット、オフィスツールの基本操作方法を習得するとともに、情報を取り扱ううえで必要なセキュリティと情報モラルを身につけます。								
キーワード	パソコン、ワープロ、表計算、プレゼンテーション、インターネット								
テキスト・ 参考書等	「イチからしっかり学ぶ! Office 基礎と情報モラル」noa出版								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識を身につける。								
LO-2	パソコンにより、効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20		60	20				100
LO-1		20							20
LO-2				60	20				80
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	アクティブラーニングの実施：プレゼンテーション等 なお、課題に対しては、授業中に口頭で説明したり、コメントを付けて返却する等のフィードバックを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の進め方、学習の目標、 パソコン教室の使い方、タッチタイピング	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】タッチタイピングの練習 及第点「単語練習」の最高点×0.6 で評価する。	90分
第2回	教材ファイルのダウンロードと展開 Section2 Step2 Lesson1 チラシを作成しましょう(1) 教材ダウンロード	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】学んだ内容を復習する	90分
第3回	Section2 Step2 Lesson1 チラシを作成しましょう(2)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習7	90分
第4回	Section2 Step2 Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう(1)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】学んだ内容を復習する	90分
第5回	Section2 Step2 Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう(2) 練習 7 「クリスマスコンサート完成」を提出しよう 右の課題提出 へ	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】学んだ内容を復習する	90分
第6回	Section2 Step2 Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう(3) 練習 8 「携帯電話完成」を提出しよう 右の課題提出 へ	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】 http://drill.noa-ness.jp/?gc=469258 にアクセスし、「実践ドリル」の「WORD」の「STEP 2 文書を作成しましょう」の「S2S2L2_実践ドリル05」を解いてみよう。	90分
第7回	Section3 Step2 Lesson1/2 表を作成しましょう/印刷しましょう 資料：博物館入館者数.xlsx	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習9	90分
第8回	Section3 Step2 Lesson3 計算しましょう(1)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習13 練習14	90分
第9回	Section3 Step2 Lesson3 計算しましょう(2)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習16	90分
第10回	Section3 Step3 グラフを作成しましょう(1)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習17 練習18	90分

第11回	Section3 Step3 グラフを作成しましょう(2)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習19 練習20	90分
第12回	Section4 Step2 Lesson1 スライドを作成しましょう	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習22	90分
第13回	Section4 Step2 Lesson2 効果をつけましょう Section4 Step3 発表しましょう	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習23	90分
第14回	Section5 Step1 セキュリティを高めましょう	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習25 練習26 練習27	90分
第15回	Section5 Step1 情報モラルを学びましょう	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】【復習】本科目の成績について タッチタイピングの成績「単語練習」の最高点×0.6で評価する Word 練習7 「クリスマスコンサート」第5回課題 1	90分